

KOBELCO

誰でも働ける現場へ  
KOBELCO IoT

## 効率化は、 3DMC

3Dマシンコントロールは、アームレバーの押し引きによる「1レバー操作」だけで、ブーム・バケットをシステムが自動制御。設計面に沿った整地作業が可能なので、熟練オペレータ並のスピードと品質の施工を行うことができます。



作業効率と安全性の向上は、同時開発する必要がありました。

## 安全は、 衝突軽減

衝突軽減システム「K-EYE PRO」は、旋回や後方への走行時に死角エリアで人や障害物を検知した場合、ディスプレイ表示とアラームでのお知らせに加え、自動減速/自動停止。建機メーカー初の新技術が事故抑制に貢献します。※自社調べ。



コベルコ建機株式会社  
www.kobelco-kenki.co.jp

「3DMC」と「K-EYE PRO」のお問い合わせは 03-5789-2111

KAIHOU  
かいほう  
No. 6  
(通巻第75号)

日本建設機械レンタル協会

# KAIHOU

かいほう

No. 6

(通巻第75号)



ねぶた祭り

### 寄稿

## インフラ整備・維持管理におけるICT・ロボット技術の展開

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室長 森下 博之

## 陸上自衛隊における最近の災害派遣活動と 大規模災害対処のための取り組み等について

第4施設団本部第3科防衛班防衛幹部 1等陸尉 疋田 英朗

## ホルナビ 2Dマシンガイダンス「iDig」および「iDig Dozer」のご紹介

コベルコ建機株式会社 営業促進部 ICTホルナビ推進室 高木 徳雄

### お知らせ

## 国土交通省中国地方整備局長より当協会並びに 建機メーカー様6社に「災害対策関係功労者感謝状」贈呈

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会



一般社団法人 日本建設機械レンタル協会



SUMITOMO  
SH200

# 限界突破!

燃費、働き、安全、そのすべてが、かつてない領域へ。  
新型レジェスト誕生。

LEGEST  
SH200  
オフロード法 2014年基準適合車

後方270°を見守る  
**FVMに新機能を搭載!!**

**お知らせ機能付周囲監視装置 FVM2**

機械の周囲のカメラ映像を解析し、人がいると判断した場合にモニター表示と音でオペレータに注意を促し、安全確認をサポートします。お知らせ機能はスイッチでON/OFFが可能で、現場状況に応じた安全確認方法が選べます。

**フィールドビューモニター FVM2**

FVM2は周囲の安全確認をサポートするシステムで、人や障害物との衝突を防止するシステムではありません。FVM2だけに頼った運転は行わず、安全運転を心がけてください。お知らせ機能は、現場の状況や天候等により作動しない場合がありますので、機械操作時は周辺の安全を直接確認するなど十分にご注意ください。お知らせ機能は、周辺の状況により、周囲に人がいても作動しないときがあります。また、周囲に人がいなくても作動する場合があります。  
※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

**第1段階**  
一定の範囲内に人がいると判断した場合  
黄色表示と音でお知らせ  
「ビピッ!」

**第2段階**  
さらに接近したと判断した場合  
赤色表示と音でお知らせ  
「ビピッ! ビピッ! ビピッ!」

図はFVM2の効果イメージです。



住友建機株式会社 〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 (ThinkPark Tower) ☎03-6737-2610  
http://www.sumitomokenki.co.jp

**SAKAI**  
MASTERS OF COMPACTION

**i-Construction**



専用動画へアクセスできます。

加速度応答法 (CCV) を標準搭載  
帳票出力が可能

**転圧管理システム**



ヒューマンエラー防止を補助する  
緊急ブレーキ装置

**TZ704**  
Guardman



**SKG 酒井重工業株式会社**

〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-8 TEL.03-3434-3401

営業所 札幌・仙台・関東・名古屋・大阪・広島・福岡

www.sakainet.co.jp

For Earth, For Life  
Kubota



U-30-6

U-17α

U-55-6E

フィールドを選ばない、頼れる後方小旋回機。

## U SERIES



RX153S

RX306E

RX506

狭い現場で機敏に働く、超小旋回機。

## RX SERIES

# クボタが誇る、 充実のバリエーション。

乗用車感覚の操作性・快適性

## R SERIES



R430E



R630E

株式会社クボタ 建設機械マーケティング第二部

〒556-8601 大阪市浪速区敷津東 1-2-47

株式会社クボタ建機ジャパン

本社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東 1-2-47  
TEL 06(6648)2120

<http://www.kubotakenki.co.jp>

# 「かいほう No.6」読者アンケート

この度は、かいほう No.6をお読みいただきまして、ありがとうございます。  
より充実した誌面をつくるために、ぜひアンケートにご協力ください。  
今後の特集記事や定例記事作成の際の参考にさせていただきます。

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、**ジェフグルメカード5,000円分を10名様に進呈**いたします。(協賛：樹芸企画)

※なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

- ご回答の際は、右ページをコピーしていただき、回答用紙としてご使用ください。
- FAX (03-3255-0513) にてご回答をお願いいたします。

## Q1 『役に立った』／『印象に残った』／『面白かった』と思う記事を下記番号(①～⑳)でご回答ください。

- 巻頭言
  - ① 会長挨拶
- 寄稿
  - ② インフラ整備・維持管理における ICT・ロボット技術の展開
  - ③ 陸上自衛隊における最近の災害派遣活動と大規模災害対処のための取り組み等について
  - ④ ホルナビ 2D マシンガイダンス『iDig』および『iDig Dozer』のご紹介
- お知らせ
  - ⑤ 国土交通省中国地方整備局長より当協会並びに建機メーカー様6社に「災害対策関係功労者感謝状」贈呈
  - ⑥ 国土交通省四国地方整備局長より、当協会並びに当協会四国支部、建機メーカー様6社に感謝状贈呈
  - ⑦ 登録制度を目指して「新資格制度」がはじまりました！
  - ⑧ 「INTERMAT 2018」(フランス・パリ)視察研修 報告
  - ⑨ 当協会・気田福俊 副会長が黄綬褒章を受章
  - ⑩ 平成30年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について
  - ⑪ JCRA スーパーオークション報告
  - ⑫ 協会ホームページについて
  - ⑬ 会員証の追加発行について
  - ⑭ 関係省令記事
- 健康コラム
  - ⑮ 「働き方改革」とメンタルヘルスについて
- 休憩室
  - ⑯ そばの起源とは…。
  - ⑰ 平成29年度事業報告
  - ⑱ 平成30年度事業計画
  - ⑲ ●支部だより
  - ⑳ 建設機械の盗難被害報告
  - ㉑ 日本建機レンタル総合賠償制度支部別加入状況・加入案内
  - ㉒ 協会役員名簿(平成30～31年度)
  - ㉓ 協会支部名簿(支部長・支部事務局)
  - ㉔ 編集後記

## Q2 今後取り上げてほしいテーマや記事がありましたらお書きください。

\*なお、ご記入いただいた情報、アンケートの内容に関しましては、当選品の発送、今後の紙面づくりの参考にのみ使用させていただきます。

送付先 FAX 03-3255-0513

(一社)日本建設機械レンタル協会

締め切り 2019年5月31日まで にファックスにてお送りください。

## かいほう No.6 読者アンケート 回答用紙

A1

『役に立った』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

『印象に残った』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

『面白かった』と思う記事を番号でお答えください。(複数回答可)

A2

今後、取り上げてほしいテーマや記事がありましたら、お書きください。

ご回答ありがとうございました。

氏名	
会社名	
部署・役職	
TEL・FAX	TEL FAX
E-MAIL	@

## C O N T E N T S

### 「かいほう No.6」読者アンケート

#### ● 巻頭言

##### 会長挨拶

・一般社団法人日本建設機械レンタル協会 会長 角口 賀敏…………… 6

#### ● 寄稿

##### インフラ整備・維持管理におけるICT・ロボット技術の展開

・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室長 森下 博之… 8

##### 陸上自衛隊における最近の災害派遣活動と大規模災害対処のための取り組み等について

・第4施設団本部第3科防衛班防衛幹部 1等陸尉 疋田 英朗…………… 14

##### ホルナビ 2Dマシンガイダンス『iDig』および『iDig Dozer』のご紹介

・コベルコ建機株式会社 営業促進部 ICTホルナビ推進室 高木 徳雄 …… 22

#### ● お知らせ

国土交通省中国地方整備局長より当協会並びに建機メーカー様6社に「災害対策関係功労者感謝状」贈呈 … 26

国土交通省四国地方整備局長より、当協会並びに当協会四国支部、建機メーカー様6社に感謝状贈呈 … 28

登録制度を目指して「新資格制度」がはじまりました！ … 30

##### 「INTERMAT 2018」(フランス・パリ)視察研修 報告

(2018(平成30)年4月24日(火)～29日(日))…………… 36

##### 当協会・気田福俊 副会長が黄綬褒章を受章

・気田 福俊氏(青森リース株式会社)…………… 38

##### 平成30年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について

・菅野 浩昭氏(東北リース株式会社)  
・北條 光一氏(株式会社北條モータース)…………… 39

JCRAスーパーオークション報告 株式会社ALM…………… 40



協会ホームページについて…………… 42

会員証の追加発行について…………… 43

##### 関係省令記事

・低騒音型・低振動型建設機械の指定について…………… 44

#### ● 健康コラム

・「働き方改革」とメンタルヘルスについて …… 46

#### ● 休憩室

・そばの起源とは…。…………… 48

平成29年度事業報告 …… 50

平成30年度事業計画 …… 52

#### ● 支部だより(11支部)

・北海道支部 倉内 広昭 …… 54

・青森支部 気田 福俊 …… 58

・群馬支部 中川 秀敏 …… 60

・栃木支部 北條 光一 …… 62

・東京支部 小松崎伸一郎 …… 64

・長野支部 花岡 昇 …… 66

・静岡支部 田島 潤一 …… 68

・関西支部 北野 一雄 …… 70

・中国支部 日笠 保彦 …… 72

・四国支部 仲田 優晴/美馬 博 …… 74

・九州支部 峰平 国生 …… 76

建設機械の盗難被害報告…………… 92

日本建機レンタル総合賠償制度支部別加入状況・加入案内… 96

協会役員名簿(平成30～31年度)…………… 98

協会支部名簿(支部長・支部事務局)……………100

編集後記……………102

## ご挨拶

一般社団法人 日本建設機械レンタル協会

会長（代表理事） **角口 賀敏**



会員の皆様におかれましては、平素より当協会事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る平成30年5月24日（木）当協会第6回通常総会が開催され、私が5期目として、引き続き、会長（代表理事）を拝命いたしました。大変光栄に存じますとともにその責任の重大さを痛感しております。建設機械レンタル業界の更なる発展と飛躍のために新役員一同、協会運営に全力で邁進する所存でございますので、皆様には、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、昨年の建設機械レンタル業界を振り返りますと、ここ数年続いていた首都圏を中心とする都心部の再開発事業や東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種インフラ整備による建設市場の好景気にも落ち着きが見られ、2020年以降の市場動向は未だ不透明な状況といえます。

建設機械レンタル業は、誕生から半世紀以上が経過し、現在は、業界の成熟度に伴い、その社会的重要度が高まってきております。

このような中、当協会では、「業界の更なるレベルアップ」と「認知度の向上」を図るべく、様々な取り組みを進めております。

そのひとつとして、昨年10月からは、建設機械レンタル業全般にわたる業務知識や管理能力等の幅広い知識と能力を備えた人材を育成することを目的とした「建設機械レンタル管理士資格」（民間資格）試験の受験申し込みをスタートいたしました。同資格制度は、2020年の創設を目指している「建設機械レンタル業者登録制度」の登録要件のひとつとなっており、新たな資格制度・登録制度を通じて、社会から“信頼される業界”団体として認知していただけるよう、努めて参ります。

一方、昨年は、平成30年7月豪雨、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、台風21号等、未曾有の大規模災害が数多く発生し、被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

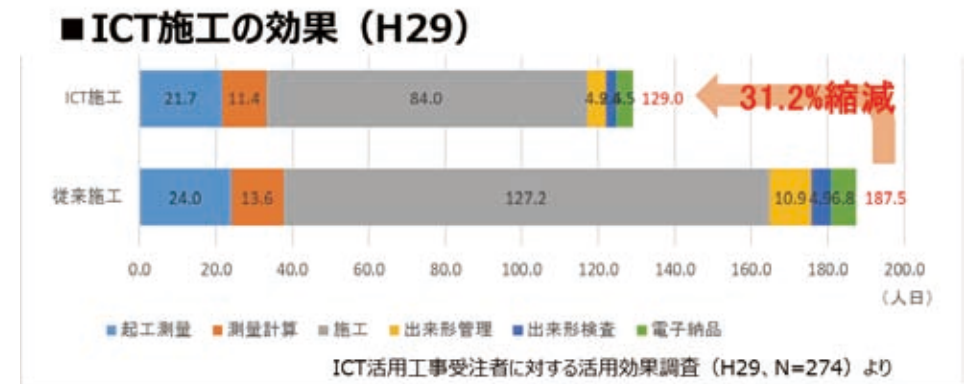
平成30年7月豪雨では、国土交通省からの要請を受け、会員企業及び建機メーカー各社のご協力のもと、3回にわたり広島県、岡山県、愛媛県、高知県に合計59台の小型油圧ショベルを派遣いたしました。

また、8月に発生した台風21号により、停電の被害を受けられた地域への支援では、経済産業省及び関西電力との連携・協力を図り、関西地方の会員企業の協力を得て、小型発電機105台を派遣し、電力が復旧するまでの被災地域を支えました。

このように当協会として、大規模災害に対して積極的に復旧支援活動に協力し、我々建機レンタル業の社会的責任・役割を果たしていきたいと考えております。加えて、国土交通省が推進する i-Construction への業界としての取り組みについても、重点的に進めていきたいと考えております。また、昨年6月29日（金）の参議院本会議で「働き方改革関連法案」（正式名称：働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案）が可決したことを受けて、残業時間の上限規制や有給休暇取得の義務化、勤務間インターバル制度、正規雇用・非正規雇用間の賃金格差の解消、高齢者の就労促進等の喫緊の課題についても、業界団体として対応できるよう取り組んで参ります。

最後になりましたが、会員・賛助会員の皆様の益々のご隆盛を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

(図1)ICT施工の効果(H29)



大するなど意欲ある建設会社のICT活用を後押ししています。また、積算基準も適宜見直しており、ICT建機の使用割合や1日当たりの施工量などに関する実態調査結果を踏まえ、ICT建機の稼働実態に応じた積算・精算を可能にするなどICT施工を利用しやすくしました。

ICT舗装工とICT浚渫工を17年度に加え、18年度はICT河川浚渫工へと拡大しました。さらに一般的な道路工事、築堤護岸工事で施工されるすべての工種にICTが活用できることを目標に、ICT地盤改良工やICT法面工などの工種拡大の準備も進めています。今後、工事を受注する建設会社がICT機器を効率的に活用でき、ICTの効果を楽しむ環境整備を進めてまいります(図2)。

【地方への波及を促す】

ICTの全面活用は、一品受注・労働集約型生産だった建設現場の概念を変え、ICTやIoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)の導入により自動化、規格化された最先

端の工場へと建設業態を大きく変化させています。このため、地方公共団体発注工事にも広くi-Constructionの導入を促し、全国の中小建設企業がこの大きな変化に対応できるよう効果を体現することで、全国津々浦々の現場が速やかに生産性向上を図る必要があります。

そのため、地方公共団体が発注する工事現場を対象に、建設企業がICT導入の効果を体験するための「現場支援型モデル事業」を進めています(図3)。

具体的には、地域の建設企業が「ICT施工はなんだか苦手だな、きっかけがつかめない」と感じる垣根を取り払えるようICT施工専門家を現地に派遣し、ICTを活用した施工計画・立案・マネジメントの指導を行い、ICT施工の効果の検証や周知を図っています。ICT導入講習会も併せて実施しています。

18年度も全国10カ所の現場支援型モデル事業を予定しています。各地域でICT施工のメリットを普及する伝道師のような方を育成したいと考えています。また工事監督者と

● 寄稿

インフラ整備・維持管理におけるICT・ロボット技術の展開



国土交通省総合政策局公共事業企画調整課

施工安全企画室長 森下 博之



プランナー施策となるICT土工の導入に取り組みました。

【生産性向上へICT施工をフル展開】

UAV(無人航空機)などによる3次元測量、3次元測量データによる設計・施工計画の作成、3次元設計を活用したICT建設機械による施工、そして検査の省力化といったように、測量から検査までを通してICTをフル活用したICT土工を積極的に展開しています。17年度は国の発注工事における土工の約4割(815件)にICT施工を実施し、約3割の施工時間短縮効果を確認しました(図1)。

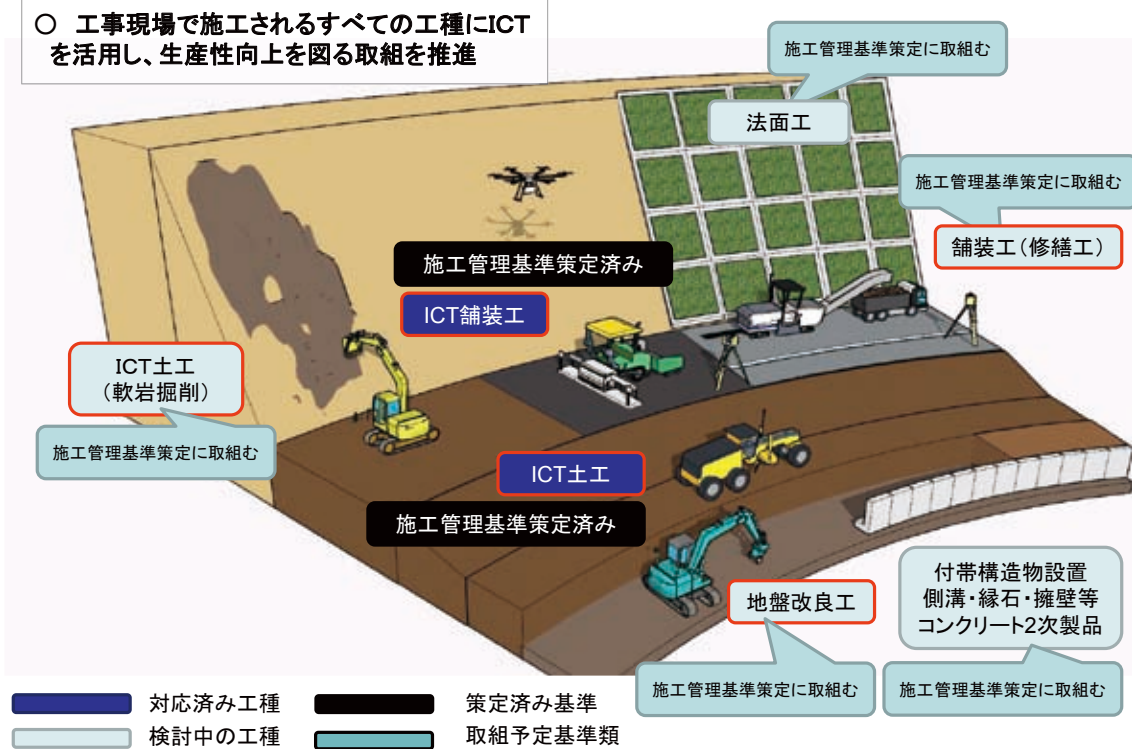
18年度は、施工者希望型I型の工事規模の下限を引き下げ、II型の加対象工種を拡

【生産性向上の取組】

国土交通省は、2016年に生産性革命プロジェクトを開始し、4年目となる19年を「貫徹の年」と位置づけ、総力を挙げて生産性の向上に取り組んでいます。i-Constructionは、生産性革命プロジェクトの重要な施策の一つとして測量から設計、施工、検査、維持管理・更新にいたるすべての建設生産プロセスにICTなどの活用を推進するものであり、これにより2025年度までに建設現場の生産性を2割向上させることを目指しています。

総合政策局公共事業企画調整課は、省内の関係課と連携しながらi-Constructionの主な施策の1つ「ICTの全面的な活用」を進めており、初年度からi-Constructionのトッ

(図2) ICTを活用できる環境～工種拡大イメージ(道路工事) 国土交通省



(図3) 現場支援型モデル事業 国土交通省



(図4) AI開発支援プラットフォーム概要 国土交通省



なる地方公共団体職員の方々に対しても、ICT施工と監督、検査への理解を深めるための実施体験、講習会などを併せて開催しています。

一方、ICT施工を実施するためには測量や出来型計測のためのUAVやレーザースキャナ、施工のためのマシンコントロール(MC)建設機械、各種ソフトなど初期投資が必要です。これらの設備が広く普及することで価格が低廉化し、さらなる普及につながるの考えから、機器取得や専門的知識・技能の取得のための教育に係る補助金、税制優遇など金銭面の支援についても周知活動を行っています。

【ロボット技術の活用】

一方、インフラの老朽化を受け、膨大な量のインフラ点検に係る作業人員の確保、人が入れない狭隘な構造物内の点検、スラブや高橋脚など作業の安全に係る負担が大きい点検などでは人の作業の支援としてUAVや高性能カメラ、レーダーなど技術進展がめざまし

いIoTやロボット等の開発・現場実装が進みつつあります。

点検作業の記録や診断への支援では、ロボットが撮影した高精細な画像と土木技術者による正しい判断をデータセット(教師データ)として整備し、AIに機械学習させることによって、インフラの変状や損傷などの自動判別を支援する取り組みを進めているところです。

【AI等新技术の活用】

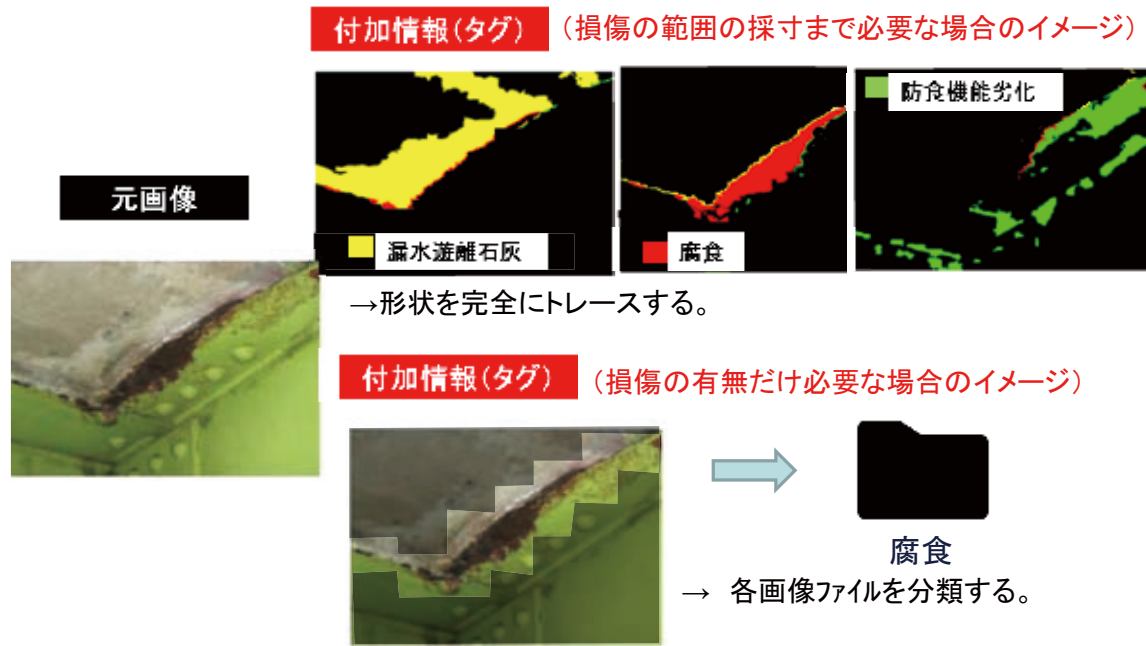
従来行ってきたロボットによる人の「作業」の効率化に加え、AIによる人の「判断」の効率化を図るため、以下の取り組みを進めています。

(a) AI等開発支援プラットフォーム設立・運営

AI導入推進を図るため「AI等開発支援プラットフォーム」の設立を予定しており、昨年は、「AI開発支援プラットフォームの開設準備WG」を設置しました(図4)。

本WGでは、良質で効率的な教師データ





整備のあり方や、点検に関するデータの取得・保存・分析・活用を円滑に行うデータ基盤のあり方について検討しています。

**(b). ロボット技術による点検精度向上に向けた、ひびわれ以外のAI教師データの整備**

ロボット技術が、「人の判断」を支援するためには、人を代替しうるAI等の開発が必要不可欠である。その開発のために、高性能な「教師データ」(teaching data)の整備が必要です。

「教師データ」とは、AIを開発する際の例題であり、大量の教師データを用いてAIが学習を行うことで、未見なものについても認識・推論が可能となります(図5)。

現在、「ひびわれ」に関する教師データを整備しており、今後は、「ひびわれ」以外のインフラ損傷データに関する教師データを整

備していきます。

また、整備された高精度な「教師データ」を、AI開発を行う研究者に提供し広く開発を促すため、AI開発研究者が「教師データ」にアクセスできる環境整備も行うことが必要です。

**(c). ロボット技術の試行・導入、そして普及に向けた評価項目の整備・実証評価とインフラ管理者のための仕様の調整・整備**

民間企業等が開発したAI技術を実際のインフラ点検において活用するためには、これら技術の性能を検証・評価することが必要です。これら評価は、土木技術者による正しい判断結果との比較が必要になることから、現場での検証方法や評価方法などを検討しています。

また、現場に導入が見込まれるAI技術の

性能を確認した後、これら技術を現場で活用するための技術基準類の整備に取り組みます。

これらの施策を進めるにあたり、特に人材育成や積算基準・経費の考え方、補助金による機器導入支援などについては、建設現場の

状況、建設業者の現況などを業団体と密に情報交換していきますので、関係者の皆様のご

協力を、今後ともよろしくお願い申し上げます。



● 寄稿

# 陸上自衛隊における最近の災害派遣活動と大規模災害対処のための取り組み等について



第4施設団本部第3科防衛班防衛幹部  
1等陸尉 足田 英朗

## 1 はじめに

陸上自衛隊は、一般社団法人日本建設機械レンタル協会と陸上自衛隊補給統制本部施設部との「建設機械等の情報に関する合意書」締結（平成27年3月）に基づき、日本建設機械レンタル協会から円滑に派遣活動を実施するための情報提供を頂いております。

この度、日本建設機械レンタル協会の「かいほう」への投稿という貴重な機会を頂いたため、最近の災害派遣活動である平成30年7月豪雨災害派遣における第4施設団の災害派遣について、現地で活動した部隊を代表して紹介させていただきます。

## 2 第4施設団の概要

### (1) 全般

陸上自衛隊は日本全国を5つに区分して各方面隊がそれぞれの地域を担当しています。また、全国には約160個の駐・分屯地があります。

中部方面隊は、東海・北陸地方から中国・四国地方までの2府19県を担当するとともに、さらにその区域を4つに分け2つの師団（約7000人規模）と2つの旅団（約4000人規模）等にそれぞれ分任させています。

この中で第4施設団は、主力を京都府宇治市に所在する大久保駐屯地に置き、京都府南

部及び奈良県全域を災害派遣担任区として担当しています。また、大規模災害発生時には、各種計画に基づき、隷下部隊によって各師団・旅団を直接支援するとともに、施設団主力で中部方面隊の全般支援を実施しています。

### (2) 編成

第4施設団が指揮する隷下部隊は、8コ駐・分屯地に配置し、団本部及び本部付隊と2コ施設群、2コ施設隊、1コ施設器材隊及び1コダンプ車両中隊からなり、東は愛知県の豊川市、北は富山県の砺波市、南は和歌山県の日高郡美浜町、西は島根県の出雲市等に隷下部隊が所在しています。

### (3) 大久保駐屯地の概要

大久保駐屯地は、人口密集地帯である大阪、神戸、京都から適度の距離、離隔した交通の要衝に位置しており、第4施設団の隷下4コ部隊のほか、12コ部隊、約1,200名の隊員が駐屯しています。

また、平成4年に第1次カンボジア派遣施設大隊に部隊を派遣したPKO派遣のさきがけ駐屯地としても認知されています。

### (4) 主要な災害派遣実績

時期	災害名称等（場所）	活動内容
S36.9	第2室戸台風（宇治市、城陽町等）	給水支援、学校病院応急復旧
S38.2	豪雪被害（丹後町等）	道路啓開
S40.9	水害（伏見区桂川）	堤防補強
S42.5	山林火災（城陽町）	消火、応急防火帯構築

S53.6	児童の水路転落（宇治市）	捜索・人命救助
H7.1～H7.4	阪神淡路大震災（兵庫県）	捜索・人命救助、倒壊家屋処理
H13.7	導水管破裂（宇治市）	給水支援
H16.3	鳥インフルエンザ（丹波町）	殺処分等
H23.3～H23.6	東日本大震災（岩手県）	道路啓開、人命救助等
H23.9～H23.10	台風12号災害（奈良県五條市等）	人命救助
H24.8	京都府南部地域豪雨災害（宇治市）	人命救助
H25.9	台風18号に伴う水害（桂川）	水防活動
H28.4～H28.5	平成28年熊本地震（熊本県）	道路啓開、河川浚渫、給水活動
H28.8	十津川村山林火災（奈良県）	消火活動・残火処理
H28.12	上北山村山林火災（奈良県）	消火活動・残火処理
H30.2	雪害派遣（福井県）	排雪作業、道路啓開
H30.7	7月豪雨災害派遣（岡山・広島県）	人命救助、災害廃棄物撤去、河川浚渫、道路啓開

## 3 平成30年7月豪雨での災害派遣活動の概要

### (1) 発災の状況

7月6日17時10分に長崎、福岡、佐賀の3県に大雨特別警報が発表され、続いて19時40分に広島、岡山、鳥取、22時50分に京都、兵庫と1日で8府県に大雨特別警報が発表されました。さらに翌8日5時50分には高知、愛媛の2県にも大雨特別警報が発表され、最終的には過去最多となる計11府県で大雨特

別警報が発表されました。

この豪雨により、西日本を中心に多くの河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200名（8月9日現在）を超える甚大な災害となりました。また、全国で上水道や通信といったライフラインに被害が及んだほか、交通障害が広域的に発生しました。

平成に入ってから豪雨災害としては初めて死者数が100名を超え、「平成最悪の水害」と報道されました。また、昭和に遡っても1982年に300名近い死者・行方不明者を出した長崎大水害（昭和57年7月豪雨）以来、最悪の被害となりました。

（写真－5、6）

## （2）広島県の被害の状況

### ア 全般

広島県では、土砂崩れや浸水による被害が相次ぎました。県の南部では土石流・土砂崩れが5,000箇所以上で発生しました。通常は崩落しにくい山頂部の崩壊も多発し、豪雨のすさまじさを裏付けました。県

の住宅被害浸水も含めると38,000棟（8月9日現在）に及びました。

### イ 安芸郡熊野町等

住宅の裏山が崩れて斜面沿いの住宅に押し寄せ、12名が死亡しました。また、矢野東で、土砂崩れにより20棟の住宅が倒壊しました。熊野町川角・矢野東とも斜面を切り開いて造られた造成地での被害で、平成26年に広島市で発生した土砂災害と類似した被害状況となりました。平成26年に被災した安佐北区でも土砂崩れにより3名が死亡したほか、東区馬木でも土砂災害が発生するなど、広島市で計23名が死亡しました。

広島市の被災現場では花崗岩が風化した真砂土を含む土砂が多く見られ、京都大学防災研究所准教授である竹林洋史氏によれば、平成26年と同様に真砂土が被害を拡大させる一因になったと、言われています。

### ウ 広島県の人的、建物被害の状況

#### ア) 人的被害状況

12市町で108名の死者の他、行方不明



（写真－5）市街地の冠水状況  
（岡山県倉敷市）



（写真－6）家屋の倒壊状況  
（広島県安芸区）

6名、重軽傷者124名の人的被害が発生しました。

#### イ) 建物被害状況

16市町で658棟の全壊の他、半壊1865棟、床上床下浸水7733棟の建造物被害が発生しました。

## （3）岡山県の被害の状況

### ア 全般

岡山県では河川の氾濫や堤防の決壊による浸水被害や土砂災害が相次いで発生しました。

全半壊・浸水家屋の数は少なくとも14,000棟（8月9日現在）にのぼり、県内の風水害による被害としては戦後最悪となりました。

### イ 倉敷市真備町

7日朝までに小田川と支流の高馬川などの堤防が決壊し、広範囲にわたり冠水しました。真備町だけで51名の死亡が確認されており、ほとんどが水死とみられています。死者のうち43名は屋内で発見され、内42名は住宅の1階で発見されました。土木学会の調査によると、浸水の深さは南北1km・東西3.5kmの範囲で5mを超え、最大で5.4mに達したとみられます。浸水範囲は真備町の4分の1にあたる1,200haに及んだとみられます。国の調査委員会の見解によると、小田川の堤防が決壊した原因は合流先の高梁川の増水に伴い水がせき止められるバックウォーター現象が発生し、越水により堤防の内側が削ら

れ破堤したとみられます。真備町における堤防の決壊箇所は小田川で2箇所、支流の高馬川で2箇所、末政川で3箇所、真谷川で1箇所が確認され小田川では他にも6箇所法面の崩落が確認されました。小田川は真備町の上流側に位置する井原市や小田郡矢掛町においても本流または支流において堤防が決壊し浸水被害が発生しました。

### ウ 岡山県の人的、建物被害の状況

#### ア) 人的被害状況

7市町で61名の死者の他、行方不明3名、重軽傷者161名の人的被害が発生しました。

#### イ) 建物被害状況

9市町で4040棟の全壊の他、半壊1560棟、床上床下浸水11083棟の建造物被害が発生しました。

## （4）災害派遣活動の概要

ア 第4施設団は、一連の豪雨に伴う担当区域の災害派遣の準備をしつつ、広島県、岡山県下において、発災当初の即時救援活動から災害廃棄物の撤去、路上危険物の除去等の施設支援を実施し、災害派遣活動任務を遂行しました。

### イ 広島県における活動

約10箇所の地域で、第4施設団の1コ群及び1コ施設隊等を基幹とした施設科部隊が活動をしました。主に、行方不明者の捜索に伴う機械力支援、道路啓開、河川護岸補修作業、瓦礫の除去作業等です。

現地では、保有する油圧ショベル等が進

入可能なところもありましたが、不可能なところは小型ショベル等をリースして活動をしました。  
(写真-7、8、9、10、11、12)

ウ 岡山県における活動  
ア) 当初の活動  
第4施設団の1コ施設隊は6日2100、態勢を移行し、2345には高梁市に前進し



(写真-7) 河川の護岸補修作業の状況  
(呉市安浦)



(写真-8) 河川の護岸補修作業の状況  
(呉市安浦)



(写真-9) 転石・流木等の除去の状況  
(リース器材)  
(海田町)



(写真-10) 転石・流木等の除去の状況  
(リース器材)  
(海田町)



(写真-11) 人命救助活動のための瓦礫除去  
(矢野東)



(写真-12) 人命救助活動のための瓦礫除去  
(熊野町)



(写真-13) 深夜の渡河ポートによる人命救助の状況  
(高梁市)



(写真-14) 渡河ポートによる人命救助の状況  
(真備町)

渡河ポートによる人命救助活動を実施しました。

その後、1コ施設群の1コ施設中隊をもって人命救助を実施し、合計866名を救出しました。人命救助は、降雨の中、夜を徹して継続しました。(写真-13、14)

#### イ) 災害廃棄物の撤去

7月12日以降、倉敷市からのニーズにより真備地区にあるR486における災害廃棄物の撤去作業に着手しました。17日に団隷下部隊を増強するとともに、19日以降東部方面隊及び西部方面隊から施設科部隊の支援を受け、約2kmにわたる災害廃

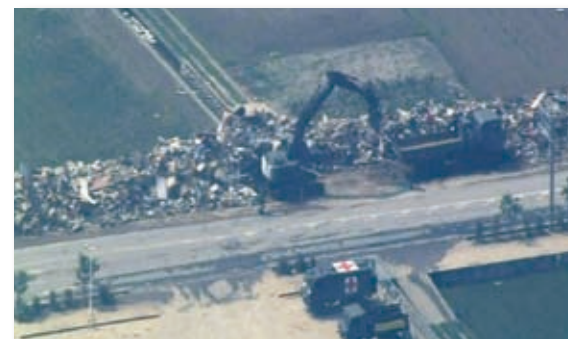
棄物の撤去を実施しました。

最大で1日に油圧ショベル28両を展開し、7tダンプ111両をもって災害廃棄物の撤去を実施して、7月24日に任務を完了しました。撤去完了後は、表示等を実施して市役所に引き渡しております。(写真15、16、17、18)

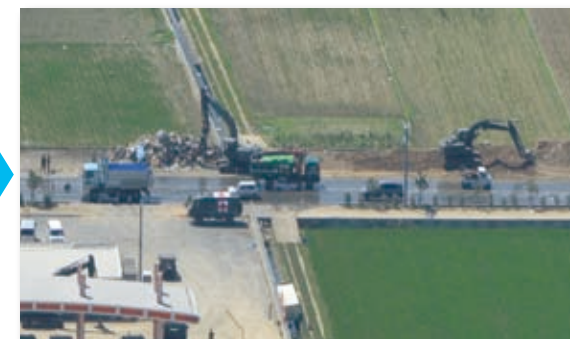
#### 4 大規模災害対処のための取り組み等について

##### (1) 各種防災訓練への参加

自衛隊は、大規模災害を含む各種災害に迅速かつ的確に対応するため、「自衛隊統合防



(写真-15) 川辺宿駅北部地区  
(7月19日撮影)



(写真-16) 川辺宿駅北部地区  
(7月21日撮影)



(写真-17) R486清音上中島地区  
(7月19日撮影)



(写真-18) R486清音上中島地区  
(7月22日撮影)

「災害演習」をはじめとする各種防災訓練の実施及び地方公共団体などが行う防災訓練への積極的参加等を通して、各省庁などの関係機関との連携を図っています。

第4施設団についても、大規模地震などの事態に際し、迅速かつ的確に災害派遣などを行うための能力を維持・向上することを目的として、地方公共団体などの行う防災訓練に参加しています。

## (2) 各種対処計画及び業務計画の策定

自衛隊は、中央防災会議において検討されている大規模地震に対応するため、各種の大規模地震対処計画を策定しています。例えば、首都直下地震、南海トラフ地震等に対処するための対処計画を策定するとともに、計画の実効性を検証するための訓練を実施して計画への反映、見直しを実施しています。

## (3) 地方公共団体との連携

災害派遣活動を円滑に行うためには、地方公共団体などとの平素からの連携の強化も重要です。このため、自衛隊は、各種防災訓練

への参加、連絡体制の充実や防災計画の整合など地方公共団体との連携強化を進めています。

具体的には、自衛隊地方協力本部においては、「国民保護・災害対策連絡調整官」を設置し、地方公共団体との平素からの連携確保に努めています。

## 5 おわりに

今回は、平成30年7月豪雨災害における陸上自衛隊の災害派遣活動について、第4施設団の派遣活動の概要とともに紹介させていただきました。

今回の災害が発生した主な要因として、中国・四国地方周辺に積乱雲が数珠つなぎに次から次へと発生する「バックビルディング現象」が挙げられます。これにより、同じ場所に長い時間激しい雨を降らせ、特に、広島県の上空で南からの暖かく湿った風と西からの風がぶつかり合い生まれた上昇気流が線状降水帯を長時間維持させたことが、大規模な災害の発生に繋がりました。近年、異常気象に基づく特異な災害も増加しています。また、

平成30年はこの他にも、大阪北部地震等の災害の多い年となりました。自衛隊は、我が国の防衛を主たる任務として、日々厳しい訓練に励み、災害派遣においては、その成果を遺憾なく発揮して活動しています。

本投稿により、会員の皆様方の自衛隊に対してのご理解・ご協力の一助となれば幸いです。



● 寄稿

# ホルナビ 2Dマシンガイダンス『iDig』 および『iDig Dozer』のご紹介 ～中小規模現場の生産性向上を目指して～

コベルコ建機株式会社  
営業促進部 ICTホルナビ推進室

高木 徳雄



## ・コベルコ建機の情報化施工ソリューション『ホルナビ』

当社では、ICT 建機を一般的な親しみやすいものとする為に、ICT 施工ブランド「ホルナビ」という名称で展開している。(図1) 品揃えとしてはマシンガイダンスのホルナビ2D/3Dに加え、仕上げ作業時にバケット刃先が設計面に沿って動くように、ブーム操作

とバケット操作を自動制御するマシンコントロール『ホルナビ+Plus』をオプション設定するなど、ショベルオペレータや現場用途の多様化に対応すべく、ホルナビ関連メニューの拡充を進めている。

またミニショベルを含む中小規模現場で使われる機械を主な対象として安価で容易に装着できる2Dマシンガイダンス『iDig』をディーラオプションとして設定している。本稿では、この『iDig』および2019年春発売予定の『iDig Dozer』システムの特徴について紹介する。

### ・『iDig』の基本機能

『iDig』2Dマシンガイダンスシステムでは、アタッチメントの姿勢演算に使用するための



図1 コベルコ『ホルナビ』デザインロゴ



図2 『iDig』システム構成



図3 オフセット角度の検知方法

ブーム、アーム、バケット用センサや、コントロールボックスと一体の専用モニタなどを装備している。(図2) オフセットブーム仕様機については、ショベル本体に既に設置されているオフセット角度センサからの信号を利用して、オフセット動作を考慮したバケット先端座標演算を行ない、オフセットブーム仕様機での2Dマシンガイダンスを実現している。(図3) このオフセットブーム仕様機対応は、『iDig』の製造元のBridgin社と、販売代理店のグレートスタージャパン社とコベルコ建機との3社共同でシステム実現したものであり、コベルコ建機が販売する超小旋回モデル(SK20UR~SK130UR)に対応し

たものである。

## ・『iDig Dozer』ドーザーブレード用2Dマシンガイダンス

ミニショベルの多くに搭載されるドーザーブレードを使った敷き均し工程において、ブレード高さや施工面はオペレータの目線位置から見えにくいのが実情であり、高さ精度良く施工するには熟練を要すると言える。『iDig Dozer』ではこの問題を解決しミニショベル1台で掘削と敷き均しのガイダンスを両立させる事に成功した。図4に敷き均しテストの様子を示す。近年は特にブルドーザーのオペレータが不足しており、ショベル1台で両方



図4 iDig Dozerを使った敷き均し



図5 iDig Dozer用アームセンサと回転レーザー

の施工を可能にする事で施工効率向上と人手不足解消に寄与する。以下4点が開発におけるキーポイントである。

①アームセンサのレーザー受光機能を利用してドーザー用マストが不要

一般的なブルドーザーの2Dマシンガイダンスでは、ドーザーブレード上に1メートル程度の回転レーザー受光用マストを取り付けて、レーザーでレベルを取りながら目標面とブレード刃先の高さ差分をモニター上に示す。一方ミニショベルのブレードに長いマストを取り付けると、上部旋回体が回転した時にアタ

ッチメントがマストと干渉するため、これを装備するためには旋回角度を検知して自動で止める機構を必要とする技術的な制約がある。

この問題を解決するために、回転レーザーの受光用に『iDig Dozer』用アームセンサを新たに開発した。ショベルと違ってドーザーモードの場合、ガイダンス中は常にレーザーを受光しなくてはならない。ショベル用アームセンサのレーザー受光部では長さが不足しレーザー光がセンサから外れてしまう問題があったが、アームセンサを約2倍の長さにしてこれを解決している。(図5)

②ドーザーブレード用リフト角センサも無線

ドーザーブレードのリフト角を検知するためにドーザーのリフトフレームに角度センサを取付ける必要があるが、もしセンサ間ケーブルが必要であれば上部旋回体の旋回角度を制限する機構が必要になる。iDigではセンサ間は無線で通信しておりケーブルが存在しないため、これについては問題が無い。(図6)

③モニターのモード切替がワンタッチ

ドーザー用2Dマシンガイダンスを使用する時は、モニター上でショベルモードからドーザーモードへワンタッチで切り替える事ができる。(図7) オペレータは掘削作業と敷き均し作業切り替えにショベルを降りて作業する必要が無い。

④追加部品は最小限

『iDig Dozer』を使用するために追加で必要になる部品は、前述のドーザー用アームセンサとリフト角センサだけであり、本機能に対するコスト増加は最小限で済むので経済的なソリューションと言える。

・おわりに

労働人口の減少、熟練オペレータ不足といった建設現場がかかえる課題は、大型現場に限らず中小規模の建設現場も同様である。当社では重機ショベルだけでなくミニショベルにおいても、1台で複数の役割を担う製品の開発に注力し生産性の向上のためのソリューションを継続的に提供していく。

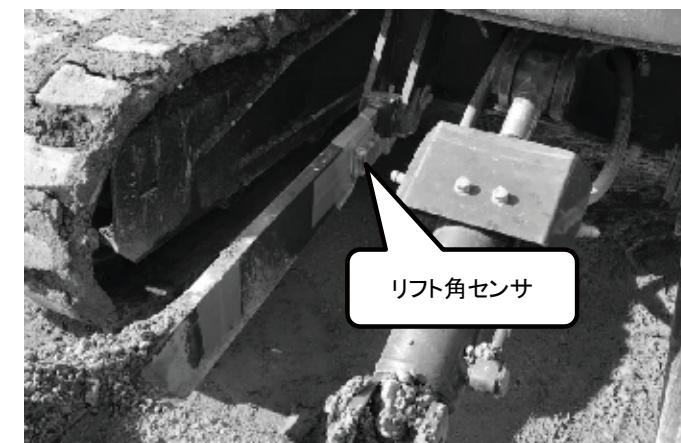


図6 ドーザーブレード リフト角センサ

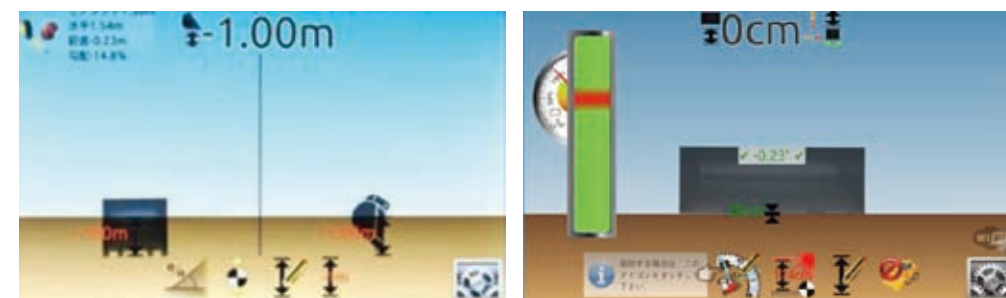


図7 iDigモニター画面 (ショベルモードとドーザーモード)

## お知らせ

### 国土交通省中国地方整備局長より 当協会並びに建機メーカー様6社に 「災害対策関係功労者感謝状」が贈呈されました

～平成30年7月豪雨による被災地域への対応について～

2018年10月10日(水)午後13時30分から、広島県広島市の国土交通省中国地方整備局・建政部において、「災害対策関係功労者感謝状贈呈式」が行われ、当協会・仲田優晴副会長並びに日笠保彦中国支部長、当協会会員建機メーカー様6社が出席しました。

本感謝状は、『平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた被災地域への対応に際し、迅速かつ的確に災害対応に従事し、災害の予防及び応急対策・応急復旧並びに支援活動に大きく貢献した功績』に対し、当協会並びに当協会会員建機メーカー様6社に贈呈されたものです。

平成30年7月豪雨による被災地域対応については、発災後、当協会・角口賀敏会長が国土交通省へ出向き、“協会全体で、被災地域に対する迅速な支援を行いたい”との意思をお伝えしたところ、国土交通省から小型油圧ショベルの緊急派遣要請があり、7月13日、7月18日、7月26日と3回に亘り、広島県、岡山県、高知県に合計59台の小型油圧ショベルを派遣いたしました。

株式会社クボタ建機ジャパン、コベルコ建機株式会社、株式会社小松製作所、住友建機株式会社、日立建機日本株式会社、ヤンマー建機株式会社（※順不同、敬称略）の建機メーカー様6社による多大なるご支援とご協力、並びに中国地方、近畿地方及び九州地方の会員企業による厚いご支援とご協力を得られたことで、敏速な対応を行うことができました。

感謝状を贈呈された、国土交通省中国地方整備局・富樫篤英企画部長からは、「平成30年7月豪雨による被災地域への対応については、ひとえに、本日お集まりいただいた皆様方が昼夜を分かたずご尽力いただいたことによるものであり、この場を借りて心より御礼を申し上げます。

今回の災害発生規模を見ると、未曾有の災害と言える一方、現在では、10年前、20年前とは違う気候の変動により、今後も同様の大きな災害が発生することが懸念されます。

このような中、我々がすべきことは、今後もこのような大規模な災害が発生する

ことを想定し、しっかりと社会インフラを管理することではないでしょうか。

一方、建設業界を取り巻く環境は大変厳しく、建設業に携わる技術者の方々が減っている現状がございます。このような中、我々“官”と本件にご協力をいただいた“民”の皆様方との連携を密にすることで、発災時の被災地域に対する『早期の対応』及び『被害状況に対する、的確かつ迅速な対応』を行っていきたくと考えています。

今後も、皆様方との連携を図り、一致団結して被災地域への対応に取り組んで参りたい。」とのお言葉をいただきました。

なお、本件において、当協会が派遣いたしました小型油圧ショベルについては、現在も愛媛県、高知県で稼働し、瓦礫処理や土砂の搬出作業を継続しております。

当協会では、今後もこのような大規模な自然災害が発生することを想定し、自衛隊並びに国土交通省、経済産業省などの行政機関並びに会員企業との連携を図るとともに、会員企業に対する積極的な被災地域支援への参加を働きかけて参ります。

今後も、本件に対するご支援・ご協力をいただいた会員メーカー様並びに会員企業の皆様の背中を追い、協会の持てる力を発揮し、発災時により敏速に対応できる体制を整え、社会に貢献して参ります。



感謝状の贈呈を受けた、(株)クボタ建機ジャパン、コベルコ建機(株)、(株)小松製作所、住友建機(株)、日立建機日本(株)、ヤンマー建機(株)、(一社)日本建設機械レンタル協会（※順不同、敬称略）



感謝状の贈呈を受ける、当協会・仲田優晴副会長



～平成30年7月豪雨による被災地域への対応について～

国土交通省四国地方整備局長より、  
当協会並びに当協会四国支部、  
建機メーカー様6社に感謝状が贈呈されました

今年7月に発生した、平成30年7月豪雨により被害を受けられた、西日本地区に対する被災地域支援では、当協会並びに当協会四国支部、建機メーカー様6社が協力し、甚大な被害を受けられた広島県、岡山県、愛媛県、高知県に合計59台の小型油圧ショベルを派遣いたしました。

本件において「迅速かつ的確に災害の応急対策・応急復旧活動」に大きく貢献したことに對し、国土交通省四国地方整備局長より、当協会並びに当協会四国支部、ご協力をいただいた株式会社クボタ建機ジャパン、コベルコ建機株式会社、株式会社小松製作所、住友建機株式会社、日立建機日本株式会社、ヤンマー建機株式会社（※順不同敬称略）の建機メーカー様6社に感謝状が贈呈されました。また、ご協力をいただいた、当協会四国支部会員7社に對し、御礼状をいただきました。

当協会では、今後もこのような大規模な自然災害が発生することを想定し、行政機関並びに会員企業との更なる連携を図って参ります。

本件にご協力をいただきました建機メーカー様並びに四国支部、四国支部会員の皆様に対し、改めて御礼を申し上げますとともに、今後も当協会の持てる力を発揮し、発災時の迅速かつ的確な対応を通じて、社会に貢献して参ります。



小型油圧ショベルの派遣により、迅速かつ的確な災害の応急対策・応急復旧活動に大きく貢献しました

# 登録制度を目指して 「新資格制度」がはじまりました！

登録制度特別委員会

## 新資格制度のスタート

協会では建設機械レンタル業界の社会的地位向上のため、新たな登録制度を検討しており、平成26年2月に組織活性化推進委員会が取り纏めた答申書において「レンタル企業の登録制度等の検討とそれに向けた努力」を行うことを提言して以降、登録制度導入に向けての具体的な内容を検討して参りました。

平成29年5月からは、登録制度特別委員会に於いて具体的な制度のあり方の検討を進め、このたび、登録制度の人的要件のひとつである有資格者としての「建設機械レンタル管理士」を輩出する新資格制度が2018年10月23日よりスタートいたしました。4か月が経過して、1月25日現在までに1,276名のお申込みをいただき、既に144名の資格者が誕生しております。

## 2020年4月登録制度導入に向けて

建設機械レンタル業界の社会的地位向上と質的な向上を目的として、協会として2020年4月を目途に、「顧客から信頼されるレンタル拠点の運営」と「良質で安全なレンタル機材の提供」によりユーザーへの便宜と業界の質的向上を図ることを重要課題として、建設機械レンタル業者登録制度の導入を目指しています。登録業者には、登録標章の掲示を認めるとともに、協会ホームページでの紹介や、保有機材への優良マークの貼付での差別化、災害協定などでの優先的な紹介等の様々な特典の付与を検討しています。また、ユーザーからの信頼を得るためには、業界全体として、有用な人材の確保育成が極めて重要であり、とりわけレンタル業務運営の中核となるべきレンタル拠点の長（営業所長）のレベルアップが喫緊の課題となっています。

そこで、登録制度の導入に先立ち、この度、新たな資格制度「建設機械レンタル管理士」（民間資格）を創設し、平成30年10月23日より受講受験の申し込みをスタートさせました。同資格は、業者登録を受けるための要件（各営業所に建設機械レ

ンタル管理士が1名以上いること）のひとつであります。

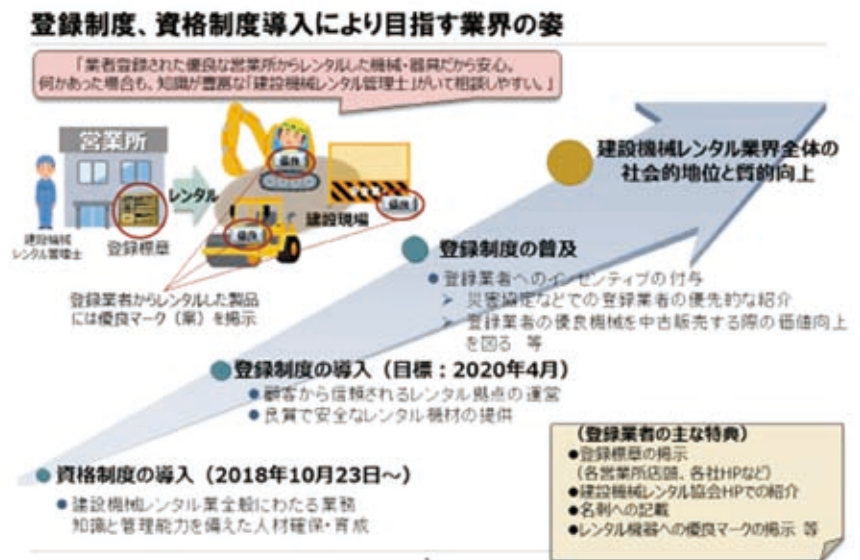
同資格取得には、当協会が作成するテキストに基づく一定の講習と一定の認定試験の実施を求めます。講習及び試験の実施にあたっては、「e-ラーニングと会場型CBT試験」のWEB講習・試験方式を導入します。

なお、登録制度に向けての資格制度の具体的な内容や運用方法につきましては、多くの会員の皆様に周知していただくために、業界紙や協会HPなどを通じて、積極的に情報発信して参りました。

建設機械レンタル業界は、社会資本整備や災害復旧等における直接の担い手である建設企業を顧客とし、その使用する建設機械の6割以上を供給するまでになり、今やレンタル機材なくしてインフラ整備等の国土開発はないと言っても過言ではありません。

一方で、建設機械レンタル業界は、営業規制がなく、参入障壁の低い業態であることによる優良事業者と不適格事業者が混在する状況になっている現状を打開し改善するために、現在の諸々のみつめていかなければならない市場飽和を原因とする業者間競争の激化によるレンタル単価の低下、少子高齢化の進展に伴う担い手である人材の確保・育成など様々な課題を抱えています。さらには、営業拠点での環境、職場でのコンプライアンスへの要求が高まり、事業存続には良き企業市民であることが求められています。

「地域社会に貢献し、共生する営業所」「良質で安全なレンタル機械器具の提供」等に努めるとともに、“信頼される業界”に向けた取組が求められている中で、本協会では、登録制度とそれを円滑に進めるための土台となる優秀な管理技術者の育成を目指すため、今回の新資格制度「建設機械レンタル管理士」の民間資格制度を創設いたしました。

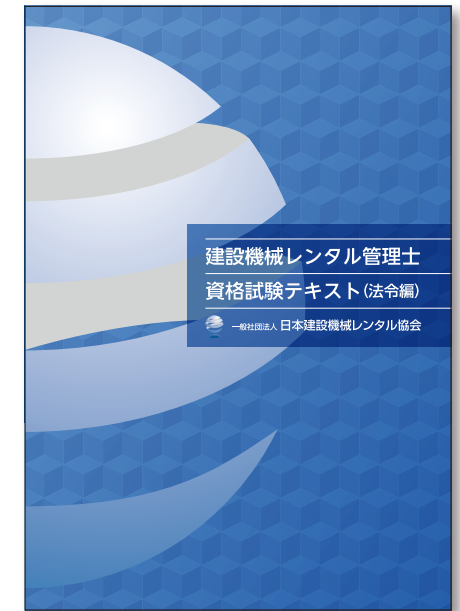
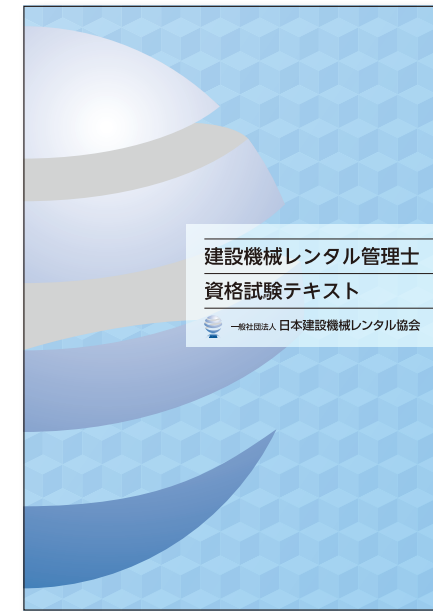


## 新資格制度「建設機械レンタル管理士」の役割と資格取得の方法

登録制度の要件のひとつ、人的要件としての「建設機械レンタル管理士」とは、レンタル拠点長としての資質の向上、即ち、管理責任者として備えるべき最低限の知識（運営管理、人事、財務経理、安全、コンプライアンス等）を習得して、優良レンタル業者として、地域で信頼される営業活動をしていくために、拠点（営業所）の運営を中心となってマネジメントする役割を果たします。この「建設機械レンタル管理士資格試験テキスト」（本編と法令編2冊1組）の内容から厳選された300問の問題を、e-ラーニング（パソコンを利用して、インターネットなどの手段を通じて行う学習形態）で学習していただき、e-ラーニング修了後、会場型CBT試験（ITによりネットワーク化された全国260会場のテストセンターにおいて、コンピューターで試験を実施）を受験し合格することにより「建設機械レンタル管理士」として登録されます。このWEB受講・受験方式を採用することにより全国各地域での年間を通じた受講・受験が可能となり、資格取得がより推進されることとなります。

大項目	中項目
1. 建設機械レンタル業の概要	範囲、沿革、レンタルのメリット・デメリット
	レンタルにおける流通経路
	レンタル業に関する資格と人材育成
2. 建設機械レンタル業の実務	機械化施工の積算
	機械経費の概要
	機械損料/建設機械レンタル原価
	建設機械器具の一般事項
3. 建設機械の運営管理	主な建設機械器具
	建設機械器具の維持管理と検査
	経年仮設機材の管理
	財務分析
4. 建設機械レンタル業の経営と財務	レンタル標準契約
	就業規則（服務規律・労働時間）
5. 建設機械レンタル業における労務管理	安全対策、リスクマネジメント
6. 建設機械レンタル業の安全管理・マネジメント	コンプライアンス、法規
	内部統制・監査
	7. 建設機械レンタル業の関係法令（本編と法令編の2冊）

【建設機械レンタル管理士 資格試験テキスト】



建設機械レンタル管理士 資格試験テキスト

## 受講・受験に関するよくある質問にお答えします！

### Q1：受講・受験の申し込みはどのように行いますか？

**A：**申込は協会のホームページから行います。「建設機械レンタル管理士資格認定試験」のバナーをクリックすると応募要領を経てCBTSの申込画面に入ります。画面の記入欄に必要事項を入力します。決済方法の選択画面が出ますので、クレジット決済かコンビニ振込を選択して決済していただきます。決済完了後、IDとパスワードが送られてきます。このIDとパスワードを使用してパソコン、スマホから申込確定後10日目から学習ができます。この10日間の間にテキストが送られてきます。

この他不明な点やCBT試験申込時の写真のアップロード（合格後の資格証写真）の仕方など、わからない場合は申込画面に記載されているコールセンターへ問合せをすれば丁寧に教えてくれます。

### Q2：e-ラーニングの学習とCBT試験の内容はどのようなものですか？また、受講・受験できる期間はどのくらいですか？

**A :** eラーニングの受講期間は6か月あります。この期間繰り返し何度でも学習できるのがeラーニングのメリットです。期間が長いですが早目に修了させて試験にチャレンジしていただくことをお勧めします。

CBT試験の受験ができる期間はeラーニングの学習期間の6か月以内です。1回目の受験は申込時にセットとなっております。eラーニングの学習はパソコン、スマホでいつでも学習できます。内容は、300問の学習問題を5～15問の問題数で区切った31のカテゴリ毎で学習していただき、80%以上の正答で次のカテゴリに進み300問修了に向け学習していただきます。300問すべてを一度に学習すると5時間程度かかりますので、ご自身の都合に合わせて区切って学習できます。eラーニング申込後10日目から受講できます。学習期間は6か月以内であれば期間内には何度でも繰り返し受講することができます。

会場型CBT試験は、eラーニングを修了したあと申込が可能となります。最寄の提携先パソコン教室などの会場を予約してその会場営業日の予約時間に受験します。試験はeラーニングで学習した300問のうちから50問がランダムに出題されます。出題形式は三択の選択問題です。試験時間は60分で70%以上の正解で合格となります。不合格の場合は前述の6か月以内なら何回でも再受験できます。但し、再受験は申込と別途受験料がかかります。期間内ならeラーニングの学習内容を見られますので都度復習してから受験できます。合格しますとその場で合格が表示されます。不合格、または、未受験のまま6か月の学習期間を経過してしまいますと、再受験料での受験はできなくなります。再度、新規受講受験申し込みをしていただくこととなりますので必ず期間内に学習して受験合格を目指してください。合格されますと後日合格証＝資格証（登録証）と合格認定証が交付されます。

**Q3 :** 私は以前に「建設機械器具賃貸業管理技士」の資格を相当苦勞して取得したのですが、優遇処置はあるのですか？

**A :** 「建設機械器具賃貸業管理技士」資格を保有する方（旧資格者）は、永久資格を取得してない方も含めてすべての旧資格者について、新規の「建設機械レンタル管理士」資格の受講・受験者と区別して、eラーニングの受講修了をもって資格が取得されたとして登録されます。但し、これは初回のみ**移行処置**としておりますので、該当の方は必ず期限までには受講申し込みをお願いします。2020年3月末までに申し込みをしていただかないと移行措置はなくなります。

お申込はホームページで！

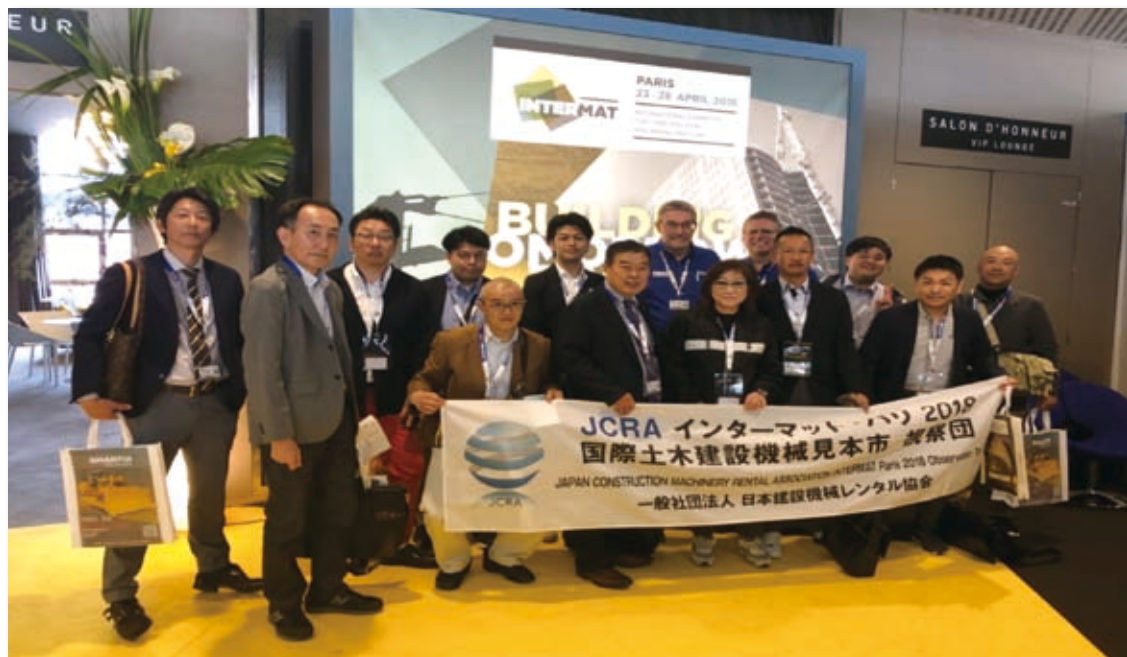
「建設機械レンタル管理士」資格保有者数 2019年1月7日現在

支部名	都道府県	旧資格者	会員	総計
北海道	北海道	21	2	23
青森	青森県	1		1
秋田	秋田県	2		2
岩手	岩手県	1		1
宮城	宮城県	1	2	3
山形	山形県	1	1	2
福島	福島県		1	1
東京	東京都	1	2	3
	埼玉県	2	1	3
	千葉県		1	1
	茨城県		1	1
神奈川	神奈川県	1	2	3
長野	長野県	1	1	2
静岡	静岡県	4	1	5
中部	愛知県	5	2	7
	三重県	3		3
北陸	富山県		1	1
	福井県	1	2	3
滋賀	滋賀県	1	1	2
京都	京都府	2		2
大阪	大阪府	3	3	6
兵庫	兵庫県	1	1	2
中国	鳥取県	2	1	3
	島根県	1	1	2
	岡山県	2		2
	広島県	3		3
	山口県	2		2
四国	香川県		1	1
九州	福岡県	2	3	5
	佐賀県	2		2
	長崎県	1	3	4
	大分県		1	1
<b>総計</b>		<b>67</b>	<b>35</b>	<b>102</b>

## お知らせ

### 「INTERMAT 2018」(フランス・パリ) 視察研修 報告 (2018 (平成30) 年4月24日 (火)~29日 (日))

当協会では、海外研修事業の一環として、世界の建設機械及び施工技術の事情視察、会員間の結束強化等を主目的として、フランス・パリで開催された国際土木建設機械見本市「INTERMAT 2018」(2018 (平成30) 年4月24日 (土)~4月29日 (日) (4泊6日))の海外視察研修を実施いたしました。メンバーは、全国の正会員・賛助会員から参加を募り、合計10社12名での実施となりました。(団長：角口会長)



(「INTERMAT 2018」会場にてアメリカレンタル協会 (ARA) Ken Hughes氏とともに)

世界三大建機展の一つであるこの展示会は、ドイツ・ミュンヘンで開催される「bauma」に続き、世界第2位の規模を誇る土木建築・建機見本市で、フランス・パリで3年毎に開催されています。375,000㎡の広大な展示スペースに世界約160ヶ国から約1,400社が出展し、約173,300人が来場しました。特に今回は、視察中に世界中の建機レンタル業者が集うイベント「レンタルデイ」が開催され、「10年後の建機レンタルバイヤー」というテーマで国際カンファレンスが行なわれました。

また、フランス見本市協会、ヨーロッパレンタル協会 (ERA) のご協力により、フランス建機レンタル最大手である LOXAM 社の Aulnay 営業所を視察し、同社幹部と闊達な意見交換を行ないました。今回の視察を通して、世界最新鋭の建設機材、サービス、技術を見聞できたことは、今後の我が業界にとっても、大変有意義な経験でした。全体的に過密スケジュールでの行動となりましたが、参加者全員、無事に帰国の途につきました。



(「INTERMAT 2018」会場内の様子)



(LOXAM社訪問：同社取締役営業統括本部長 Stephane Henon氏とともに)



(LOXAM社 Aulnay営業所 視察)



## 当協会・気田福俊 副会長が黄綬褒章を受章

当協会・気田福俊副会長（青森リース㈱代表取締役）が、平成30年秋の褒章伝達式において黄綬褒章を受章されました。

気田氏は、当協会において、副会長等の要職を努められるとともに、青森支部長も兼務されております。本受章は、『多年にわたり建設機械器具賃貸業に従事し、斯業の発展に尽力したことについて』の業務精励に対し、褒章が授与されたものです。

11月14日（水）午前11時より、国土交通省で行われた伝達式では、気田氏並びに受章者に対し、石井啓一国土交通大臣より褒章の記（賞状）及び褒章の伝達が行われました。また、午後3時30分頃からは、皇居宮殿において拝謁式が執り行われました。

なお、今回の国土交通省関係の褒章受章者は、藍綬褒章2名、黄綬褒章72名、緑綬褒章2名・8団体、合計76名・8団体となっています。



受章者 気田福俊氏<sup>㊤</sup>と御令室<sup>㊦</sup>



建設専門工事業関係の受章者を代表して、気田氏に褒章の記及び褒章の伝達が行われました



伝達式終了後は、国土交通省・岡積敏雄大臣官房技術参事官との面談が行われました

## 平成30年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰について

2018（平成30）年7月10日（火）年の「建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」の表彰式が、国土交通省10階共用大会議室で行われ、当協会の菅野 浩昭前常任理事（前宮城支部長、東北リース株式会社）並びに北條 光一理事（栃木支部長、株式会社北條モータース）が『多年建設機械業に精励するとともに関係団体の役員として業界の発展に寄与した』ことにより受表彰されました。

なお、平成30年の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰は、222名3団体が受表彰し、表彰式では、牧野たかお国土交通副大臣より賞状と記念品が授与されました。

※建設事業関係功労 222名

（部門別内訳）

収用委員会等委員 11名	都市計画事業関係 15名
建設業関係 103名	河川事業関係 5名
不動産業関係 38名	道路事業関係 6名
測量事業等関係 9名	住宅・建築事業関係 32名
建設機械関係 3名	建設行政関係 該当なし
他 優良団体 3団体	



㊤菅野 浩昭 前常任理事（前宮城支部長、東北リース株式会社）と  
㊦北條 光一 理事（栃木支部長、株式会社北條モータース）

## JCRAスーパーオークション報告

当協会の主催する JCRA スーパーオークションは協会の健全な中古機械器具流通の活性化と適正な流通を図る事を目的に平成25年9月より開始されました。

2013年9月の第1回開催から2018年10月までの5年間で計68回開催致しました。

2019年からは協会の皆様への利便性の向上と事業の発展を推進する為に事務局の体制を刷新致します。

2017年7月から JEN 社と連携し営業活動を行って参りましたが、新体制として JCRA スーパーオークション事務局は株式会社 ALM と株式会社 JEN との間で業務提携を締結し協同で運営を行います。

### ★これからの JCRA スーパーオークションの取り組み

#### ①協会員皆様の利便性の向上

- 売却希望の機械の価格問い合わせに迅速に対応致します。
- 中古機械市場の国内・海外市況へのお問い合わせにも対応致します。
- 海外からのオークション入札者の拡大に伴う成約実績の向上に努めます。

#### ②事務局のフォロー体制の充実

出品手続き、成約、代金決済、落札後の回送手配なども、取引経験豊富なオークション事務局がフォロー致します。

海外への貿易手続きも代行致します。

#### ③なんでも出品出来ます。

建設機械・道路機械・産業機械・環境機械・車両系・部品等、協会の皆様がお取り扱いの商品は出品可能です。ご不明な点はお問い合わせ下さい。

### ★ JCRA スーパーオークションの結果報告 第60回～第68回 (2018.1～2018.10)

2018年1月から2018年10月の期間で9回開催致しました。

#### ※出品・成約状況 (9開催計)

【出品】	参加社数計	出品台数	昨年同期間実績 (19開催計)
協会員	37社	339台	913台
外部参加者	21社	212台	606台
合計	58社	551台	1,519台



	成約金額	成約単価	成約台数
協会員出品	6,289,000円	628,900円	10台
外部参加者出品	4,511,000円	1,503,666円	3台
合計	10,800,000円	830,769円	13台

### ★ JCRA スーパーオークション事務局のサービス

#### ①オークション出品機械指定ヤードの増設

ヤードから出品される商品は、オークション事務局による検品を経て出品されます。統一された検査基準で機械の状態を明確に表記し、会員が安心して入札出来る体制を強化しております。

〈ヤード所在地6ヤード〉

神奈川 (川崎市) 千葉 (野田市) 北海道 (苫小牧市) 名古屋 (東海市) 神戸 (神戸市) 福岡 (糟屋郡) 2019年からは新たに千葉 (富里) が開設されます。

#### ②販売力の向上を図る為、他オークション会社と提携。

2019年からは GUIA & NORI パレードオークション (成田)

NORI テンダーオークション (成田・神戸) への出品代行も開始。

#### ③協会員売却機械の売買仲介サービス

オークション入札会員向けに機械の情報提供を行い、売却の仲介を行っております。現在、月間約100台の売却情報を入札会員に提供しております。

2019年からは海外バイヤーへの販売も本格的に開始致します。

今後とも、正会員・賛助会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

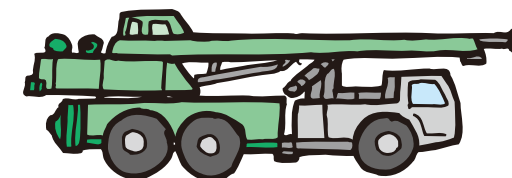
### ★ご不明な点、ご要望等、JCRA スーパーオークション事務局までお気軽にお問合せ下さい。

#### 【お問合せ窓口】

株式会社 ALM JCRA スーパーオークション事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-4-3

TEL : 03-5937-4581 FAX : 03-5937-4991



## 協会ホームページについて

会員企業、賛助会員企業の皆様、また、ホームページをご覧くださいすべての皆様に協会や業界の最新情報をより早く、分かりやすく発信するために新法人移行を機に協会ホームページを全面リニューアルいたしました。今後もさらに内容の充実を図ってまいりますので、何卒ホームページをご覧くださいますようよろしくお願いいたします。特に会員ログインページには、会員様ならではの情報を掲載しておりますので、一般ページと合わせてご覧くださいますようよろしくお願いいたします。（会員ログインページのID・パスワードがわからない場合は、協会本部事務局（TEL 03-3255-0511）までお問い合わせください。）

URL <http://www.j-cra.org/>

※現在の協会ホームページ



## 会員証の追加発行について

新法人に移行したことを機に協会の会員証（ボード）を発行いたしました。

「（一社）日本建設機械レンタル協会の会員であること」を証明するとともに、会員企業の信頼・信用構築の一助となり、社会に対して信頼される証となることを目的としております。平成25年12月に1社1枚無料で配布させていただきました（その後の入会会員には入会年に無料配布させていただきました）が、その後複数枚以上ご希望の会員様は1枚あたり¥8,640-（税込・送料込）にて作成いたしますので、ご希望の節は、下記所定の事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

※会員証サンプル



記

..... 会員証追加注文書 .....  
（この用紙をコピーしてご使用ください。）

※追加注文をご希望の方は、下記所定の事項をご記入の上、切り取らずにこのままFAXをお願い申し上げます。

（なお、製作期間として2週間程度頂戴いたしますので、ご了承ください。）  
代金のお支払い等につきましては、発送時にご案内させていただきます。

**申込先 FAX 03-3255-0513**

追加注文枚数	枚
会員番号（会員証に記載されている10桁の番号）	
会社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
TEL	—
FAX	—
E-MAIL	



## 関係省令記事

平成30年12月21日  
総合政策局公共事業企画調整課

### 低騒音型・低振動型建設機械の指定について

国土交通省では、建設工事に伴う騒音・振動対策として、騒音・振動が相当程度軽減された建設機械を低騒音型建設機械及び低振動型建設機械として指定を行っております。今回、平成30年12月21日付で、別表に示すとおり低騒音型建設機械として35型式の指定を行いました。

上記型式指定は、低騒音型建設機械及び低振動型建設機械の利用を促進し、もって建設工事の現場周辺の生活環境の保全と建設工事の円滑な施工を図ることを目的として定めた「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき、平成9年から実施しているものです。

なお、今回、低振動型建設機械の指定はありません。

#### ◆【低騒音型・低振動型建設機械指定状況】

		前回までの指定	今回指定	累計
低騒音型建設機械	型式数	6,324	35	6,359
低振動型建設機械	型式数	32	0	32

指定建設機械の一覧は国土交通省のホームページへ掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei\\_constplan\\_tk\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/sosei_constplan_tk_000003.html)

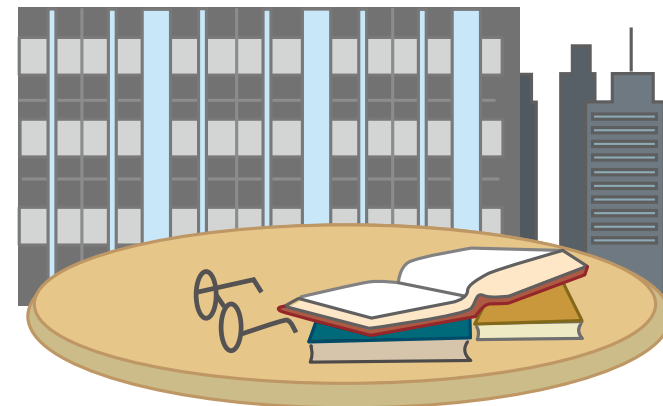


別表(低騒音型建設機械)

指定番号	機種	型式	諸元				申請社名		
6325	バックホウ	VI012-2A	山積容量	0.028	m3	平積容量	0.020	m3	ヤンマー建機(株)
6326	バックホウ	VI020-6	山積容量	0.06	m3	平積容量	0.04	m3	ヤンマー建機(株)
6327	バックホウ	SK20SR-6	山積容量	0.06	m3	平積容量	0.04	m3	コベルコ建機(株)
6328	バックホウ	150W	山積容量	0.67	m3	平積容量	0.45	m3	コベルコ建機(株)
6329	バックホウ	U-17-3A	山積容量	0.0409	m3	平積容量	0.0290	m3	(株)クボタ
6330	バックホウ	U20-5CHN	山積容量	0.066	m3	平積容量	0.045	m3	(株)クボタ
6331	バックホウ	U-30-5CN3	山積容量	0.09	m3	平積容量	0.07	m3	(株)クボタ
6332	バックホウ	KX135-3SZ3	山積容量	0.11	m3	平積容量	0.09	m3	(株)クボタ
6333	バックホウ	R920	山積容量	1.00	m3	平積容量	0.78	m3	タツ・ジャパン(株)
6334	バックホウ	R922	山積容量	1.25	m3	平積容量	0.95	m3	タツ・ジャパン(株)
6335	バックホウ	R924	山積容量	1.45	m3	平積容量	1.08	m3	タツ・ジャパン(株)
6336	バックホウ	R944C SME	山積容量	2.5	m3	平積容量	2.0	m3	タツ・ジャパン(株)
6337	トラクターショベル	L524	山積容量	2.2	m3	平積容量	2.0	m3	タツ・ジャパン(株)
6338	トラクターショベル	L550	山積容量	3.5	m3	平積容量	3.2	m3	タツ・ジャパン(株)
6339	アースオーガー	LB16-180	オーガ出力	140	kW	掘削径	1500	mm	タツ・ジャパン(株)
6340	アースオーガー	GI-80C-4	オーガ出力	51	kW	掘削径	1200	mm	(株)ワイビーエム
6341	アースオーガー	GI-130C-3	オーガ出力	67	kW	掘削径	1600	mm	(株)ワイビーエム
6342	アースオーガー	GI-180CP-1	オーガ出力	85.1	kW	掘削径	406.4	mm	(株)ワイビーエム
6343	クローラークレーン	SCX800E-C3	吊上能力	80	t吊	x	3.2	m	住友重機械建機(株)
6344	クローラークレーン	CKS1100	吊上能力	110.0	t吊	x	3.6	m	コベルコ建機(株)
6345	クローラークレーン	CCH550T-6E	吊上能力	55	t吊	x	3.0	m	(株)加藤製作所
6346	トラッククレーン	ATF-140N-5.1	吊上能力	140	t吊	x	2.5	m	(株)タダノ
6347	振動ローラー	KV40DSEM	車両総質量	4.0	t				関東鉄工(株)
6348	振動ローラー	H550KS	車両総質量	0.58	t				関東鉄工(株)
6349	振動ローラー	H600E	車両総質量	0.655	t				関東鉄工(株)
6350	アスファルトフィニッシャー	SUPER 2100-3i (4f)	舗装幅	2.55~9.5	m				ヴァルトゲン・ジャパン(株)
6351	空気圧縮機	PDSJ1450DP-4C5	吐出量	41.1	m3/min	圧力	2.0	MPa	北越工業(株)

別表(低騒音型建設機械)

指定番号	機種	型式	諸元				申請社名		
6352	空気圧縮機	PDS80L-5C5	吐出量	2.3	m3/min	圧力	0.7	MPa	北越工業(株)
6353	空気圧縮機	PDS80LC-5C5	吐出量	2.3	m3/min	圧力	0.7	MPa	北越工業(株)
6354	発動発電機	PGW190SV-A1	定格容量	3.5	kVA	溶接機出力	4.56	kW	北越工業(株)
6355	発動発電機	DGW340M	定格容量	11.4	kVA	溶接機出力	9.1	kW	(株)やまびこ
6356	発動発電機	DGM451MK	定格容量	45	kVA				(株)やまびこ
6357	発動発電機	KG-101	定格容量	1.0	kVA				(株)ニチネン
6358	発動発電機	MW3000S	定格容量	3.0	kVA	溶接機出力	4.4	kW	(株)ワキタ
6359	発動発電機	NES150TI2	定格容量	150	kVA				日本車輛製造(株)



## 「働き方改革」とメンタルヘルスについて

前号（かいほうNo5 昨年2月発刊）にて、「ストレスチェック制度」についてご説明させていただきましたが、昨年6月29日（金）の参議院本会議で「働き方改革関連法案」（正式名称：働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案）が可決・成立したことを受けて、残業時間の上限規制や有給休暇取得の義務化、勤務間インターバル制度、正規雇用・非正規雇用間の賃金格差の解消、高齢者の就労促進等、業界問わず喫緊の課題として対応すべき事項がいろいろと出てきているところですが、今回は「働き方改革」とメンタルヘルスについてもう少し掘り下げて書かせていただきたいと思います。

長時間労働による過労死、自殺、パワハラ、いじめ、陰口等の悪環境下での働き手の心身の問題をきっかけに、労働者がメンタルヘルス不調になることで、本人のみならず、職場全体のモチベーションは低下し、加えて、生産性も低下してしまうことになりかねません。また、職場のメンタルヘルス問題は、社内の人間関係が起因して発生することも多いことから、メンタルヘルス対策とハラスメント対策は相通じるところがあります。前号でもご説明した通り、2015（平成27）年12月にストレスチェック制度が施行され、丸3年になりますが、厚生労働省が一昨年公表した初年度のストレスチェック実施状況の集計結果によると、ストレスチェックの実施が義務づけられている常時50人以上の労働者を雇用する事業所の8割超が、ストレスチェックを実施済みであるとのことでした。ただし、ストレスチェックは、自身のストレスの度合いを確認するもので、これだけでは、事業所のメンタルヘルス対策をしたことにはなりません。今後は、さらにストレスチェックを含めた総合的な心の健康づくり計画の策定・実施について本気で取り組む必要があると思われれます。

それでは、具体的にストレスチェックを含めた心の健康づくりのための計画で定めるべき事項には、どのようなものがあるのか、厚生労働省が掲げている事項は、次の6点です。

- ① 事業者がメンタルヘルスカケアを積極的に推進する旨の表明に関すること
- ② 事業場における心の健康づくりの体制の整備に関すること
- ③ 事業場における問題点の把握及びメンタルヘルスカケアの実施に関すること
- ④ メンタルヘルスカケアを行うために必要な人材の確保及び事業場外資源の活用に関すること
- ⑤ 労働者の健康情報の保護に関すること
- ⑥ 心の健康づくり計画の実施状況の評価及び計画の見直しに関すること

メンタルヘルス・ハラスメント対策を講じることで「従業員を大事にする働きやすい会社」との認識に繋げ、社内の士気や従業員の満足度の向上や採用・定着化にも効果が期待

できます。事業者が積極的な取り組みをしていただき、職場全体のストレス要因を知ることによって職場環境の改善を図っていただければと思います。

ストレスチェック制度の実施に伴い、厚生労働省は、情報提供のためのポータルサイト「こころの耳」（<https://kokoro.mhlw.go.jp/>）を開設していますが、皆さんご存知でしょうか。前号でもご紹介させていただきましたが、インターネットによるメンタルヘルスの情報提供窓口となっており、働く人の心の健康に関するさまざまな情報を提供しています。「相談窓口の紹介」「メール相談」「疲労蓄積度セルフチェック」等ができますので、是非ご活用いただければと思います。

### ※参照

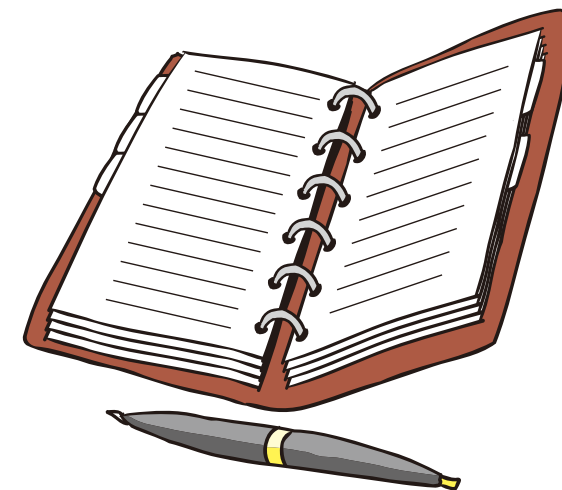
厚生労働省ホームページ

ストレスチェック等の職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策等

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei12/>

上記の趣旨を正しくご理解いただき、従業員のこころの負担が積み重なる前に働きやすい職場環境を実現していただければ幸いです。

（精神保健福祉士 北條 雅己）





## そばの起源とは…。

### “ソバ（蕎麦）”のプロフィール

“ソバ”（蕎麦、学名 *Fagopyrum esculentum*）は、タデ科ソバ属の一年草です。

穀物は、一般的にイネ科（単子葉類）であるのに対して、ソバはタデ科（双子葉類）です。ソバは、美容や健康に効果的とされ、注目を集めているアマランサス（ヒユ科）やキヌア（アカザ科）等とともに、穀物として利用される双子葉類の種子である擬穀類（ギジコクスイ）と呼ばれます。

日本では主に種子を製粉して蕎麦粉として利用し、それをういた麺（蕎麦）や蕎麦掻き（そばがき）等を食用としています。

### 蕎麦の起源・発祥とは

蕎麦は日本の食べ物と思われがちですが、ある説によると、その起源・発祥は大陸からと言われています。蕎麦の起源地は、東アジア北部のバイカル湖から中国東北部、アムール川上流沿岸、ダウリアなど、様々な説が存在しますが、この中央アジア原産説については、“蕎麦”を表現するサンスクリット語や梵字（ぼんじ）が存在しないことから、信憑性が低いと言われています。

一方、1980年代から2000年代に、植物学者の大西近江らがインドやチベット、四川省西部など、各地に自生する“ソバ”を採集し集団遺伝学的研究を行ったところ、中国南部にソバの野生祖先種 *F. esculentum* ssp. *ancestrale* が生育している事を発見したことから、中国南部説が有力とされています。

### 蕎麦の歴史

諸説ありますが、蕎麦の伝来は「中国大陸から九州経由」や「シベリアから北日本」、「朝鮮半島から対馬経由」といったルートであると考えられています。

日本で蕎麦が栽培されていたのは、紀元前7300年（約9300年）も前の縄文時代早期だとも言われています。縄文早期時代の地層からは“ソバの花粉”が出土しているほか、紀元前7000年の縄文土器からは“蕎麦を食べた跡”が発見されるなど、日本国内では、今から約9000年前には既に蕎麦が食されていたことがわかります。“米”の最も古い発見が縄文時代前期（紀元前4000年頃 / 約6000年前）ですから、蕎麦は米よりも古くから日本国内で食されていたこととなります。

また、そばは日本古来の伝統食というイメージですが、現在のような、“ざるそば”や“かけそば”のような“麺”の形となった歴史は意外に浅く、江戸時代の少し前からのことです。

先述の通り、日本で蕎麦が栽培され、食されるようになったのは縄文時代と言われていますから、現在のような形が出来るまでは、蕎麦の実をそのまま食す“そば米”や蕎麦の実を“粥”に、蕎麦の実を砕いてお湯でこねた“蕎麦掻き（そばがき）”、蕎麦粉を水で溶いて焼いた“蕎麦焼き”などが食されてきました。

蕎麦粉を現在のような麺の形態に加工する調理法は、製粉技術が進み、多くの粉を量産できるようになった16世紀末～17世紀初頭に生まれたと言われています。

当初は蕎麦掻きと区別するために、現在のような麺の形を“蕎麦切り（そばきり）”とも呼んでいました。現在では、省略して“そば”と呼びますが、現在も蕎麦切りの呼称が残る地域も存在するようです。



### 「夏蕎麦」と「冬蕎麦」

さて、様々な歴史を経て現在の形になった蕎麦は、出荷時期によって「夏蕎麦」と「秋蕎麦」の2つに分けて呼ばれています。春に種をまき、夏の暑い盛りに収穫される蕎麦は「夏蕎麦」、「蕎麦の初物」と呼ばれています。夏蕎麦は、高温下でもよく結実する品種を使用し、初夏にまく種は比較的短期間で開花することが特徴です。

一方、「秋蕎麦」は、7月下旬から9月上旬にかけて種をまき、9月下旬から11月上旬にかけて収穫する蕎麦を指します。

蕎麦栽培は、高冷地の気候に適しており、“そば県”として知られている信州の高原地区などでは、良質の蕎麦が採れると言われています。その中でも、昼夜の気温差が大きく、朝霧が発生しやすい山裾（やますそ）の標高500～700mの高原地帯を「霧下地帯」と言い、ここで栽培されるそばを“霧下そば”と言います。

霧によって、夜の冷え込みと日中の気温上昇との差を和らげ、蕎麦の生育や結実期に良い効果が得られる霧下そばは、味、栄養ともに優れているだけでなく、鮮やかな緑色で香り高く、粘力があり、最高の風味があると評されています。

### そばナンバーワンは？

現在、そばの収穫量・作付面積ともにナンバーワンは北海道で、作付面積は22,900ha、収穫量は18,300t。次いで収穫量第2位は、蕎麦どころとして知られている長野県が2,140t、第3位が栃木県で1,920tとなっています（農林水産省 平成29年産作物統計より）。

なお、北海道産の品種は、先述の夏蕎麦、秋蕎麦のどちらにも適している品種群であることから、5～7月に種まきをし、8～10月に収穫する、「年一作」となっています。現在では、北海道でのソバ収穫開始が、日本のソバ栽培における“新ソバ（秋ソバ）収穫シーズン開始”の合図とされています。

### 毎月月末は“そばの日”

麺類業界の全国団体である、一般社団法人日本麺類業団体連合会（略称：日麺連）は、1983年に毎月月末を“そばの日”に制定しました。記念日を“毎月月末”としたのは、江戸時代、毎月月末に商人が縁起物として蕎麦を食べていたことに由来するものです。

また、東京都麺類生活衛生同業組合では、「美味しい蕎麦を、もっと多くの人に味わってもらおう」ことを目的とし、新そばの時期である10（月）＝十（そ）、8＝八（ば）に由来した、10月8日を“そばの日”に制定しました。

この「かいほうNo6」が皆様のお手元に届くのは、2月末頃かと思われます。古くから縁起物とされている蕎麦を食し、年度末に向けて英気を養いましょう。

（事務局）



# 平成29年度 事業報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

## 平成29年度 役員会・委員会等報告

開催日	時間	会議名	会場
4月10日(月)	13:00～17:00	管理技士テキスト改訂委員会	TKP 赤坂
4月25日(火)	15:00～17:00	総務委員会	WEB 会議
5月 1日(月)	17:00～18:00	会長・副会長会議	WEB 会議
5月25日(火)	10:00～12:00	登録制度特別委員会	TKP 神保町
	11:00～12:00	会長・副会長会議	TKP 神保町
	13:00～14:20	理事会	TKP 神保町
	14:30～16:00	第5回通常総会	TKP 神保町
	16:10～18:00	懇親会	TKP 神保町
6月21日(水)	14:00～16:00	登録制度特別委員会	エッサム神田1号館
7月 5日(水)	16:00～17:30	総務委員会	WEB 会議
7月13日(木)	11:00～12:50	会長・副会長会議	ホテルグランドヒル市ヶ谷
7月13日(木)	13:00～16:00	常任理事会・支部長合同会議	ホテルグランドヒル市ヶ谷
7月13日(木)	16:00～17:30	懇親会	ホテルグランドヒル市ヶ谷
7月25日(火)	15:00～17:00	広報企画委員会	WEB 会議
8月 2日(水)	15:00～17:00	登録制度特別委員会	TKP 神田駅前
8月 8日(火)	12:00～16:00	可発部会(教育研修委員会内)	KKR ホテル東京
9月11日(月)	15:00～17:00	会長・副会長会議	WEB 会議
9月21日(木)	14:00～17:00	登録制度特別委員会	TKP 神田駅前
9月28日(木)	13:00～15:30	可発講師会	KKR ホテル東京
9月28日(木)	15:30～17:30	可発部会(教育研修委員会内)	KKR ホテル東京
10月5日(木)	13:00～15:00	広報企画委員会	TKP 市ヶ谷
10月5日(木)	15:30～17:00	本部賛助会員会議	TKP 市ヶ谷

開催日	時間	会議名	会場	
平成29年	10月10日(火)	16:00～18:00	総務委員会 WEB 会議	
	10月19日(木)	14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前	
	10月26日(木)	11:00～12:50	会長・副会長会議 ホテルグランドヒル市ヶ谷	
	10月26日(木)	13:00～16:00	常任理事会・支部長合同会議 ホテルグランドヒル市ヶ谷	
	11月15日(水)	16:00～17:30	総務委員会 WEB 会議	
	11月27日(月)	14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前	
	12月11日(月)	16:00～17:30	会長・副会長会議 WEB 会議	
	12月15日(金)	14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前	
	平成30年	1月17日(水)	11:00～12:50	会長・副会長会議 TKP 秋葉原
		1月17日(水)	13:00～15:00	理事会 TKP 秋葉原
1月17日(水)		15:15～15:45	臨時総会 TKP 秋葉原	
1月17日(水)		16:00～17:30	賀詞交歓会 TKP 秋葉原	
1月19日(金)		14:00～16:00	国土交通省との意見交換会 TKP 市ヶ谷	
1月29日(月)		14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前	
2月 6日(火)		12:00～15:00	可発講師会 KKR ホテル東京	
2月 6日(火)		15:00～17:00	可発部会(教育研修委員会内) KKR ホテル東京	
2月27日(火)		14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前	
3月16日(金)		11:00～12:50	会長・副会長会議 ホテルグランドヒル市ヶ谷	
3月16日(金)	13:00～16:00	常任理事会・支部長合同会議 ホテルグランドヒル市ヶ谷		
3月19日(月)	14:00～17:00	登録制度特別委員会 TKP 神田駅前		
3月20日(火)	16:00～17:30	i-Construction 委員会メンバーと国交省担当との意見交換会 霞山会館		

### \*重点項目

○業界の社会的信用の確保と質的向上及び建設企業等のユーザーの便宜を図ることを目的として、本協会が自主規制としての取り組みこととしている任意の「建設機械レンタル業者登録制度」の創設と、本登録制度に併せた、建設機械レンタル業全般にわたる技術力と管理能力を備えた人材確保のための「新たな資格制度(民間資格)」の構築に当たり、その実施に向けた具体的かつ総合的な課題及び実施詳細の

検討並びに態勢整備

○国土交通省のi-Construction推進施策(とりわけICT施工)に対して、その普及促進を積極的に図るとともに、人材育成への取組及びi-Construction施工機器の供給に向けた普及促進策の検討  
○会員及び一般国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の一層の推進  
○全国組織の一般社団法人として求められる組織基盤整備の継続的取り組みと組織強化

- 国・地方公共団体等が行う災害対策活動に関する協定締結や災害支援活動への参加を推進するとともに、社会資本整備やその維持管理及び災害復旧等への貢献を通じた、建設機械レンタル業の周知度と社会的地位の向上・確立
- 行政庁・政府与党への要望・陳情及び国土交通省等の行政庁との連携・協力の推進
- 会員共益事業の充実・強化
  - ◆会員企業社員の福利厚生充実(企業年金基金加入促進等)

### 1. 事業活動 一般事業

- 建設機械レンタル業の基礎データを得る統計資料の継続的収集と、これにより得られた統計データの外部発信及び活用
- 人材の育成・確保及び良質・安全な建設機械器具を提供する観点から、職務に関する関係資格取得を含めた教育研修事業の充実・強化
- 中古建設機械等の流通システムの構築・供用及びレンタル契約時の標準約款である「建設機械等レンタル基本約款」等の普及・啓発
- 組織運営における自己規律の確立と諸規程の改定・整備
- 「信頼されるレンタル業界を目指して」を踏まえた諸活動の実施に努めるとともに、その一環としての各支部における、それぞれの地域の特色を活かした活動や地域社会の健全な発展に資する啓発活動・支援活動その他の社会貢献活動への取り組み
- 平成30年度国土交通省関係等の税制改正要望にあたり、税制調査会並びに税制関係議員への要望書の提出(建設機械施工団体共同陳情)
- 環境問題への対応
- 友好団体との協調・連携等
- 日本建機レンタル総合賠償制度の普及促進
- その他
  - ◆国際交流  
建設機械海外見本市への視察研修、GRA(グローバル・レンタル・アライアンス)との交流等  
<参考:『INTERMAT 2018』(フランス・パリ)、2018.4.24～29>

### 2. 各委員会活動等に関する事項

平成28年度においては、流通委員会、教育研修委員会、総務委員会の3委員会に、広報企画委員会とi-Construction委員会が加わり、5委員会体制となっていたが、平成29年度も、継続して通常の5委員会での活動をおこなった。なお、各委員会の所掌事務等は以下のとおりである。

また、上記の5通常委員会のほか、喫緊の課題である「レンタル業者登録制度」及び建設機械器具賃貸管理士制度を土台とした「新たな資格制度」の創設に向けた詳細設計や具体的な実施態勢等を検討するための特別委員会(登録制度特別委員会)を設置し、毎月1回のペースで会議を開催し、その検討をおこなった。

\* 流通問題関係

- 流通委員会
  - ◆建設機械レンタル業に関わる流通問題の検討、流通調査・研究
  - ◆基本管理料制度の普及・導入促進
  - ◆建設機械レンタルの流通に関するアンケート調査の実施
  - ◆JCRAスーパーオークションの企画・開催等
  - 29年度の課題等
  - 「建設機械等レンタル基本約款」の普及促進と見直し、流通問題全般に関する検討等

\* 教育事業関係

- 教育研修委員会
  - ◆建設機械及びレンタルに関わる教育事業企画・運営
  - ◆可搬形発電機整備技術者養成講習会・試験の企画・運営+
  - ◆建設機械整備技能士養成施策の検討
  - ◆管理者教育講習会に関する方針・事業策定等

\* 会員会費改定検討、建機レンタル総合賠償制度、協会規程等への対応関係

- 総務委員会
  - ◆業界データの収集及び情報公開
  - ◆協会会員会費改定案の検討
  - ◆協会内組織の整備(本部・支部)
  - ◆建機レンタル総合賠償制度
  - ◆国際交流関係事項
  - ◆協会規程類の整備
  - ◆他の委員会に属さない事項等

\* 広報、新規事業企画、災害対応、旧組織活性化推進委員会答申の具現化等の対応関係

- 広報企画委員会
  - ◆協会としての情報発信システムの確立
  - ◆協会ホームページの管理・運用
  - ◆会員及び国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の検討並びにその推進
  - ◆新規事業企画・運営に関する検討
  - ◆災害対策・災害支援活動
  - ◆旧組織活性化推進委員会答申に基づく協会の今後の方向性・ビジョンの具現化等

\* i-Constructionへの対応関係

- i-Construction委員会
  - ◆「i-Construction」(ICT技術の活用)についての普及促進・人材育成についての取組
  - ◆i-Construction施工機械の普及促進策の検討
  - ◆「i-Construction」に関する行政との連携・協力等

\* 特別委員会

登録制度特別委員会  
「レンタル業者登録制度」及び建設機械器具賃貸管理士制度を土台とした「新たな資格制度」の創設に向けた詳細設計や具体的な実施態勢等を検討



# 平成30年度 事業計画 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

我が国経済は、個人消費の回復が遅れが見られますが、「緩やかな回復が続いている」との基調判断が続いており、必ずしも実感が伴わないものの、企業収益や雇用情勢も改善が見られ、景気拡大は高度成長期の「いざなぎ景気」の57ヶ月を超えるに至っており、地域や中小・小規模事業者にも経済の好循環が更に拡大することが期待されます。

一方、建設機械レンタル業界では、東京オリンピック・パラリンピック関連工事の本格化や都心再開発等の大規模案件による活況が見られますが、大都市と地方の事業量の地域間格差が顕在化しています。

こうした中、平成28年のレンタル市場規模は、本会の“建設機械レンタル業実態調査”では前年比1,300億円減の約1兆2,200億円と推定しています。また、建設投資見直しについては、建設経済研究所が本年1月公表したところでは、平成29年度が前年度比1.8%増の53兆4,000億円、平成30年度は前年度比△0.0%減の53兆3,900億円となっています。何れも50兆円台の建設投資を見込んでおり、また、平成29年度補正予算もあり、短期的には経営環境は好転しているものと考えられますが、一方、これらの特需後を見据えた、中長期の経営戦略や経営計画に留意することが求められるところです。

また、災害につきまちは、巨大地震・津波や気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害から、国民の生命と財産を守るための防災・減災対策等が差し迫った課題となっています。このような状況の中、建設機械レンタル業は、災害時の復旧・復興には、その保有する建設機械器具や備品類が欠かせない状況となっていることから、社会的責務として、国や地域自治体との連携を確保しつつ、これら復旧・復興活動に積極的に協力をまいります。

平成という時代も30年を迎えましたが、その多くが昭和40年代の高度成長期に誕生し、若い産業と言われてきた建設機械レンタル業も半世紀を経過し、現在、ユーザーである建設企業の使用する建設機械の6割以上を担うに至っています。この結果、建設産業における役割も重要性が増しており、さらに、市場の成熟化等もあり、本業界は大きな変革期を迎えていると考えます。

このような認識の下、(1) 建設機械レンタル業界の社会的地位の向上とレベルアップ及びユーザーの便宜を図ることを目的とした、協会独自かつ任意の業者登録制度の創設、並びに本登録制度に併せた、レンタル拠点の営業所長を対象とする新たな資格制度の実施、(2) 国土交通省が拡大推進する、建設生産プロセス全てを対象にICT等を活用する「i-Construction」(建設現場の生産性向上)への着実な対応、(3) 少子高齢化の進展に伴う若年層の人材不足等を踏まえ、魅力ある建設機械レンタル業を目指した労働条件の改善を始めとする働き方の見直し等の課題に積極的に取り組み、推進していくことにより、業界の健全な発展と社会的地位並びに認知度の向上を目指してまいります。

以上を踏まえ、今年度は下記の事業を重点として推進いたします。

## \*重点項目

- 業界の社会的信頼の確保と質的向上及びユーザーの便宜を図ることを目的として、本協会が創設する、自主的かつ任意の「業者登録制度」、並びに本登録制度に併せた、建設機械レンタル業に必要な知識と管理能力を備えた人材確保を目指す、旧管理技士制度を土台にした「新資格制度」(民間資格：建設機械レンタル管理士)について、新資格制度は、平成30年度下期を目途に導入を図ることとし、他方、同資格者の設置等を登録要件とする業者登録制度については、実施の詳細検討と態勢整備を継続的に進めるものとする。なお、その実施時期は、同資格取得の浸透がある程度進んだ時点を目途とする。
- 国土交通省が2025年度までに建設現場の生産性の2割向上を目指し推進するi-Construction(全ての建設生産プロセスでICT等の新技術を活用)の取組の拡大に対して、その施工段階での普及促進を引き続き積極的に図るとともに、ICTに対応するための人材育成への取組、ICT施工機器の供給拡大に向けた普及促進策及び誘因政策の検討並びに建議を行う。
- 一般社会からの認知度向上や社会的地位の向上に向け、会員及び一般国民への情報公開・情報伝達のための広報活動を一層推進するとともに、地域に密着したボランティア活動や、地域社会におけるスポーツの振興を通じた青少年育成等の公益諸活動を積極的に展開し、地域との交流を図る。
- 人口減少や少子化・高齢化に伴う若年層の人材不足等を踏まえ、他業種と比較し長い所定労働時間や少ない休日等の労働環境の改善を始めとした働き方改革に積極的に取り組み、魅力ある建機レンタル業と業界の健全な発展を目指す。
- 災害時などの緊急時に国・地方公共団体等が実施する災害対策活動を支援するための災害協定の締結や防災訓練への参加等を推進することにより、地域の安全・安心を確保することにも貢献する。
- 全国組織の一般社団法人として求められる組織基盤整備の継続的取り組みと組織体系における内部統制の確立
- 行政庁・政府与党への要望・陳情及び国土交通省等の関係行政庁との連携・協力の推進

## 1. 事業活動

- 一般事業
  - 建設機械レンタル業の基礎データを得る統計資料の継続的収集と、これにより得られた統計データの外部発信及び蓄積・利活用
  - 人材の育成・確保及び良質・安全な建設機械器具

具を提供する観点から、職務に関する資格取得や知識の習得を含めた教育研修事業の充実・強化と、経営者・管理者向け研修への取組

- 会員共益事業の充実・強化
  - ◆会員企業社員の福利厚生充実(企業年金基金加入促進等)
  - ◆日本建機レンタル総合補償制度の安定的な運用と充実化
- 中古建設機械等の流通システムの構築・供用及びレンタル契約時の標準約款である「建設機械等レンタル基本約款」等の普及・啓発
- 「信頼されるレンタル業界を目指して」を踏まえた諸活動の実施
- 平成31年度国土交通省関係税制改正要望にあたり、税制調査会並びに税制関係議員への要望書の提出(建設機械施工団体共同陳情)
- 環境問題への対応
- 友好団体との協調・連携等
- その他
  - ◆国際交流の推進  
建設機械海外見本市への視察研修、GRA(グローバル・レンタル・アライアンス)との交流等  
『INTERMAT 2018』(フランス・パリ)視察研修, 2018.4.24-4.29

○協会運営を着実かつ円滑に遂行するため、次の会議を開催する予定である。

会議名	期日(予定)	開催地
第6回通常総会	平成30年5月24日(木)	東京
理事会	通常年2回開催予定	東京
常任理事会	通常年2回開催予定 [必要に応じ、支部長会議との合同会議を開催]	東京
会長・副会長会議	通常月1回開催予定	東京、WEB会議
各種委員会 (詳細については、2.各種委員会活動等に関する事項を参照)	必要に応じて適宜開催予定	東京、WEB会議

## 2. 各種委員会活動等に関する事項

平成29年度においては、流通委員会、教育研修委員会、総務委員会、広報企画委員会及びi-Construction委員会の5委員会に加え、本協会の喫緊の課題である「業者登録制度」及び「新資格制度」の創設に向けた検討等を行う登録制度特別委員会が加わり、6委員会体制となっているが、平成30年度についても、引き続き現体制で活動を行っていくこととしている。

なお、各委員会の所掌事務等は以下のとおりである。

### \*流通問題関係

#### (1) 流通委員会

- ◆建設機械レンタル業に関わる流通問題の検討、流通調査・研究
- ◆建設機械等レンタル基本約款及び基本管理料制度の普及促進等
- ◆建設機械レンタルの流通に関するアンケート調査の実施

#### \*教育事業関係

- (2) 教育研修委員会
  - ◆建設機械及びレンタルに関わる教育事業企画・運営
  - ◆可搬形発電機整備技術者養成講習会・試験の企画・運営
  - ◆建設機械整備技能士養成施策の検討・実施
  - ◆管理者教育講習会に関する方針・事業策定等

#### \*会員会費改定検討、建機レンタル総合賠償制度、協会規程等への対応関係

- (3) 総務委員会
  - ◆業界データの収集及び情報公開
  - ◆協会会員会費改定案の検討
  - ◆協会内組織の整備(本部・支部)
  - ◆建機レンタル総合賠償制度
  - ◆国際交流関係事項
  - ◆協会規程類の整備
  - ◆他の委員会に属さない事項等

#### \*広報、災害対応、新規事業企画、旧組織活性化推進委員会答申の具現化等への対応関係

- (4) 広報企画委員会
  - ◆協会としての情報発信システムの確立
  - ◆協会ホームページの管理・運用
  - ◆会員及び国民への情報公開・情報伝達のための広報活動の検討並びにその推進
  - ◆災害対策・災害支援活動
  - ◆新規事業企画・運営に関する検討
  - ◆災害対策・災害支援活動
  - ◆旧組織活性化推進委員会答申に基づく協会の今後の方向性・ビジョンの具現化等

#### \*i-Constructionへの対応関係

- (5) i-Construction委員会
  - ◆「i-Construction」(全ての建設生産プロセスでICT等の新技術を活用)についての普及促進・人材育成についての取組
  - ◆i-Construction施工機器の普及促進策の検討
  - ◆「i-Construction」に関する行政との連携・協力等

#### \*業者登録制度及び新資格制度への対応関係

- (6) 登録制度特別委員会
  - ◆レンタル業者登録制度の企画・運営・実施・監理等
  - ◆新資格制度の企画並びに講習・試験・登録の運営・実施監理等
  - ◆その他業者登録制度及び新資格制度の実施に関する事項

# Letters From The Branch

## 支部だより

### ◎ 北海道支部

北海道支部長 倉内 広昭

#### 札幌市と北海道支部及び札幌地区部会との災害協定締結について

札幌市と当北海道支部及び傘下の札幌地区部会は、平成30年12月10日「災害時における建設機械器具の支援に関する協定」を締結致しました。

#### 【災害協定締結式及び調印式】

日 時：平成30年12月10日（月） 午前11時から11時20分

場 所：札幌市役所 10階 市長会議室

出席者：札幌市 札幌市副市長 町田 隆敏 様  
危機管理対策室長 中塚 宏隆 様  
危機管理対策部長 中出 昭彦 様  
\* 司 会 計画・原子力災害担当課長 松坂 彰 様

北海道支部	支部長	倉内 広昭
	副支部長	富山 政紀
	副支部長	三浦 秀昭
	事務局長	高橋 和夫
札幌地区部会	地区部会長	片岡 一郎

#### 【協定の概要】

##### (1) 協定の趣旨

本協定は、災害発生時において、三者が相互に連携し、円滑な災害応急対策を実施することを目的として、発電機や照明器具、または暖房器具など、建設機械器具の優先的な支援について必要な事項を定めることを趣旨として締結するものであります。

協定の発動に当たっては、札幌地区部会の保有する建設機械器具を供給いたしますが、供給が困難な場合は、当北海道支部を通じて、他の地区部会に応援要請することが特徴の一つです。

##### (2) 供給する建設機械器具の種類

- ・ 発電機
- ・ 照明器具
- ・ 暖房器具
- ・ その他災害応急対策に必要な器具

#### 【災害協定の経緯】

平成30年9月6日未明、最大震度7を観測した北海道胆振東部地震により、多数の方が被災された他、北海道電力苫東厚真火力発電設備に被害を生じ、その復旧作業が長引き、北海道は未だかつて経験のしたことのない大規模長時間停電（ブラックアウト）に遭遇しました。

その結果、道民及び道内企業は重大な影響を余儀なくされた他、産業界にも甚大な損害をもたらすことになりました。

非常用電源設備を保有する企業においては、何とか対応ができたものの、電気復旧までには数日を要したこともあり、その間、行政機関は病院や避難所等に対する十分な対策や手当を行うことが困難な状況下となりました。

特に、小型発電機の数量が圧倒的に不足状況となり、これら機材の確保に対処することが急務となってきました。病院では、身障者・寝たきり老人・介護老人など

呼吸機器の使用が必要となり、これらは家庭用小型発電機及び電源リール等が必須となります。

その後、停電は順次解消に向かいましたが、節電の協力をお願いしている状況にあります。時折、余震もまだ続いており、被害の拡大も予想される他、これから道内は本格的な冬を迎えます。厳寒期は暖房機器の使用で電力需要が一層高まり、電力不足が生じることも懸念されます。

札幌市内でも、初めて震度6弱の地震を観測し、市内全域で大規模な停電が発生したことから、避難所等において、テレビなど情報機器の使用や充電ができないなど、避難者等への情報提供をはじめとした情報伝達体制に課題が生じ、改善に向けた取組を進めており、停電対策として発電機はもとより、照明対策、厳寒期における暖房対策の強化についても優先的に調達できる体制の構築が非常に重要となっております。

自然災害は不可壁であるため、今後不測の事態に対処するためにも、危機管理対策には万全を期することが喫緊の課題となってきました。

かかる観点から、札幌市においては当北海道支部の協力を得て、双方協議を重ねた結果、協定書の締結・調印式を行うことに至りました。

### 【災害協定締結式】

締結式の席上、札幌市副市長 町田隆敏様より、「今回の協定により、貴協会が保有している発電機等の建設機械器具を優先的に供給して頂けることは、札幌市の防災対策に大きく寄与するものであります。また、平常時から防災訓練等の機会を通じて、顔の見える関係を構築するとともに、災害時には、迅速・的確な支援が頂けるよう、更なる連携の強化を期待しておりこの協定を機に、より一層災害に強い札幌の街づくりに推進して行きたい。」とのお挨拶がありました。

当北海道支部では、この協定に基づき情報の交換や災害訓練を通して、より良い支援体制を構築し、自治体・行政機関並びに会員企業との連携を図るとともに、応

急対策・応急復旧の活動に大きく貢献し、社会的責任や災害支援団体としての活動に邁進して参ります。



「災害時における建設機械器具の支援に関する協定」締結式  
(協定書を交わした 左から町田副市長、倉内支部長、片岡札幌地区部会長)

一般社団法人  
日本建設機械レンタル協会 北海道支部



## ◎ 青森支部

青森支部長 気田 福俊

当協会・青森支部（気田福俊支部長）は9月10日、青森県西目屋村との間で「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を結びました。

同日、西目屋村役場で実施された締結式では、当協会・青森支部の長谷川哲哉専務理事と関和典西目屋村村長が協定書を交わし、同協定を締結しました。協定では、災害が発生し被災した際にダンプカーやブルドーザー、各種発電機、仮設トイレ、電動工具、電化製品など、復旧に必要な資機材の要請に対し、青森支部が優先的に西目屋村へ資機材を提供するものとなっています。

なお、提供する資機材は、西目屋村近隣の弘前市、平川市などの青森支部会員からの協力を得て提供されます。



「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」締結式の模様



協定書を交わした、長谷川専務理事㊦と関村長㊦



西目屋村役場の皆さんと

平成30年10月1日午後2時から、青森県十和田市の十和田消防庁舎において、「消防活動への協力団体・企業との協定締結式」が行われ、当協会青森支部・気田福俊支部長が出席いたしました。

協定式では、複雑化、多様化及び大規模化する火災や各種事故現場等での消防活動において、早期の人命救助や事態の収束、円滑な活動を行うための消防活動体制の充実強化を図るべく、当協会青森支部と十和田地域広域事務組合との『消防活動の協力に関する協定（重機等）』が締結されました。

同協定は、人命救助や火災現場等において、障害物の除去や建物の破壊が必要となった際に、重機等の活動を要請し早期に人命救助や被害の軽減を図ることを目的としたものです。

協定締結の背景としては、これまでに青森県十和田地域において発生した、「交通事故現場における人命救助のためのクレーン車の要請」や「火災現場の消火活動における重機を用いた消火活動」等の事例を踏まえるとともに、新潟県糸魚川市の大規模火災（平成28年）や埼玉県三芳町で発生した大規模な倉庫火災（平成29年）等を機に、総務省消防庁から、消防活動に必要な民間事業者等との協定の締結によって災害対応力の強化を図るよう通知があったことを受けて結ばれたものです。



協定書を受け取る、青森支部・気田支部長㊦



協定締結式の模様



## ◎ 群馬支部

群馬支部長 中川 秀敏

平成30年度の群馬支部の活動は、前年と同様に国土交通省関東地方整備局との災害協定に合わせて、月1度の定例打合せを行っており、本年度は維持工事業社様との懇親も出来ました。

突発的な災害に即対応出来る様に、今後もより密なる定例会をおこなっていきたいと考えております。

賀詞交歓会には、高崎河川国道事務所様による災害をテーマにした講演も依頼しております。

群馬支部のICT委員会も情報化施工普及のため、いくつかの行事をおこないました。

1. 株式会社シーティーエス様による「簡単にわかるGNSS」とう題目でわかりやすく説明会をおこない、施工現場での電波障害等もわかりやすく説明して頂きました。
2. 日本キャタピラー合同会社のICT建機会場視察
3. トップコン i-Construction カンファレンス2018の参加
4. 東京支部主催の国土交通省意見交換会参加
5. トップコン関東トレーニングセンター訪問
6. 賀詞交換会に関東地方整備局様によるICT講演依頼

正会員スキルアップ研修のために今回は新明和工業様(株)に工場見学をさせて頂きました。

登録制度、資格制度についてはレンタル会社の差別化を図る為、または社員教育の一環として役立つ事を、定期的に説明会をおこなっております。



## ◎ 栃木支部

栃木支部長 北條 光一

栃木支部は、昨年の6月に創立30周年を迎えました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、30年の歴史の中でご尽力いただきました諸先輩方、ご関係者の皆様のおかげです。心より感謝を申し上げます。

平成30年12月現在、正会員27社、賛助会員27社の合計54社で運営しております。主な年間事としては、定期総会、管理者教育講習会、営業スタッフ座談会、優良事業場視察、賀詞交歓会、理事会（年4回）、親睦ゴルフ交流会等を計画・実施しております。

今年で、12回目になる「営業スタッフ座談会」ですが各会員様の営業スタッフの交流と、勉強をかね、毎年開催しております。平素はライバル関係でもある営業マンが膝を付け合わせて談義することで、互いの商売のやり方や悩みを分かち合うことができるのと同時に、地場レンタル、広域レンタルの垣根を越え、さらにメーカーも含めて同じテーマを話し合うことで、当初の目的でもある、業界の発展と地位の向上のための有意義な時間を共有することができております。近年では、サービススタッフや女性の参加者も募り、営業サイドからだけではない、いろいろな角度からの意見を聞き、まとめ、それぞれが各事業所に持ち帰り、働きやすい職場環境づくりに役立つかを実践してもらい、さらにそれをフィードバックする場を設けて、改善点などを意見交換しております。

また、今年で4回目となる「優良事業場視察」ですが、賛助会員様に協力頂き、事業所や工場見学をメインとした交流会を開催しております。今回は11月に、日立建機様の土浦工場を見学させていただきました。現在、私共が最も興味のあるところであるICT建機のこと、取り組んでいる最先端技術を、VRスクリーンや、操作レバー付きのモニターで体験することができました。また、実際にバックホウの製造工程の一部を見させてもらい、生産性の向上や高いレベルでの品質管理を行っていることを目の当たりにして、普段、商品として取り扱っているものをさらに安心して貸し出すことができる良い機会となりました。

働き方改革が叫ばれている昨今、栃木支部では、今後もこのような事業活動を通して、若者が働きやすい、より良い業界になるよう努力してまいります。



優良事業場視察・研修実施 平成29年10月24日(火)  
訪問企業 新日本建販(株) 関東建機センター

東京支部創立50周年を迎えて

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催までもう1年半です。

首都圏では、新国立競技場を始め、東京駅前など都心再開発、ホテルの新築・増改築、山手線新駅（高輪ゲートウェイ駅）をはじめとする交通のインフラ整備工事など最盛期を迎えており、社会基盤整備にもまだ当分の間は活況が続くと思われます。

当支部は、東京、千葉、埼玉、茨城、（山梨）に本社・事業所が所在するレンタル会社を正会員とした179社と、建機レンタル業を支援する賛助会員61社の合計240社で組織されています。

おかげさまで、当支部は昨年創立50周年を迎え、記念祝賀会が平成30年5月18日（金）午後5時30分より、ホテルニューオータニ芙蓉の間において約400名（歴代会長・全国各支部長・正会員、賛助会員、建設会社、来賓、報道）のご参加をいただき会場を埋め尽くす皆様の熱気の中盛大に開催することができました。

また、祝賀会の開催に際し各支部長様はじめ関係各位には、ご出席、ご祝電、お祝い花などを賜り厚く御礼申し上げます。

冒頭、50年を振り返り「協会の歩み」の 슬라이드가上映し、歴代会長紹介、50年の歴史、支部活動状況が写真で紹介いたしました。

角口会長、関東地方整備局中山管理官のご挨拶を頂いた後、50周年祝賀会実行委員会の藤本委員長の挨拶とともに、歴代会長にもご登壇いただき、代表して小俣前会長にもご挨拶を頂きました。

新たに作成した支部旗のもと次の50年のスタートを切りました。

ジャズの音楽を楽しみながら50年を振り返り、新たな50年へと思いを馳せる楽しい宴となり、盛会裏に終えることができましたこと、かさねて御礼申し上げます。

今年度から、新たな歴史の扉が開かれました。今後も会員の皆様とともに、「団結・信頼・挑戦」の旗印のもと新たな歴史を作ってまいります。

また、併せて委員会を立ち上げ作成し、昨年11月にお手元にお届けいたしました、東京支部創立50周年記念誌「わたしたちの歩み」を発刊いたしました。

1部紹介させていただきますと、諸先輩方から引き継ぎ、わたしたちが足跡として残した様々な取組みとその時代背景を対比させ、分かりやすく年表形式でまとめました。また、各賛助会員、新聞社、旧役員の皆様も貴重な資料、写真等の提供をいただき、建設機械の歴史もまとめました。

充分ではありませんが、これを機にこの50年の業界・協会・社会の動きに思いを馳せて頂ければ、わたし達編集に携わったものとして望外の喜びです。

当支部は今後も『全国最大の支部』の自覚を持ち、関東ブロックはもちろん、全国21支部の皆様と情報交換がなされ『より良い協会、魅力ある協会』となるべく率先して活動していきたいと考えております。

そのためにも、協会本部のなお一層の支援をお願いするとともに、会員各位のますますのご隆盛と建設機械レンタル協会のご発展をご祈念申し上げます。



祝賀式典 ステージ



懇親会場の様子



歴代会長挨拶  
左小俣前会長 右藤本委員長



小松崎支部長 挨拶



わたし達の歩み  
スライド上映



協会シンボル  
スズカケノキ

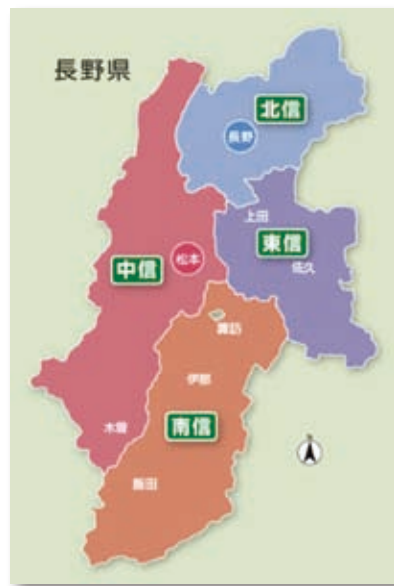


50周年誌製作特別委員会

## ◎ 長野支部

長野支部長 花岡 昇

30年度長野支部は、永年長野支部長としてご尽力頂きました株式会社原鉄社長、原茂氏から、不肖花岡がタスキを引き継ぐことになりました。前原支部長の知力、行動力、責任感と比べ浅学菲才の身の私としては甚だ荷が重く身が引き締まる思いではありますが任期終了時まで間違いなく手堅く役割を遂行していく所存であります。



ここで本来の会報の趣旨とは少々意を反するところかと思いますが、長野県の土地柄について簡単に紹介したいと思います。長野県はほぼ日本の中心に位置し、南北に長い県内を北信、東信、中信、南信の4つのブロックに商圈が分かれ北信、東信が長野ナンバー、中信、南信を松本ナンバー、諏訪ナンバーで構成されています。北信の長野市に国宝善光寺、東信には避暑地の軽井沢を有し、北陸新幹線が縦断していることもあり、東京へのアクセスは90分程度と、“信州信濃の善光寺”から受ける“田舎”的な語感とは裏腹に、非常に利便の良い所です。一方、中信、南信に目を向ければ、中信には長野オリンピック、スキージャンプ

会場の白馬村、県の中心地に国宝松本城の城下町松本市、南信には、諏訪湖、日本三大桜の名所の高遠城址公園（伊那市）、現在国家プロジェクト級であるリニアモーターカーが通過する南信州地域、飯田市があります。南北に長く移動距離が多いためメーカーの営業マン鳴かせの県でもあります。南信で鶯が鳴く時期に、北信では雪が舞うなど季節の差があることからレンタル商品構成も南北では多少違うようです。そのような広大な長野県にて正会員22社 賛助会員28社合計50社で長野支部を運営しております。

主な年間行事は5月の定例総会・ゴルフ親睦会、2月賀詞交歓会・研修会、そのほか年4回の役員会です。また長野支部として災害時応援協定の締結を各市町村と進めています。今年新たに8月に飯山市と11月に駒ヶ根市と締結させて頂きました。

現在すでに協定済みの締結先は以下の通りです。

国土交通省中部地方整備局（三峰川総合開発工事事務所・天竜川上流河川事務所・天竜川ダム総合管理事務所）長野県危機管理部・長野市・松本市・上田市・岡谷市・

飯田市・諏訪市・伊那市・茅野市・佐久市・塩尻市・中野市・小諸市・箕輪町・下諏訪町・富士見町・松川町・原村

その他の活動として長野県総合防災訓練に参加させていただいております。



8月7日飯山市と災害協定（写真提供：飯山市）



11月19日駒ヶ根市と災害協定（写真提供：駒ヶ根市）



5月17日総会（写真提供：新建新聞社）

## ◎ 静岡支部

静岡支部長 田島 潤一

静岡支部は、昭和47年に設立し現在、正会員26社、賛助会員20社が加入しており、総務委員会、流通委員会、技術教育委員会の3つの委員会を中心に活動しています。

流通委員会の活動では、年2回、静岡県下東部・中部・西部地区別に分科会を開催しています。地区ごとに正会員が集まり、昼食を交えながらレンタル市場の動向や、安全管理、コンプライアンスに係わる情報等について、活発に意見交換しています。

技術教育委員会の活動では、営業職や整備職を対象とした研修を開催しています。本年度は、建設機械整備技能士の資格取得を目的として研修を行いました。1級実技研修は9名、2級学科研修は28名の受講者が参加しました。

総務委員会の活動では、本年度は、静岡県畜産振興課、同危機管理部総務艦、静岡市、小山町、伊豆市、焼津市、磐田市、長泉町、藤枝市、中遠広域事務組合、静岡建設業協会および清水建設業協会、(一社) 静岡県解体工事業協会、静岡県石油商業組合との災害協定について、より具体的な行動手順に関する協議を進めてきました。

また、昨年度初参加となった中部道路啓開検討委員会主催の道路啓開訓練に11月5日に引き続き参加し、課題であった災害発生時の業団体間連携手順を実演訓練内で実施いたしました。その他に、9月2日、静岡県・静岡市共催の静岡県静岡市合同防災訓練である道路啓開訓練に参加、10月10日、静岡県畜産振興課主催の鳥インフルエンザ防疫演習にオブザーバーとして参加、同月内に静岡県下東部・中部・西部地区別にて、家畜保健衛生事務所主催の資機材取扱い研修会にレンタル機材の協賛、取扱い説明員の派遣として参加いたしました。



委員会活動以外にも、10月21日には静岡県建設産業団体連合会主催の「まちづくり2018ふれあいイベント」、11月10日には静岡市および静岡県建設産業団体連合会の主催による「しずおか建設まつり」に昨年に引き続き参加いたしました。これらのイベントは、建設業界活性化をメインテーマとして、はたらくクルマに興味のあるお子様とご両親、建設業を目指す若者・女性の参加を目的として取り組まれております。

「しずおか建設まつり」では、高所作業車・タイヤローラー・掘削機・フォークリフト等出展し、正会員、賛助会員総勢60名が参加しイベントを盛り上げました。

今年は天気にも恵まれ、静岡支部ブースには昨年の2.5倍である、約2,400名のご家族連れが来場されました。建設機械に乗って写真撮影をしたり、乗車体験をしたりすることで皆様には大変喜んでいただき、建設業界を身近に感じていただけたかと思えます。

特に、協会員より出展した油圧ショベルによるホットケーキの調理や、毛筆書き、当協会ブースでの高所作業車の乗車体験に於いては非常に好評で、本年も大盛況のうちに幕を閉じました。



静岡支部といたしましては、今後も、各官庁、各地方公共団体や企業と協力し、当協会のアピールや、レンタル業、建設業の支援事業に協力していきたいと考えております。

最後に、協会員の皆様におかれましては、日頃より多大なご協力を賜り、本誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

## ◎ 関西支部

関西支部長 北野 一雄

関西支部は平成29年4月に（和歌山、滋賀、京都、兵庫、大阪）2府3県の支部を統合の上新発足を致しました。今年4月より第2期目を迎えます。会員の皆さま、理事・協会各位のご支援ご協力の賜ものと感謝と御礼を申し上げます。

会員数並びに地域の広さの問題もあり、会員ファーストの主旨から会員交流の地域行事については各地域の協議会に委ね事業活動を実施運営しております。

関西支部の組織は各協議会（5協議会）より代表理事（1名）支部長（1名）副支部長（6名）理事（16名）部会として①流通部会②教育部会③広報部会④I.C.T部会⑤総務部会、5部会を創立して部会長副部会長を理事より選任……事業の企画立案 実施しております。

一期目の関西支部の事業活動は下記の通りです。

- 1) 平成29年4月20日 関西支部発会式  
（於：リーガロイヤルホテル 277名参加）
- 2) 平成29年7月と9月 I.C.T 講習会開催  
（於：コマツICT センタ近畿 7月（68名）・9月（97名）参加）
- 3) 平成29年11月 I.C.T 推進についての講演会  
国土交通省（近畿地方整備局）の講演会並びにメーカー（5社による）プレゼンテーション（於：ホテルモントレグラスミア大阪 128名参加）
- 4) 平成30年1月22日 新年賀詞交歓会開催  
（於：リーガロイヤルホテル 249名参加）
- 5) 平成30年5月 第1回目の総会  
（於：ホテルモントレグラスミア大阪 228名参加）
- 6) 平成30年6月27日～29日 可発講習会  
（近畿地区全域より（新規50名）、更新（114名）参加）
- 7) 平成30年8月 広域企業メーカー企業によるI.C.Tの対応及び諸問題の合同協議会（11社27名参加）
- 8) 平成30年9月 各協議会（5協議会）事務局長会議を本部北條局長来阪頂き開催（会計報告及び登録制度等について）
- 9) 平成30年11月 第2回国交省（近畿地方整備局）I.C.T 推進状況の講演とメーカー（5社による）プレゼンテーション  
（於：ホテルモントレグラスミア大阪 139名参加）

- 10) その他 各5協議会の事業活動は、理事及び会員による研修旅行、会社訪問研修、各種講演会や講習会、広域企業協議会（部会）、ゴルフコンペ、会員交流グルメパーティ、等々を開催

今年度は各協議会の行事より支部にシフト移行の出来る行事を検討して実施して参ります。又、会員各位の要望や提案を頂き全国各支部からの情報も参考にさせて頂き、会員に有益で効果のある事業活動を企画 立案 実施して参ります。

皆さまの情報ご指導をお願い致します。



藤谷教育部会長 司会



北野支部長 あいさつ



国交省近畿地方整備局 達家管理官 講演



11/27 国交省講演会 受講風景

## 2018年7月豪雨災害について

7月6日に発生した、中国・四国地区の豪雨災害時については、各地の皆様より、多くのご心配やご支援をいただき、誠にありがとうございました。

年末も近くなり、緊急復旧に伴う対応はかなり終息して参りましたが、これから本格復旧に向けた動きが出てくるようです。

さて、その災害発生時の中国支部の状況がどのようなものであったのかについて、簡単にではありますがここでご報告させていただきます。

7/6（金）の発災後、中国支部各会員は地元工事業者を中心に対応を行っていましたが、協会本部から国土交通省への災害対応協力の申し入れに対して、7/13（金）に国土交通省からの支援要請があり、小型油圧ショベル派遣の決定とそれに伴うプレスリリース、および第1陣の緊急派遣がなされました。この第1陣につきましては、週末の遅い時間であったこともあり、角口会長を中心に派遣機の手配にご尽力をいただきました。

翌週7/18（水）に第2陣の派遣要請があり、そこで中国支部は現地の要望を踏まえたグラップル付きの油圧ショベル7台を含む計9台を派遣手配させていただきました。

要請当初、発災現地との連絡ルートは、発災自治体（当事者）→国土交通省中国地方整備局→国土交通省本省→当協会本部→中国支部という複雑な経路となっており、派遣機の納車場所・受け取り側責任者・受け取り時間等々の連絡・確認について、情報の錯綜する中、多大な時間がかかりました。

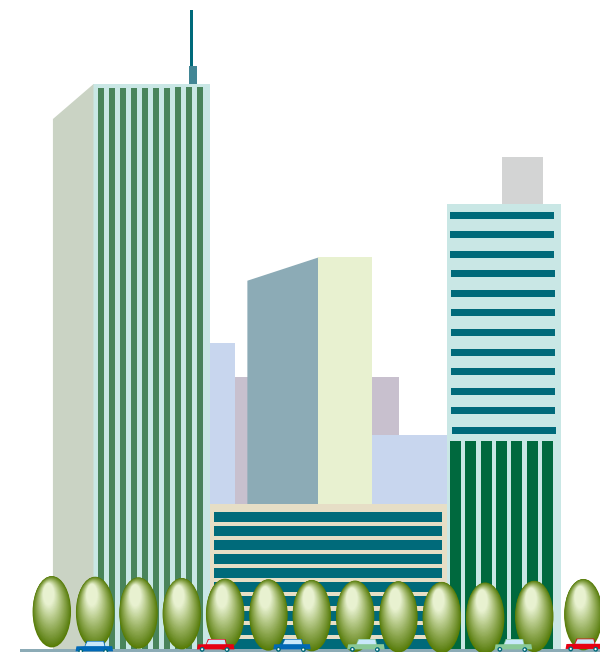
この時、当中国支部に対して一番綿密に対応いただき、情報の交通整理を頂いたのが中国地方整備局の方々に、最終的に地方整備局とのやり取りで進むようになっ

てからは、徐々にスムーズな対応となってゆきました（7/26の第3陣の派遣対応についても同様）。

今まで中国支部と中国地方整備局との交流については、あまり活発ではなかったのですが、今回、当協会本部の機動的かつ積極的な活動をしていただいたおかげで、結果として中国地方整備局と交信をさせていただく機会を数多く経験させていただきました。

後日、改めて中国地方整備局にお邪魔し、当時の状況を振り返りながら反省点・改善点についての意見交換をさせていただく機会を得ましたが、先方も今後中国支部との地元同士での接点を増やしてゆく重要性に気付かれたことを、仰られておりました。

今後は緊急災害時の対応に向けて、中国支部としてより良い貢献ができるよう、今回のこの貴重な体験を活かしてゆきたいと思います。



## ◎ 四国支部

四国支部長 仲田 優晴  
事務局長 美馬 博

四国支部では、徳島県と大規模災害時における資機材の供給協定を締結しています。この他にも徳島県・徳島県石井町・松山市との間で資器材の供給協定を締結しています。

協定による初めての資器材供給がなされた事例であり、皆様方の大規模災害等による資機材供給活動の参考になれば幸いです。

### 1. 協定締結後初めての対応

平成30年1月10日に香川県で鳥インフルエンザが発生。徳島県県境に近いこともあり、香川県と徳島県の県境5ヶ所に消毒ポイントが設置され、24時間体制で終息するまでの間、資機材を供給することとなりました。徳島県農林水産部と平成24年1月23日に締結した「家畜伝染病発生時における支援活動業務に関する協定」に基づく資機材の供給要請です。

協会が供給する資器材は次の通りです。

- ①高圧洗浄機 ②動力噴霧器 ③照明器具 ④発電機 ⑤簡易トイレ
- ⑥その他防疫活動に必要な物品、車両等の資機材

また、上記の資機材をスムーズに供給するための連絡体制を構築していました。

### 2. 高病原性鳥インフルエンザ（香川）の発生についての対応

1月11日（木）の午後8時頃に、徳島県担当課より事務局に電話があり、鳥インフルエンザの5か所の消毒ポイントに翌朝までに設置するようにとの内容でした。第一弾での要請資機材は仮設トイレとエンジンナイターでしたが、追加でユニットハウスと丸ストーブ・パイプ椅子の納入要請があるなど、慌ただしいものでした。時間も遅く、緊急を要することもあり、地元のK社で対応することとしました。

その後、1月29日（火）徳島県よりメールにて撤去の指示があり、翌30日（火）にはすべての資機材の撤去を完了しました。貸出中の期間にあって、操作指導等に何度も出かけるなど想定外の対応もありました。



設置状況

### 3. 農林水産部の関係者と意見交換会を実施

平成30年4月19日（月）に徳島県農林水産部の関係者の意見交換会に、四国支部事務局長も参加をしました。

問題点として、1）時間的余裕が無いため、予め県側・協会側の連絡体制の充実をする 2）未経験者が使用することを想定し、取扱説明書（分かりやすい）の備え付けをする 3）インフルエンザ発生時期は冬季と考え、洗浄機・噴霧器の凍結防止対策を徹底する 4）県境に資機材を設置することを勧告し、降雪対策のタイヤチェーン等の準備が必要である 5）24時間体制に伴う休憩所・仮設トイレの充実などが出されました。

これとは別に、四国支部としての今後の対応について平成30年2月21日に役員会を開催し、次の2点の確認を行いました。

- 1）徳島部会会員間（5社）での情報共有を行う。
- 2）今後が発生した場合は、予め決めた徳島部会の5社により年度持ち回り制で対応する。

### 4. 終わりに

家畜伝染病は国内のどの地域でも発生する可能性がある中で、各自治体からの支援要請に対して速やかに対応できるよう会員間の連携を密にしなければならぬと感じました。

各支部において締結している資器材供給協定は、多くは大規模災害時での協定であろうと思います。果たして、大規模災害時にあって、どのような対応ができるのか、活動マニュアルといったものを作成しておく必要があるとも考えますし、提携先が行う図上訓練に積極的に参加することも重要であると強く感じた体験となりました。下記の写真は、徳島県が毎年県内各地で実施している防疫訓練で、平成30年度移動式焼却炉実証試験の様態です。





## ◎ 九州支部

九州支部長 峰平 国生

九州支部は今年度より新しい執行部の体制となり、3名の副支部長と新たに再構築した4つの委員会により、支部全体の事業を分担して行っていく体制になりました。いくつかの活動についてご報告いたします。

### 働き方改革促進ポスター

総務委員会では現在政府で進めております「働き方改革」の中の一つである長時間労働の是正に対して協会として取り組めることがないか検討を重ねた結果、働き方改革促進のポスターを作成いたしました。

総務委員会の加治委員長が中心になり、アイデアから図案のとりまとめまで行い、役員会でも賛同を得て各会員へ送付することになりました。

このポスターは、お客様に決まった時間までにきちんと返却していただくことで、

我々にとっても、またお客様にとっても時短勤務のメリットをお互いに享受していくことを協会としてお願いするもので、とにかく早く返してという一方的なものではありません。

協会として「働き方改革」を推し進める団体であり、その会員企業であることのPRとして、是非とも目に見えるところに貼っていただき、お客様と社員の皆様への意識付けに使っていただきたいと考えました。

10月初旬に各会員へ営業所枚数分送付しました。(送付枚数 480枚)



### 大手広域懇談会

流通委員会が企画担当することになった大手広域懇談会は建機レンタル業界でも注目度が高く、賛否を含め多様な声が飛び交う i-Construction について、九州におけるその現状と課題をテーマとして開催しました。

10月12日(金)福岡ハイアットリージェンシーにて、九州各地からの38名の参加者で行いました。国土交通省九州地方整備局 企画部 施工企画課 建設専門官の宮原満弘様をお招きし、公務的な立場から「i-Construction～建設現場の生産性革命～」というタイトルで現状と課題をご報告頂きました。その後6つのグループに分かれて、各社の現状や今後の予想、要望などを出し合い、最後に簡単にグループで出た意見を発表してもらい参加者全員で共有しました。i-Constructionについては、力を入れてやっているのは大手広域レンタル業者が中心で、中堅以下のレンタル業者では少しやっているとか、今後はやってみたいというところがほとんどでしたが、一緒にディスカッションすることで、i-Construction への理解がより深くなり、今後の取り組みの参考になったのではないかと思います。

後日、グループ討議をまとめた結果を持って九州地方整備局へ伺い、内容について意見交換を行い、今後ともお互いに情報共有しながら進めていこうと話しています。



## 管理者講習会

教育研修委員会では、通常の管理者講習に加え、10月から始まる建設機械レンタル管理士の説明も行う二部制の経営者、経営幹部向けの内容として企画しました。

平成30年9月26日（水）に福岡市のリファレンス大博多ビル貸会議室におきまして、46社 57名の主として経営者、経営幹部の会員の皆様にご参加いただきました。

第一部では「社長が変わる、社員が変わる」～リーダーの自己変革法～というテーマで、(株)プレスタイム九州 代表取締役 米澤金作様に約2時間講演していただきました。リーダーとしてのものの見方、役割について事例を挙げて説明いただき、この激変時代にどうやって社内変革を行っていくのか、そのヒントをいただくとともに、自分を知り、自分を変えていくことについても教えていただきました。

第二部では「新資格制度・登録制度説明」を、(株)キナン 取締役営業本部長の杉本篤史様よりお話しいただきました。杉本講師からは、会員の方が疑問に思っているだろうという点についてピンポイントで深く説明をいただきました。会員の方の関心も高く、杉本講師に対して多くの質問があり、それらに丁寧にご回答いただき、また今後の検討課題としても持ち帰っていただきました。

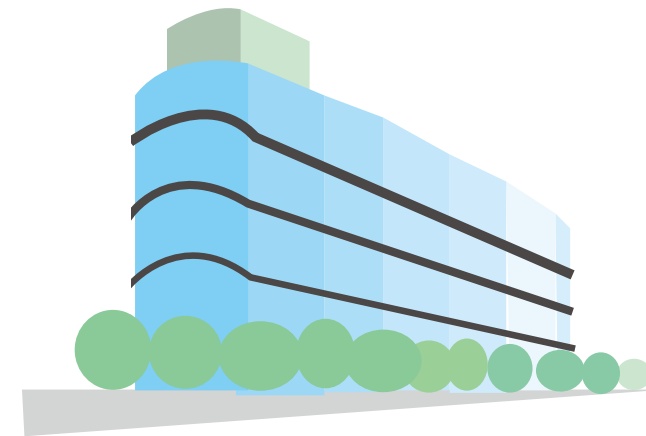


## 懇親ゴルフ

総会、賀詞交歓会や役員会の翌日には懇親ゴルフを実施しています。



- 総会、賀詞交歓会 各1回/年
- 役員会、運営委員会 各5回/年
- その他委員会会議適宜開催。



# 振動応用技術で世界をひらく

## VIBRATION SPECIALIST

### バッテリートラック

排気ガスを出さないバッテリー駆動で最大斜度40°の傾斜や階段を昇ります。積載重量は平地で最大1,000kg、斜面や階段で最大500kgまで運搬可能です。また、超信地旋回方式を採用し、階段の踊り場など狭い範囲でも旋回できるので地下鉄工事やビル改修工事での建設資材運搬に最適です。



#### ■バッテリートラック仕様

	TT-47	TT-66	TT-66HS (HAC-1E)
トラック部寸法 (長×幅×高 mm)	1,207×762×364	1,651×762×349	
重量	352 kg	443 kg	477 kg
バッテリー	24 V (12 V x 2 個)		
ブレーキ機能	無	有	
積載重量	平地 1,000 kg		
斜斜面 / 階段	500 kg		
最大登坂斜度	40° (傾斜面 / 階段)		
移動速度	最高速 13.4 m/min	50 m/min	
低速	6.7 m/min		
コントローラー	有線 / 無線		
電池残量表示	有		
アワーメーター	有		
作業表示ランプ	オプション (サービスサポート付)		
作動中ブザー	有		
角度センサー	無	有	

※最大登坂斜度以内の階段でも使用できない場合があります。

### コードレス高周波バイブレータ ECV シリーズ

従来型のコンクリートバイブレータはバイブレータを操作する人とは別にスイッチのON/OFF やコードの取り回しをする補助作業員が必要でした。しかし、バッテリーとインバータを一体化したコードレス高周波バイブレータを使用すればバイブレータを操作する人員一人で作業が完了します。また、電源確保や長いケーブルが無くなり、コンクリート打設作業前の段取りや作業終了後の片付けにかかる労力も削減できます。

#### ■バイブレータ部仕様

型式	ホース長 (M)	振動数 (Hz)	振動部 (径×長 mm)	ホース (径×長 mm)	質量 (kg)
ECV40A	1.5	200	Φ43 X 273	Φ33 X 1,500	4.3
ECV50A	1.5				5.5
	3.0				6.6

#### ■インバータ部仕様

型式	ケース寸法 (mm)	質量 (kg)
ECV-I5	164 X 90 X 55	1.1

#### ■バッテリー部仕様

型式	容量 (Ah)	電圧 (V)	使用可能時間 (ECV40 / ECV50 使用時)	充電時間	外形寸法 (mm)	質量 (kg)
BL36200	21	36	3 時間 / 2 時間	3 時間	500 X 250 X 115	7.4

※使用可能時間はバッテリー容量と消費電流を基にした計算値であり、打設内容などにより変動します。



**EXEN** 振動応用技術で、世界をひらく  
**エクセン株式会社**  
<https://www.exen.co.jp/>  
 本社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-17-13  
 TEL 03-3434-8455 FAX 03-3434-1658

●札幌営業所 011-772-0861 ●大阪支店 06-6831-3008  
 ●仙台営業所 022-259-0531 ●広島営業所 082-278-6868  
 ●東京建機支店 03-3434-8451 ●九州支店 092-586-1200  
 ●名古屋営業所 052-703-9977

新登場

# Cat® 320 油圧ショベル Next Generation



いま、  
あなたの手で  
現場に革命を。

写真は海外仕様機です。国内販売モデルと一部仕様が異なります。

## 先進テクノロジーを「標準」装備 革新的デザインが生んだ新世代マシン



※ KT-180054-A  
安全機能と  
低燃費機構搭載型  
Cat 油圧ショベル

- ▶ 新技術により燃費25%低減を実現  
(前モデルシリーズ比)
- ▶ 快適な操作空間と安全性を確保した新型キャブ
- ▶ 安全と効率を追求したメンテナンス

### ▶ 標準装備の ICT で全ての現場にテクノロジーを

- ◆ アップグレードで i-Construction 対応可能  
2D マシンコントロール / マシンガイダンス  
ガイダンス機能で設計施工面通りに仕上げるようオペレータをナビゲートし、マシンコントロール機能でブームとバケットを半自動でコントロール。
- ◆ Cat ペイロード  
リアルタイムで積載物の重さを正確に計量。重量を確認しながらの作業が可能に。
- ◆ E-フェンス  
作業範囲を制限し安全を確保。



新型 Cat 320  
についての  
詳細は



[www.nipponcat.co.jp/lp/320/](http://www.nipponcat.co.jp/lp/320/)

日本キャタピラー 検索



価値ある信頼、  
想いはひとつ

## 日本キャタピラー合同会社

本社  
〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー  
TEL : 03-5334-5666

CATERPILLAR, CAT, Cat及びVICERTIはCaterpillar Inc.の登録商標です。

日本キャタピラー CAT



YANMAR

BEST PERFORMANCE BY YOUR SIDE



コンパクトに愛情を  
詰め込みました。  
COMPACT FRAME TECH



Vi020-6

圧倒的な機能で時代の最先端を牽引する2tミニショベル  
Vi020-6が誕生しました。最大の特長は機械質量  
1990kg・全幅1380mmのコンパクトなボディに、  
液晶モニター、オートデセル、エコモードなどのヤンマー  
独自の最先端テクノロジーと、多彩なオプションを装備。

※実際の販売商品は、販売エリア・時期により仕様が異なる場合がございます。

詳しくは  
こちら▼



WEB



MOVIE

ヤンマー建機株式会社 [ヤンマー建機お問合せ窓口] 〒833-0055 福岡県筑後市大字熊野1717-1 TEL:0570-064360

- 北日本営業部 (〒983-0025) 宮城県仙台市宮城野区福田町南1-1-10 TEL(022)259-7201
- 西日本営業部 (〒577-0066) 大阪府東大阪市高井田本通1-7-30 TEL(06)6783-1121
- 関東営業部 (〒331-0812) 埼玉県さいたま市北区宮原町3-321 杉ビル4F TEL(048)774-6313
- 九州営業部 (〒812-0857) 福岡県福岡市博多区西月隈1丁目5-8 TEL(092)441-0928
- 中部営業部 (〒497-0050) 愛知県海部郡蟹江町学戸2丁目33番地 TEL(0567)95-5355
- ヤンマー沖縄株式会社 (〒901-2223) 沖縄県宜野湾市大山7-11-12 TEL(098)898-3111

www.yanmar.com

**PACTEC** コンパクト・折り返し式収納 オイルパン  
ロール式・折り畳み式収納 オイルパン

**HERIMA SYSTEM** 建設現場向け特殊無線 ヘリマシステム  
「磁界」と「ICタグ」を用いて  
重機等接触事故の  
リスクを低減します

腰補助用  
マッスルスーツ®  
最大補助力  
約35kg\*を実現した  
ウェアラブル型ロボット  
\*標準モデルの場合

「腰」をアシスト  
しなやかな人工筋肉で

株式会社 トーケン  
**6輪仕様 新登場!**

780 mm  
1,130 mm

超軽量 (35kg) スチール製  
積載荷重 1,000kg

ユアサマクロス株式会社  
YUASA

防災備蓄倉庫

**Genie**  
Genie

Z<sup>®</sup>-60/37DC & Z<sup>®</sup>-60/37FE

ユアサ商事株式会社 建機本部  
YUASA

北海道建機PT	TEL (011)863-0160	中部建機部 北陸駐在	TEL (076)442-1196
東北建機部	TEL (022)236-0875	関西建機部	TEL (06)6266-4541
関東建機部	TEL (03)6369-1900	中国建機部	TEL (082)245-5622
関東建機部 新潟駐在	TEL (025)287-4721	九州建機部	TEL (092)474-6431
関東建機部 静岡駐在	TEL (054)255-3123	九州建機部 沖縄駐在	TEL (098)876-2192
中部建機部	TEL (052)779-8150		

欲しいモノ 何でもそろそろ  
成長ナビ Growing Navi  
日々の有子配乗を、もっと快適に。  
産まどくらの情報プラットフォーム

GROWING NAVI 検索 <https://www.growingnavi.com>

業界最大級商品検索サイト <https://www.growingnavi.com>

# R アールアンドアールの 工場見学会

R 株式会社 アールアンドアール

アールアンドアールの安心と安全、  
信頼の商品・技術力を体感いただける工場見学会です。  
ご参加を随時受け付けております。

株式会社アールアンドアールでは、小型の建設機械のレンタルやアールアンドアールの安心と安全の商品提供を実現させる検査体制に興味のある企業様を対象に、随時工場見学会を全国の営業所にて開催しています。



お客様のご希望に合わせて開催時間やご紹介内容を計画し、より魅力的な内容の見学会を実施させていただきます。  
工場見学会をご希望のお客様は、ホームページまたは最寄りの営業所までお気軽にお問い合わせください。  
エンドユーザー様同行の見学会も歓迎します。

レンタル業界のパートナー  
株式会社 **アールアンドアール**

本社 〒279-0012 千葉県浦安市入船 1-5-2 プライムタワー新浦安 16F TEL: 047-316-4688

- 札幌営業所
- 東北営業所
- 東北サテライト店
- 東京営業所
- 千葉サテライト店
- 埼玉営業所
- 神奈川営業所
- 多摩営業所
- 名古屋営業所
- 大阪営業所
- 水島サテライト店
- 福岡営業所
- サービスセンター
- 営業開発課

## 主なプログラム内容

- ・会社案内
- ・工場商品紹介
- ・商品実演体験
- ・I C タグ紹介
- ・検査機紹介及び体験
- ・意見交換会 など

■9t 油圧引張り試験機



■50t 揚重機械試験装置

ショートムービー公開中!

アールアンドアール

<http://www.r-rental.co.jp>

建設機械のことなら建機レンタルNavi

# 建機レンタルNavi

建機レンタルNaviは、全国の建設機械利用者様に対してレンタルの情報をインターネットを通じてお届けすることで、建機レンタル事業者様のビジネス拡大をお手伝いいたします。

POINT 1 多くの会社が集まることでビジネスチャンスが広がる!

- さまざまなレンタルの情報を一箇所にまとめて提供。  
地域の建機レンタルの情報を簡単に検索して頂けます。

POINT 2 無料で簡単にホームページが持てる!

- 地域を越えて情報発信ができます。
- ホームページを持つことで、自社の認知度・信用力アップ!
- 既にお持ちのホームページとの連携で、更なる集客も!

POINT 3 便利な営業支援機能!

- 登録事業者様向けの営業を支援するオプション機能を順次で提供!  
事業者様のビジネス拡大・営業効率化を支援します。

建機レンタルNaviサイト <http://www.kenki-navi.com/>

**掲載企業募集中!!** **掲載無料**

お問合せは ☎ 0120-977-671 ✉ [kenki-navi@nsd.co.jp](mailto:kenki-navi@nsd.co.jp)



スマートフォンでも利用可能

NSDの建機レンタルシステムソリューション

## 「使える・選べる」システムで、会社が変わる

NSDの建機レンタルシステムは、  
各種レンタル業の幅広いお客様にご利用頂いております!

クラウド型サービス

お客様所有型サービス

クラウド版レンタル業向け業務管理システム  
**i-Rent**

簡単導入・低価格!  
インターネット経由でシステムを利用することで、  
サーバや特別なソフトを必要とせず、  
豊富な機能をすぐにお使い頂けます!

**Rental 7**  
建設機械・仮設資材レンタルシステム

お客様の業務に合わせて、きめ細かく対応!  
お客様の社内に専用のシステムを構築することで、  
現場の多彩な要望にもお答えできます!

NSD

【本社】〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-101 ワテラスタワー  
【大阪支社】〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ  
【名古屋支社】〒451-6005 愛知県名古屋市中区牛島6-1 名古屋ルーセントタワー  
【福岡事業所】〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル

●お問合せ専用/フリーダイヤル0120-977-671 ※携帯電話からもご利用頂けます  
詳しくは「NSD レンタル」で検索! NSD レンタル   
URL <http://www.nsd.co.jp/> E-mail [rental@nsd.co.jp](mailto:rental@nsd.co.jp)



照明、防爆、ポンプ、金属加工、エアーツール、レンチ、切断機、揚重・搬送、ジャッキ、掃除機、集塵、コンプレッサー、発電機、溶接機、治具、季節用品、レンタカー、各種関連機器等…



グリーン温風ジェットヒーター

出前温風機

熱風発生機

除雪機

塩カル散布機

約 **1,600** 種類、**40,000** 点の商品群で

**レンタル会社様・溶材商社様を**

**強力にバックアップ!**



搭乗式スイーパー



延線ボール



リチウムバッテリー電源



Liイオンバッテリー溶接機



各種溶接機

▶ **技術力と提案力**

専門スタッフによる点検・整備はもちろん、お客様のご利用シーンに合わせたご提案が可能です。また、トルクレンチやインパクトレンチ等各種締付工具の校正証書発行やトレーサビリティも対応いたします。

▶ **迅速な受注納品システム**

機械の受注から返却までのシステムは、迅速かつ効率の良い対応を第一としています。それだけでなくニーズや量、納期に合わせ、可能な限りお客様をお待たせしないよう柔軟な体制で運送いたします。

溶接機、関連機器を中心とする「卸レンタル」に特化した会社です

**SGP 生産技術 パートナーズ**

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル

TEL : **03-6206-6441** FAX : **03-6206-1176**

八戸営業所 / 青森県八戸市沼館 1-10-40  
TEL 0178-38-7674 FAX 0178-38-7515

横浜営業所 / 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-4-5  
TEL 045-787-3911 FAX 045-787-3913

水島営業所 / 岡山県倉敷市松江 1-14-12  
TEL 086-456-1115 FAX 086-456-1181

いわき営業所 / 福島県いわき市泉町滝尻字橋本 50-17  
TEL 0246-75-1011 FAX 0246-75-1012

小牧営業所 / 愛知県小牧市中央 4-75  
TEL 0568-54-2266 FAX 0568-54-2277

周南営業所 / 山口県周南市新地 1-8-43  
TEL 0834-34-1147 FAX 0834-34-1148

富山営業所 / 富山県富山市中田 45-62  
TEL 076-437-2100 FAX 076-437-5123

大阪営業所 / 大阪府大阪市住之江区北加賀屋 3-1-30  
TEL 06-4702-7500 FAX 06-4702-7501

鳥栖営業所 / 佐賀県鳥栖市原町 1246-1  
TEL 0942-87-3300 FAX 0942-87-3350

日本建設機械レンタル協会 **総合補償制度のご案内**  
正会員専用 保険制度

制度ラインアップとお支払いの対象となる事例

<p><b>総合賠償制度</b> (施設賠償責任保険、生産物賠償責任保険、請負業者賠償責任保険)</p> <p>ユーザーが舗装工事中バックホーの操作を誤り水道管を破壊させた。</p>	<p><b>動産総合保険制度</b> (動産総合保険)</p> <p>建機をユーザーに貸出し中台風によりバックホーが破損した。</p>	<p><b>ダブルリース保険制度</b> (受託者賠償責任保険)</p> <p>他社から借り入れた建機を自社に保管中何者かに盗まれた。</p>	<p><b>防災上乗せ補償制度</b> (傷害総合保険)</p> <p>リース建機の積み下ろし作業中、建機が横転し下敷きになってしまった。</p>
---	---	---	---

この制度の特長

- 日本建設機械レンタル協会の正会員のみが加入できる制度です。
- 保険料は、全額損金処理できます。  
\*今後法改正により変更となる場合があります。  
実際の税務処理については税理士までご相談ください。
- 団体スケールメリットを活かした割安な保険料で大型補償をご提供します。
- 協会の指定代理店による徹底したフォローが受けられます。

＜ご参考＞総合賠償制度の保険金お支払実績 (注)

(注) 2017年10月1日から2018年9月30日までの1年間です。

保険金お支払件数	110件
支払保険金総額	約9,964万円

まずは有限会社ゼンケンまでご連絡ください! → 協会の指定代理店をご紹介します!

<p>＜取扱幹事代理店＞ 有限会社ゼンケン (協会事務局内) 〒101-0038 東京都千代田区 神田美倉町 12-1MH-KIYA BLDG. &lt;キヤビル&gt;5階 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで) TEL 03-3255-0514 FAX 03-3255-0513</p>	<p>＜引受保険会社＞ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 営業開発部第一課 〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 (受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで) TEL 03-3349-3322 FAX 03-6388-0155</p>
---	--

※この広告は概要のご案内となります。  
詳しい内容については、取扱代理店または  
損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。

SJNK18-09433 / 2018.10.29

**AIRMAN**

ニーズに応えるエアマンの次世代機

**大容量燃料タンク搭載  
リークガード  
エイブルジェネレータ  
エンジン発電機  
SDG-LAX シリーズ**

出力 10.5~60kVA

SDG60LAX

三相・単相 同時出力 | オイルフェンス搭載 | 複電圧が標準仕様

**ホイール/クローラ式  
高所作業車  
ENTL/ENCLシリーズ**

作業床地上高 4.0m~9.9m

軽量・コンパクト設計。屋外保管もOK。積み降ろしが簡単に入ると好評の一点吊りも標準装備しました。

ENTL061

**リークガード  
エンジンコンプレッサ  
PDS100L PDS100LC**

【アフターケア仕様】

吐出空気量 2.8m³/min | 吐出空気量 2.8m³/min

オイルフェンス機能を装備した環境配慮型のエンジンコンプレッサです。

PDS100LC

**北越工業株式会社** 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル TEL / 03-3348-8563 FAX / 03-3348-7241 http://www.airman.co.jp

4次排ガス規制対応  
20トクラス3機種導入。



ダブル  
レンタル  
受付中

SUMITOMO SH200-7

KATO HD820-7

CAT 320

受付時間 平日 9:00 - 17:00

0120-50-1134



株式会社ティ・エイチ・アイ

〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町 4-31 Tel 045-508-2000 / Fax 045-508-2020

ハンドガイドローラー

【陸内協排出ガス自主規制】【2次規制適合エンジン搭載】

[NETIS]登録  
TH-120018-VE

【超低騒音型建設機械】

H550KS

業界最軽量  
超低騒音型  
新発売



超低騒音型

H600KS  
H650KS

フルオープンカバー&  
サイドガードフレーム

コンバインド型  
KV25CS  
KV40CSE  
KV40CSi



タンデム型  
KV25DS  
KV40DSE  
KV40DSi



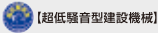
3tタイヤローラー  
KT30S



土工用振動ローラー  
CA2500D



[NETIS]登録  
TH-120018-VE



【第3次基準値排出ガス対策型】  
KV40CSE, DSE/KV25CS, DS

【特定特殊自動車排出ガス 2014年 基準適合車】  
KV40CSi, DSi

【超低騒音型建設機械】



[NETIS]登録  
TH-120018-VE

【低騒音型建設機械】

【第3次基準値排出ガス対策型】

【特定特殊自動車少数特例基準適合車】



クローラ洗淨機  
CW25

人手の掛からない自動洗淨ロボットにより  
重機足回りの洗淨費用が大幅低減!!

KANTO

関東鉄工株式会社

<https://www.kanto-tk.co.jp>

本社・工場 / 〒306-0101 茨城県古河市尾崎 41-14  
TEL: 0280-77-0081 FAX: 0280-77-0080

TADANO

Lifting your dreams

最高のパフォーマンスを  
発揮するファンタジスタ。

安全・品質・効率を追求し  
みなさまのニーズにお応えします。



AT-200S  
最大地上高: 19.7m  
最大作業半径: 11.4m  
デッキ積載荷重: 1,000kg

AT-170TG  
最大地上高: 17.2m  
最大作業半径: 15.9m  
バスケット積載荷重: 200kgまたは2名

BT-200  
最大地下深さ: 5.4m  
最大地上高: 7.0m  
最大作業半径: 5.1m  
デッキ積載荷重: 200kg

ZX364  
最大地上揚程: 約11.4m  
最大作業半径: 9.8m  
つり上げ荷重: 2,930kg

あなたの「TADANO」という選択が、いつも素晴らしい成果を生むために。

株式会社 タダノ 本社/香川県高松市新田町甲34番地 TEL.(087)839-5555 (代表)  
東京事務所/東京都墨田区電沢2丁目4番12号 タダノ両国ビル TEL.(03)3621-7777

<http://www.tadano.co.jp>

ディーゼルエンジン発電機

NES  
シリーズ

NETIS登録  
オイルガード  
標準装備



簡易自動  
始動装置



三相・単相3線  
同時出力・切替不要!

No.1

大型杭打機  
製造台数No.1

1963年に世界初の三連式  
パイロドライブ機構、杭打機  
では国内で圧倒的シェアを  
誇っています。

基礎工事のパイオニア。

基礎工事機械・杭打機でトップシェアを誇る日本車両の現場サポートとして  
開発された発電機 NES シリーズは、厳しい現場でも丈夫で長持ち、タフさ  
で負けません。

日本車両 <http://www.n-sharyo.co.jp>

機電本部営業総括部 TEL(052)623-3320

■札幌グループ/(011)887-5080 ■北日本グループ/(022)288-2530 ■東日本グループ/(03)6688-6808 ■中部グループ/(052)623-3314  
■大阪支店/(06)6341-4455 ■九州グループ/(092)572-7332 ■広島出張所/(082)545-5162 ■高知出張所/(088)860-1119

整備経験者  
募集!

街づくりを支える、  
信頼の三笠品質。



**パイロコンバクター**  
MVH-308DSC-PAS  
NETIS No. TH-120015-VE 転圧センサー

**タンピングランマー**  
MT-55H  
NETIS No. TH-100005-VE

**MVC-F60HS**  
NETIS No. TH-100006-VE

**MRH-601DS**  
低騒音指定番号 5097

**MLP-1212A**

**FX-40G/FU-162**

**MCD-318HS-SGK**  
低騒音指定番号 6190

**三笠産業株式会社**  
MIKASA SANGYO CO., LTD. TOKYO, JAPAN

本社 / 〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町1-4-3 TEL: 03-3292-1411 (代)

大阪支店 TEL: 06-6745-9631	北関東営業所 TEL: 0276-74-6452	中国営業所 TEL: 082-875-8561	沖縄出張所 TEL: 080-1013-9328
札幌営業所 TEL: 011-892-6920	長野出張所 TEL: 080-1013-9542	四国出張所 TEL: 087-868-5111	
仙台営業所 TEL: 022-238-1521	中部営業所 TEL: 052-451-7191	九州営業所 TEL: 092-431-4523	
新潟出張所 TEL: 090-4066-0661	金沢出張所 TEL: 080-1013-9538	南九州出張所 TEL: 080-1013-9558	

**建設機械・物流機器・測量機器・各種ポンプ〔Wレンタル専門〕**



代表取締役 姫野 康通

～ 年頭のご挨拶 ～

新年あけましておめでとうございます。  
 旧年中は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

弊社は他社ではあまり扱わない小型機械を中心とした  
 独自の商品構成で、多様化するお客さまのニーズに  
 タイムリーにお応えて参りました。

さらに、いつも最高の状態で機械を使っていただけ  
 万全のメンテナンス体制を確立。  
 お陰様で多くのお客さまにご支援をいただくに至り、  
 着々と成長を続けております。

今後とも全国を視野に入れた多店舗展開を目指す一方、  
 創業以来の伝統である「堅実でバランスのとれた経営」  
 を守り、全社一丸となってお客さま第一主義をより一層  
 充実させていく所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

日商マン基本3ヶ条

1. 私たちは、  
全国に“信頼”をつくります
2. 私たちは、  
共に働き、共に栄えます
3. 私たちは、  
“誠実”と“貢献”を  
モットーとします



**株式会社日商機械**

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| * 仙台リースセンター : 022-786-3811  | * 川崎リースセンター : 044-201-3621 |
| * 船橋リースセンター : 047-495-6388  | * 戸田リースセンター : 048-434-0300 |
| * 名古屋リースセンター : 052-389-2324 | * 大阪リースセンター : 06-6658-0311 |
| * 福岡リースセンター : 092-629-8311  |                            |



# 建設機械盗難調査報告書 年度別推移

調査期間	H13	H14	H15	H16	H17
受理番号	1-336	337-545	546-781	782-999	1,000-1,238
届け出件数	336	209	236	218	239
盗難建機台数計	628	366	255	226	276
被害額記入あり件数	266	180	192	174	142
被害総額計 (単位：万円)	108,219	143,625	95,112	98,060	53,976
盗難建機数計	543	208	203	177	161
被害額記入なし件数	70	29	44	44	97
調査期間内の発見件数	3	4	5	7	5

調査期間	H18	H19	H20	H21	H22
受理番号	1,239-1,410	1,411-1,523	1,524-1,633	1,634-1,788	1,789-1,914
届け出件数	172	113	110	155	126
盗難建機台数計	252	129	134	295	130
被害額記入あり件数	69	52	61	54	82
被害総額計 (単位：万円)	18,387	17,803	12,930	16,318	20,025
盗難建機数計	78	64	65	54	82
被害額記入なし件数	103	61	49	101	44
調査期間内の発見件数	2	1	0	4	0

調査期間	H23	H24	H25	H26	H27
受理番号	1,915-2,072	2,073-2,259	2,260-2,604	2,605-2,768	2,769-3,133
届け出件数	158	187	345	164	365
盗難建機台数計	240	298	774	269	319
被害額記入あり件数	73	53	47	14	16
被害総額計 (単位：万円)	10,964	6,258	9,503	1,924	2,362
盗難建機数計	109	107	48	14	13
被害額記入なし件数	84	134	298	150	345
調査期間内の発見件数	2	5	5	2	2

調査期間	H28	H29	H30
受理番号	3,134-3,487	3,488-3,630	3,680-3,782
届け出件数	354	142	103
盗難建機台数計	218	81	74
被害額記入あり件数	18	3	3
被害総額計 (単位：万円)	27,333	7,860	4,727
盗難建機数計	15	1	3
被害額記入なし件数	334	139	100
調査期間内の発見件数	6	1	0

注) H13年度はH13年7月から調査開始  
H28年度はH28年9月までの数値  
H30年度はH30年12月までの数値

※なお、被害総額は報告のあった金額の合計を掲載

## 1. 盗難発生場所別件数

発生場所	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
自社敷地内	58	26	31	26	51	27	19	17	38
ユーザー敷地内	54	33	43	53	39	32	26	18	39
作業現場	220	144	148	130	136	112	64	60	76
その他	4	6	14	9	13	1	4	15	2
計	336	209	236	218	239	172	113	110	155

発生場所	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自社敷地内	11	8	11	30	16	5	5	2	3
ユーザー敷地内	7	15	49	135	72	145	107	5	12
作業現場	89	107	110	172	72	213	240	135	86
その他	19	28	17	8	4	2	2	0	2
計	126	158	187	345	164	365	354	142	103

注) 上記は発見件数分も含む数値

## 2. 機種別盗難建機台数

区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
積込機械	4	1	0	0	0	0	2	0	0
掘削機械	101	94	85	92	91	54	40	28	48
クレーン	12	8	10	10	4	3	1	4	2
締固め機械	5	1	6	5	5	7	4	1	44
運搬機械	21	21	44	33	22	8	9	5	4
発電機	144	68	53	50	86	56	29	45	35
溶接機	13	6	13	8	15	17	7	4	2
投光機	11	5	1	2	1	0	0	0	0
空気圧縮機	9	2	14	3	0	1	3	25	5
その他	308	160	42	23	52	106	34	45	142
計	628	366	255	226	276	252	129	134	282

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
積込機械	0	1	2	3	2	2	4	0	0
掘削機械	26	16	12	24	13	9	15	3	3
クレーン	1	2	20	40	6	18	7	5	3
締固め機械	8	17	31	26	24	19	6	5	6
運搬機械	5	14	15	48	14	15	8	1	7
発電機	39	49	59	82	32	107	110	31	20
溶接機	8	9	13	15	16	20	9	10	1
投光機	1	1	8	17	5	10	10	4	28
空気圧縮機	2	2	0	4	3	2	3	0	0
その他	36	52	107	86	49	163	176	30	9
計	126	163	267	345	164	365	348	89	77

3. 支部別届け出件数

支部名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	累計
北海道	7	8	21	20	5	0	0	7	8	12	11	2	5	2	5	3	0	0	116
青森	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
秋田	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮城	1	3	1	0	2	2	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福島	3	2	2	1	1	3	2	1	1	0	0	7	1	0	0	0	0	2	26
東京	91	83	59	50	18	7	14	11	37	8	9	22	23	5	3	13	4	1	458
神奈川	6	3	8	0	10	4	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	35
長野	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
群馬	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
新潟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
栃木	8	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3	3	0	0	1	0	0	21
静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	48	148	81	120	176	68	53	738
中部	110	48	73	66	102	46	21	19	40	23	31	0	7	2	5	1	0	0	594
富山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	2
石川	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0
大阪	11	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	17
兵庫	48	23	33	19	61	68	37	30	51	23	9	10	3	4	3	15	1	0	438
和歌山	18	7	1	5	3	20	0	8	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	66
滋賀	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6
京都	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中国	2	2	0	4	0	0	1	1	1	2	9	2	2	0	5	0	2	1	34
四国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	5
九州	14	26	36	46	35	22	29	27	13	48	39	44	35	10	13	13	1	2	453
沖縄	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	8
大手広域業者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	118	60	210	129	66	44	663
計	336	209	236	218	239	172	113	110	155	126	158	179	345	164	365	352	142	103	3,722

注) 石川支部・富山支部・福井支部は、平成24年度より統合され、北陸支部となった。  
 注) 平成24年度より、大手広域業者へ直接盗難報告するよう依頼した。  
 注) 大阪支部・兵庫支部・和歌山支部・滋賀支部・京都支部は、平成29年度より統合され、関西支部となった。

建設機械等の盗難・紛失報告書

情報提供日：平成 年 月 日

機 械 名：	製造会社：		
型 式：	製造番号：	エンジン番号：	
塗 装 色：	その他番号（リース会社管理番号）：		
購入年度：	標準価格：		

被害区分(○で囲む)	盗 難・紛 失・その他 ( )
被害発生日時	平成 年 月 日～ 月 日 時頃
被害発生場所	社名：
	住所：
	○で囲む 自社・ユーザー・その他
○で囲む	構内・置き場・作業現場・その他
届出警察署・日時	月 日 届出
被害者名 ※所有者	社名： 住所：
被害者名 ※使用者	社名： 住所：
連 絡 先	社名：
	支店・営業所：
	担当者氏名：
	TEL： FAX：

※ 形状・特徴・スケッチ・写真、及び説明文等を添付してください。

事故発生時の連絡・報告先（発生日中に）

※被害者→ 警察署（訪問届出）  
 → 購入先ディーラー  
 → 所属支部事務局 → (一社) 日本建設機械レンタル協会事務局  
 TEL 03-3255-0511  
 FAX 03-3255-0513

## 日本建機レンタル総合賠償制度 支部別加入状況

(2019年1月31日現在)

(単位：円)

支部名	会員数 (本社)	基本プラン		オペミス+ユ特約+交差		合計	加入率
		加入数	掛け金	加入数	掛け金		
北海道	58	25	5,668,500	24	16,351,000	22,019,500	43.1%
青森	12	5	2,097,000	5	6,230,000	8,327,000	41.7%
秋田	10	8	984,500	8	1,177,500	2,162,000	80.0%
岩手	9	1	119,000	1	1,079,500	1,198,500	11.1%
宮城	19	10	1,316,500	10	2,486,000	3,802,500	52.6%
山形	7	5	2,211,000	5	4,069,500	6,280,500	71.4%
福島	32	2	313,000	2	549,500	862,500	6.3%
新潟	12	4	595,000	3	433,500	1,028,500	33.3%
群馬	5	0	0	0	0	0	0.0%
栃木	15	1	170,000	1	860,000	1,030,000	6.7%
東京	163	32	4,933,000	32	12,460,000	17,393,000	19.6%
神奈川	40	17	2,477,000	17	6,477,000	8,954,000	42.5%
長野	15	2	153,000	2	153,000	306,000	13.3%
静岡	11	4	427,500	4	335,000	762,500	36.4%
中部	47	24	3,489,000	24	4,527,500	8,016,500	51.1%
北陸	43	21	2,784,500	21	3,459,500	6,244,000	48.8%
滋賀	18	8	1,054,000	8	1,523,000	2,577,000	44.4%
京都	8	4	433,500	4	739,500	1,173,000	50.0%
大阪	61	8	1,891,000	8	7,485,500	9,376,500	13.1%
和歌山	15	3	690,630	3	4,496,380	5,187,010	20.0%
兵庫	20	6	985,500	6	1,126,000	2,111,500	30.0%
中国	52	12	3,011,960	12	6,481,500	9,493,460	23.1%
四国	8	2	246,500	2	654,500	901,000	25.0%
九州	77	25	3,700,500	25	9,224,000	12,924,500	32.5%
沖縄	21	14	2,943,000	14	10,053,000	12,996,000	66.7%
合計	778	243	42,695,090	241	102,431,880	145,126,970	31.2%

当協会  
専用制度

## 日本建機レンタル総合賠償制度の特長

- 日本建設機械レンタル協会員のみが加入できる制度です。
- 保険料は、全額損金処理できます。  
※今後法改正により変更となる場合があります。実際の税務処理については税理士にご相談ください。
- 団体スケールメリットを活かした大型補償。しかも保険料は割安です。
- 日本建設機械レンタル協会指定代理店による徹底したフォローが受けられます。

昨年1年間（注）で、110件で約9,964万円の  
保険金をお支払しています！

（注）2017年10月1日～2018年9月30日までの1年間

## お問い合わせ・お見積は・・・

〈お問い合わせは本制度取扱幹事代理店まで〉

**有限会社ゼンケン（日本建設機械レンタル協会事務局内）**

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町12-1

MH-KIYA BLDG. 〈キャビル〉 5階

TEL 03-3255-0514 / FAX 03-3255-0513

その他の専用制度もご用意しています！  
まずはお見積だけでもお気軽にお問い合わせください！

## 協会役員名簿 (平成30~31年度)

役職	氏名	所属先	支部等
会長 (代表理事)	角口 賀敏	株式会社キナン	関西 (和歌山)
副会長	小沼 直人	株式会社アクティオ	広域
副会長	気田 福俊	青森リース株式会社	青森
副会長	小野寺昭則	コマツ	広域
副会長	福山 慎一	双葉リース株式会社	東京
副会長	田島 潤一	株式会社レント	静岡
副会長	仲田 優晴	喜多機械産業株式会社	四国
常任理事	倉内 広昭	エスケーリース株式会社	北海道
常任理事	石井 浩一	東北グレーダー株式会社	宮城
常任理事	久保田栄二	北辰通商株式会社	福島
常任理事	小松崎伸一郎	小松崎機械株式会社	東京
常任理事	花岡 昇	フジヤ機工株式会社	長野
常任理事	瀧 哲也	瀧富工業株式会社	中部
常任理事	白澤 照久	シラサワ建機株式会社	北陸
常任理事	内田 伸二	株式会社南大阪建機	関西 (大阪)
常任理事	富田 幹唱	山喜産業株式会社	関西 (兵庫)
常任理事	日笠 保彦	三共リース株式会社	中国
常任理事	峰平 国生	株式会社森谷リース	九州
常任理事	佐久本嘉幸	株式会社佐久本工機	沖縄
常任理事	橋口 和典	株式会社カナモト	広域
常任理事	辻村 敏夫	西尾レントオール株式会社	広域
常任理事	光延 博文	日立建機日本株式会社	広域
常任理事	南岡 正剛	株式会社レンタルのニッケン	広域
専務理事 (業務執行理事)	小椋 直樹	(一社)日本建設機械レンタル協会	本部
理事	富山 政紀	日本建機サービス販売株式会社	北海道
理事	三浦 正義	株式会社秋田中央機工	秋田
理事	吉田健一郎	株式会社新潟まるよし	新潟
理事	北條 光一	株式会社北條モータース	栃木
理事	中川 秀敏	レントリー新潟株式会社	群馬
理事	原田 英雄	株式会社アールアンドアール	東京
理事	金子真紀子	金子機械株式会社	神奈川
理事	松岡 賢	マツオカ建機株式会社	中部
理事	安田 良介	有限会社安田溶工所	関西 (滋賀)
理事	橋本 幹夫	聖和テック株式会社	中国

役職	氏名	所属先	支部等
理事	永島 一平	熊本中央リース株式会社	九州
理事	富安 英孝	株式会社ワイズヨシハラ	九州
理事	佐藤 清彦	日本キャタピラー合同会社	広域
理事	絹川 秀樹	コベルコ建機株式会社	メーカー
理事	寺本 健	(前)住友建機販売株式会社	メーカー
理事	酒井 一郎	酒井重工業株式会社	メーカー
理事	村手 徳夫	日本車輛製造株式会社	メーカー
理事	高橋 謙三	北越工業株式会社	メーカー
理事	程 晓明	日立建機株式会社	メーカー
理事	京谷 弘也	三笠産業株式会社	メーカー
理事	川原 光英	ヤンマー建機株式会社	メーカー
理事	渡辺 和弘	(一社)日本建設機械施工協会	関係団体
理事	木引 満明	(一社)日本建設機械工業会	関係団体
監事	玉田 明壽	株式会社ワキタ	広域
監事	加藤 浩孝	株式会社トーマイ	東京
監事	加藤 義久	税理士法人日本みらい会計	公認会計士
相談役	荒井 敏彦	株式会社共英	東京
相談役	藤本 俊雄	株式会社ビー・トライ	東京
相談役	北野 一雄	北野建機株式会社	関西 (大阪)
参与	高橋 悦見	株式会社セントラル	岩手
参与	小野寺啓一	株式会社高千穂	山形
参与	高野 泰行	株式会社高野工会	北陸
参与	吉川 義一	株式会社ヨシカワ	北陸
参与	村上京太郎	株式会社京都鉄工	関西 (京都)
参与	吉田 勇二	トーヨースギウエ株式会社	四国
参与	谷 義博	讃岐リース株式会社	四国
参与	門田 徹也	株式会社東部レントオール	四国
参与	太田 新治	株式会社九州建産	九州
参与	中野 博	株式会社ナカノ	九州
参与	加治 亮一	株式会社カネイチ	九州
参与	後藤 健治	株式会社コマツレンタル宮崎	九州
参与	夏目 正治	サコス株式会社	広域
参与	柿木 敏雄	新日本建販株式会社	広域
参与	須郷 洋一	ユナイト株式会社	広域
参与	湯川 勝彦	株式会社クボタ	メーカー
参与	江藤 陽二	デンヨー株式会社	メーカー
参与	辻本 治	株式会社鶴見製作所	メーカー
参与	杉本 義雄	ユアサ商事株式会社	メーカー
参与	鬼木 幹生	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	保険

# 協会支部名簿

2018年12月25日現在

支部名称	支部長名 (代表者名)	事務局長	〒	所在地	TEL	FAX
					E-mail	
北海道支部	倉内 広昭	高橋 和夫	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西6丁目1番23 北海道通信ビル3階313号室	011-221-1485 hkk1rst1@bz01.plala.or.jp	011-222-5612
青森支部	気田 福俊	鳥谷部 稔	034-0051	青森県十和田市伝法寺字大窪62-1 青森リース(株)内	0176-28-3111 m-toriyabe@aomori-lease.com	0176-28-2837
秋田支部	三浦 正義	田仲 和昭	010-1103	秋田県秋田市太平中関字平形111	018-853-1401 hrcnm549@ybb.ne.jp	018-853-1402
岩手支部	高橋 悦見	千葉 岸夫	023-0401	岩手県奥州市胆沢区南都田字化粧坂179 (株)セントラル内	0197-46-5977 jcra.iwate@gmail.com	0197-46-5977
宮城支部	石井 浩一	小原 透	984-0015	宮城県仙台市若林区卸町5-5-1 仙台団地倉庫協同組合会館2F	022-238-1751 miya.k.l@io.ocn.ne.jp	022-238-1752
山形支部	小野寺啓一	新関 秀一	994-0054	山形県天童市大字荒谷196-10	023-665-5509 ykrk@beach.ocn.ne.jp	023-665-5518
福島支部	久保田栄二	柳沼 孝二	963-0115	福島県郡山市南2-139 北辰通商(株)内	024-954-6531 rentalfukushima@aroma.ocn.ne.jp	024-954-6532
新潟支部	吉田健一郎	佐藤亜希子	950-0951	新潟県新潟市中央区鳥屋野326 (株)新潟まるよし内	025-378-0671 znknight@gmail.com	025-378-0672
群馬支部	中川 秀敏	鴨志田幸平	379-2145	群馬県前橋市横手町38-1 (レントリー新潟(株) 高崎営業所内)	027-212-8733 gcra@g-cra.com	027-212-8774
栃木支部	北條 光一	伊藤 義昭	320-0041	栃木県宇都宮市松原3-6-27 コーポ松原102	028-612-8039 iyougon@gmail.com	028-612-8037
東京支部	小松崎伸一郎	大森 達也	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYA ビル5F	03-3255-0515 aef05673@nifty.com	03-3255-0516
神奈川支部	金子真紀子	飯塚 律子	221-0052	神奈川県横浜市神奈川区栄町2-10 アール・ケープラザ横浜Ⅲ1103	045-440-1116 kleaseky@maple.ocn.ne.jp	045-440-1117
長野支部	花岡 昇	下村 剛司	399-3301	長野県下伊那郡松川町上片桐3322	0265-49-8252 naganojcra@asahinet.jp	0265-49-8242

2018年12月25日現在

支部名称	支部長名 (代表者名)	事務局長	〒	所在地	TEL	FAX
					E-mail	
静岡支部	田島 潤一	影山 早史	422-8004	静岡県静岡市駿河区国吉田1-6-10 (株)レント本社内	054-297-5800 shizuren@triton.ocn.ne.jp	054-297-5801
中部支部	瀧 哲也	水谷 勝治	460-0008	愛知県名古屋市中区栄1-14-14 御園パレス302	052-203-1657 zenkengo@bronze.ocn.ne.jp	052-203-1658
北陸支部	白澤 照久	大山 勇	920-0211	石川県金沢市湊2-116-16	076-238-7097 bz344724@bz01.plala.or.jp	076-238-7597
関西支部 滋賀協議会	安田 良介	岩下絹穂子	524-0013	滋賀県守山市下之郷3-14-25 第一観光ビル2F	077-581-0481 shiga-cmla@drive.ocn.ne.jp	077-558-8007
関西支部 京都協議会	吉田 栄次	小藪 聡	604-8831	京都府京都市中京区四条通中道西入 高石機械産業(株)内	075-823-0188 info@takaishi-mi.co.jp	075-841-1595
関西支部 大阪協議会	北野 一雄	田原 美春	577-0022	大阪府東大阪市荒本新町4番13号 サンリットビル5F A号室	06-6618-7400 znkosk@gmail.com	06-6618-7401
関西支部 和歌山協議会	角口 賀敏	丸田 美枝	640-8303	和歌山県和歌山市鳴神588-1 ソレーユ鳴神1F	073-474-5789 warental@major.ocn.ne.jp	073-474-1038
関西支部 兵庫協議会	富田 幹唱	猪俣 昭雄	650-0025	兵庫県神戸市中央区相生町2-2-7 ツルビル2F	078-361-2481 znkhyug@gmail.com	078-361-2487
中国支部	日笠 保彦	上野 聡	733-0873	広島県広島市西区古江新町4-23 アルファ大田201号室	082-275-0532 cyukenrentaru@oasis.ocn.ne.jp	082-275-0538
四国支部	仲田 優晴	美馬 博	770-0044	徳島県徳島市庄町3-16 喜多機械産業(株)内	090-7789-2823 saika@kitakikai.co.jp	088-631-9270
九州支部	峰平 国生	藤井 正	812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-1 東福第2ビル6F	092-482-6685 klr@klr-rental.jp	092-452-2563
沖縄支部	佐久本嘉幸	吉澤 友香	901-2134	沖縄県浦添市港川537-3 D's マンション美ら花302号室	098-876-6410 okirental@tea.ocn.ne.jp	098-876-6410

本部	角口 賀敏	北條 雅己	101-0038	東京都千代田区神田美倉町12-1 MH-KIYA ビル5F	03-3255-0511 info@j-cra.org	03-3255-0513
----	-------	-------	----------	----------------------------------	--------------------------------	--------------

## 編集後記

当協会会報誌「かいほう」は、早いもので、新法人となって第6回目（No6）の発行となりました。今回も前号に続き、国土交通省並びに陸上自衛隊様より、大変貴重なご寄稿をいただいております。

国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 森下 博之施工安全企画室長からは、生産性向上に向けた「インフラ整備・維持管理におけるICT・ロボット技術の展開」について、また、陸上自衛隊第4施設団本部 第3科防衛班防衛幹部・疋田 英朗 1等陸尉からは、「陸上自衛隊における最近の災害派遣活動と大規模災害対処のための取り組み等について」のテーマの下、昨年の平成30年7月豪雨災害への派遣について、詳細をわかりやすくまとめていただきました。

一方、当協会・本部賛助会員の皆様には、例年と同様に多くの広告協賛をいただいております。特別賛助会員のコベルコ建機株式会社 営業促進部 ICT ホルナビ推進室・高木徳雄様からは、「ホルナビ 2D マシンガイダンス『iDig』および『iDig Dozer』のご紹介～中小規模現場の生産性向上を目指して～」と題し、同社の情報化施工ソリューション『ホルナビ』について、詳しくご紹介いただきました。

皆様方からのご協力に対し、重ねて御礼を申し上げますとともに、今後も、皆様方からのご意見を参考とさせていただきます。「かいほう」の更なる内容充実を図って参ります。

さて、私事で大変恐縮ではございますが、昨年秋に、栄えある黄綬褒章を受章いたしました。褒章の栄に浴し、身に余る光栄と恐縮いたしております。

先般2月9日に、青森県で開催いたしました祝賀会には、角口会長以下協会役員並びに正会員、賛助会員の皆様をはじめとする、多くの方が全国各地からお祝いに駆けつけて下さいました。ご列席いただいた皆様方に対し、この場を借りて心より感謝申し上げます。

当協会副会長として、また広報企画委員長として、協会並びに業界全体が「信頼される業界」として、社会から認知される様、一層気を引き締めて取り組んで参ります。

引き続き、当協会へのご支援とご協力をお願いし、結びのご挨拶とさせていただきます。

広報企画委員会 委員長 気田 福俊

## かいほう No6 (通巻第75号) 広告掲載社

広告主名	掲載頁
住友建機販売(株)	表2
(株)クボタ	1頁
エクセン(株)	80頁
日本キャタピラー(同)	81頁
ヤンマー建機(株)	82頁
ユアサ商事(株)	83頁
(株)アールアンドアール	84頁
(株)NSD	85頁
(株)生産技術パートナーズ	86頁
損害保険ジャパン日本興亜(株)	87頁
北越工業(株)	87頁
(株)ティ・エイチ・アイ	88頁
関東鉄工(株)	88頁

広告主名	掲載頁
(株)タダノ	89頁
日本車輪製造(株)	89頁
三笠産業(株)	90頁
(株)日商機械	90頁
デンヨー(株)	103頁
(株)鶴見製作所	104頁
やまびこジャパン(株)	105頁
(株)アイチコーポレーション	106頁
日本建設機械レンタル企業年金基金	107頁
コマツ	108頁
酒井重工業(株)	表3
コベルコ建機(株)	表4

## かいほう No6 (通巻第75号)

発行日 平成31年2月  
 発行者 一般社団法人 日本建設機械レンタル協会  
 〒101-0038  
 東京都千代田区神田美倉町12-1 キャビル5階  
 TEL 03-3255-0511 FAX 03-3255-0513

発行責任者 広報企画委員長 気田 福俊

## 広報企画委員会

委員長 気田 福俊 青森リース(株)  
 委員 南岡 正剛 (株)レンタルのニッケン  
 委員 小野寺啓一 (株)高千穂  
 委員 久保田栄二 北辰通商(株)  
 委員 杉本 義雄 ユアサ商事(株)  
 委員 日笠 保彦 三共リース(株)  
 委員 辻村 敏夫 西尾レントオール(株)  
 委員 永島 一平 熊本中央リース(株)

制作編集 樹芸企画

# Denyo

www.denyo.co.jp

## いつでもどこでも頼れるあなたのパートナー

発電機・溶接機・コンプレッサのリース・レンタルは、抜群の性能を誇るデンヨー製品で!

### ガソリンエンジンTIG溶接機

現場の出張工事に便利なコンパクトボディ  
 新型TIGユニットで手元でラクラク操作!



オールスチールボディ  
 軽量87kg

\*オプション装着イメージ  
 TIG トーチと母材ケーブルはお客様  
 手配品です。

### GAT-155ES

溶接電流範囲:[TIG溶接]15~155A[手溶接]30~155A  
 溶接棒:φ2.0~3.2mm  
 交流電源:100V 3.0kVA

### 三相・単相3線同時出力発電機

新たな巻線方式の採用により、さらに余裕ある  
 三相・単相3線同時出力が可能!

### NEW SIMUL GENERATOR



余裕のエコベース容量  
 燃料110L エコベース  
 潤滑油13.2L 空間容量  
 冷却水10.9L 136.6L  
 総液体量134.1L

### DCA-45LSKE-D2

発電出力[50/60Hz]:  
 単相3線式100/110・200/220V 29/33kVA  
 三相4線式200/220・400/440V 37/45kVA

余裕の単相出力  
 29/33kVA

### 静音発電機 マーリエ

### エンジンコンプレッサ エコベース

## 静音発電機 Malie

まるで図書館並みの静かさ!  
 別次元の低騒音を実現。



驚異の低騒音  
 43dB(A)\*

\*音圧レベル・50Hz 無負荷時  
 7m四方方向平均値

3電源仕様



### DCA-25MZ

発電出力[50/60Hz]:  
 単相3線式100/110・200/220V 11.5/14.4kVA  
 三相4線式200/220V・400/440V 20/25kVA



### DIS-80LBE-C

吐出圧力:0.70MPa  
 吐出空気量:2.2m³/min

### アフタクーラタイプ



軽量ボディ  
 乾重量 358kg

余裕のエコベース容量  
 燃料26L エコベース  
 コンプレッサ用8.0L 空間容量  
 潤滑油3.6L 60L  
 冷却水3.9L  
 総液体量41.5L

●技術で明日を築く  
**デンヨー株式会社**  
 本社:〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5  
 TEL:03(6861)1122 FAX:03(6861)1182

札幌営業所 011(862)1221 東京支店 03(6861)1122 大阪支店 06(6448)7131  
 東北営業所第1課 019(647)4611 横浜営業所 045(774)0321 広島営業所 082(278)3350  
 東北営業所第2課 022(254)7311 静岡営業所 054(261)3259 高松営業所 087(874)3301  
 信越営業所 025(268)0791 名古屋営業所 052(856)7222 九州営業所 092(935)0700  
 北関東営業所 027(360)4570 金沢営業所 076(269)1231



# ツルミで納得!!

## 用途に合わせて選べる土木建設工事機器

### 工事排水用水中ポンプ

**NETIS 登録商品**  
水中ハイスピンポンプ (自動運転形)  
**LBA型**

- 吐出し口径：40・50mm
- 出力：0.25・0.48kW
- 全揚程：6~8m
- 吐出し量：0.1~0.12m³/min

**NETIS 登録商品**  
水中ハイスピンポンプ (自動運転形)  
**HSE型**

- 吐出し口径：50mm
- 出力：0.4kW
- 全揚程：8m
- 吐出し量：0.1m³/min

**NETIS 登録商品**  
水中ハイスピンポンプ (自動運転形)  
**KTVE型**

- 吐出し口径：50~100mm
- 出力：0.75~5.5kW
- 全揚程：10~22m
- 吐出し量：0.18~0.6m³/min

### 高圧洗浄機



高圧洗浄機(エンジンタイプ)  
**HPJ-ES型**

- 吐出し量：11.9~32ℓ/min
- 圧力：4.9~18.6MPa



**NETIS 登録商品**  
高圧洗浄機(防音タイプ)  
**HPJ-ESM型**

- 吐出し量：11.9~33.2ℓ/min
- 圧力：7.8~19.6MPa



ジェットポンプ  
**HPJ型**

- 吐出し量：12.9~36.2ℓ/min
- 圧力：4.9~14.7MPa

### タイヤ洗浄機



自動タイヤ洗浄機  
**MTW型**

- 洗浄時間：40秒(1台)

### pH中和装置



pH中和処理装置  
**TPC型**

- 希硫酸仕様：4~35m³/h
- 炭酸ガス仕様：1~40m³/h

### 集塵機



可搬式集塵機  
**JS型**

- 相・電圧：単相100V

### 乾湿両用掃除機



ジェットバキューマー  
**JV型**

- 最大真空圧：22.15~30kPa
- 相・電圧：単相100V/200V

## 株式会社 鶴見製作所

大阪本店：〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4-16-40 TEL.(06)6911-2351 FAX.(06)6911-1800  
東京本社：〒110-0016 東京都台東区台東1-33-8 TEL.(03)3833-9765 FAX.(03)3835-8429

北海道支店：TEL.(011)787-8385 東京支店：TEL.(03)3833-0331 中部支店：TEL.(052)481-8181 近畿支店：TEL.(06)6911-2311 四国支店：TEL.(087)815-3535  
東北支店：TEL.(022)284-4107 北関東支店：TEL.(027)310-1122 北陸支店：TEL.(076)268-2761 中国支店：TEL.(082)923-5171 九州支店：TEL.(092)452-5001

www.tsurumipump.co.jp

貸して安心、使って満足! 現場が助かる多彩なラインナップ

# shindaiwa®



## 三相・単相3線 同時出力 マルチ発電機



加点に有利な 準推奨技術選定品

▶動画リンク先

**大容量タンク オイルガード付**  
**DGM1000MI-P**  
三相80/100kVA  
単相47/58kVA (50/60Hz)

**オイルガード付**  
**DGM600MK**  
三相50/60kVA  
単相30/36kVA (50/60Hz)

**オイルガード付**  
**DGM450MK**  
三相37/45kVA  
単相22/27kVA (50/60Hz)

**オイルガード付**  
**DGM250MK**  
三相20/25kVA  
単相12.5/15kVA (50/60Hz)

**オイルガード付**  
**DGM130MK**  
三相11/13kVA  
単相6.5/7.5kVA (50/60Hz)

### スーパーウェルダ New

溶接棒φ4mm x 2人同時溶接  
1人/2人溶接自動切換機能付  
ディーゼルエンジン発電機兼用溶接機  
フォーエックスツー  
**DGW4X2DM**

- 溶接電流範囲：  
1人 75/95 ~ 320/340A  
2人 40/50 ~ 185/195A



### ガソリン溶接機 New

高出力 160A & 軽量 79kg  
**EGW160M-I**

- 溶接電流範囲：30 ~ 160A
- 3.2kVA インバータ発電付

高出力 190A & 軽量 96kg  
**EGW190M-I**

- 溶接電流範囲：30 ~ 190A
- 3.5kVA インバータ発電付



### ワンダスティック溶接機

快速・快適“新感覚”  
アイドルストップ状態から…  
溶接も発電もすぐ使える!

極超低燃費 従来機比約 6.0% 節約  
極超低騒音 55dB(A)



**NETIS**  
ワンダスティック溶接機  
登録番号:SK-160005

▶動画リンク先

**オイルガード付**  
ディーゼルエンジン & キャパシタ  
**HDW310M** **New**

- 溶接電流調整範囲:20~310A
- インバータ発電:単相100V、3kVA(50/60Hz)

### マルチマイティ炭酸ガス溶接機

1台5役  
① CO2半自動溶接  
② 手操溶接  
③ ガラス工  
④ 三相200V電源  
⑤ 単相100V電源



**NETIS**  
オイルガード付  
登録番号:CG-190024E

▶動画リンク先

**オイルガード付**  
ディーゼルエンジン  
**DGW400MP** **New**

- ①340/350A(使用率100%) ②390/400A(最大出力)
- ③390/400A(最大出力) ④12/15kVA ⑤9/9kVA (50/60Hz)

### バルーン投光機

メタハラ 1000W(1灯)  
出庫や河川への油漏れを防ぐ  
**オイルガード付 インバータ発電機搭載**



**NETIS**  
オイルガード付  
登録番号:CG-190024E

▶動画リンク先

**オイルガード付**  
ディーゼルエンジン  
**SBL133IDGC**

※プロジェクトー灯具もあります。

## やまびこジャパン株式会社

本社 〒198-0025 東京都青梅市末広町1-7-2  
TEL 0428-32-1005(代) URL <http://www.yamabiko-corp.co.jp>

■北海道支店 札幌市厚別区大谷地東1-2-20 ☎011-891-2249 ■中部支店 愛知県清須市西枇杷島町前1-39 ☎052-502-4111  
■東北支店 仙台市若林区卸町東5-1-50 ☎022-288-0511 ■西日本支店 岡山市南区藤田566-159 ☎086-396-5911  
■東日本支店 東京都青梅市末広町1-7-2 ☎0428-32-1091 ■九州支店 福岡県大野城市白木原5-3-7 ☎092-573-5361

「安全」「効率」「快適」を現場に。

**SKYTOWER**  
スカイタワー



最大地上高  
4.8m  
最大積載荷重  
200kg

WM05CINS

RM05CINS

**BRIDGEMASTER**  
ブリッジマスター



最大乗り越え高さ  
6.0m  
最大地下深さ  
5.94m  
最大差し込み長さ  
7.62m

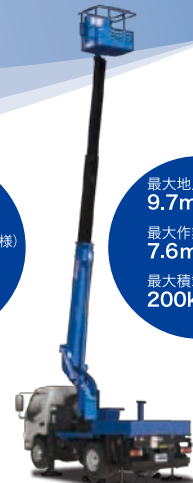
SFT7A-IV

**SKYMASTER**  
スカイマスター



最大地上高  
12.0m  
(ローラージャッキ仕様)  
最大積載荷重  
1,000kg

TZ12C1RR



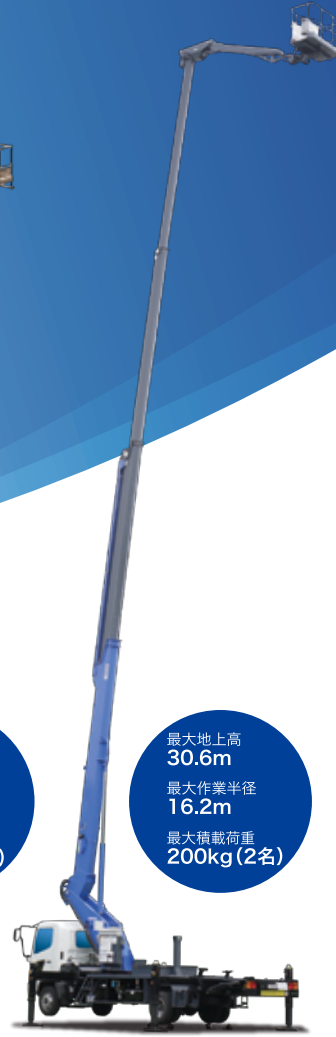
最大地上高  
9.7m  
最大作業半径  
7.6m  
最大積載荷重  
200kg (2名)

SK10C2RN



最大地上高  
12.1m  
最大作業半径  
9.9m  
最大積載荷重  
200kg (2名)

SK12C1RN



最大地上高  
30.6m  
最大作業半径  
16.2m  
最大積載荷重  
200kg (2名)

SJ30ARS

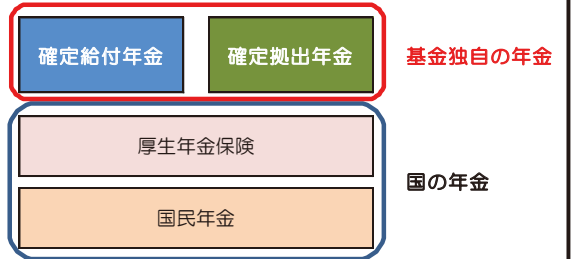
もっと人考えたい。— 作業環境創造企業。



株式会社 **アイチ** コーポレーション <http://www.aichi-corp.co.jp>

本社 〒362-8550 埼玉県上尾市大字領家字山下1152-10 ☎ 048-781-1111  
 広域レンタル 鉄道営業部 〒338-0014 埼玉県さいたま市中央区上峰 1-15-4 ☎ 048-852-1423

## 基金加入で 豊かな老後設計を



厚生年金基金の基金独自給付を引継ぎ、平成28年4月確定給付企業年金として生まれ変わりました。同時に確定拠出年金もスタートさせました。

### 加入期間3年以上で年金または一時金を支給

<モデル給付額>大卒、60歳定年、平均給与30万円  
 加算部分(今まで) 300万円(一時金ベース)



確定給付年金 160万円  
 確定拠出年金 160万円(想定利回り年2.0%)



年金で受取る場合、20年、15年、10年、5年から選択  
 20年：年20万円 ~ 5年：年70万円  
 年金受給資格：『10年以上』または『55歳以上かつ3年以上』  
 で一定の年齢に到達後(60歳または60歳以上での退職時)に支給

### 安定した運営

直近の決算では必要な債務額98億円に対し、142億円の年金資産を有し4割強の剰余となっています。また、設定利回りも年2.0%と無理のない制度としました。

### 福祉事業

結婚祝金・災害見舞金・死亡弔慰金の福祉事業を行っています。

※ご質問、ご相談は下記までお問合せください。  
 ※何時でも個別に往訪いたします。ご連絡ください。

## 日本建設機械レンタル企業年金基金

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9  
 小網町安田ビル3階

TEL 03(3249)3871



# 20t 最強トリオ



## HB205-3

低燃費で環境性に優れた  
ハイブリッド機



## PC228US-11

狭所作業で真価を発揮する後方超小旋回機



## PC200-11

最新技術を投入した信頼の旗艦

特定特殊自動車排出ガス  
2014年基準適合車



特定特殊自動車排出ガス  
2014年基準適合車



# KOMATSU

コマツ 国内販売本部

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 URL <https://home.komatsu/jp/>